

鎌倉市納得度調査結果

平成 24 年 6 月

鎌倉市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査構成	1
4 調査の実施方法	1
5 その他	1
第2章 回答者の帰属性	3
1 性別	3
2 年齢	3
3 家族構成	4
4 居住地域	4
第3章 調査結果	5
1 評価方法	5
2 分野別評価	5
第4章 調査結果（詳細）	13
1 分野別 関心・関係の割合、納得度の割合	13
2 分野別／年齢層別 関心・関係の割合、納得の割合	30
第5章 アンケート自由記入	63
参考資料	
平成23年度鎌倉市納得度調査アンケート用紙	75

第1章 調査の概要

1 調査目的

鎌倉市の政策・施策に係る市民意識調査の一手法として、納税者（出資者）の視点から、その達成度や取組内容について、どの程度納得できるか評価してもらう納得度調査を実施しました。本市では、第3次鎌倉市総合計画第2期基本計画に基づき、毎年度市民意識調査を実施していますが、本調査は、さらに施策ごとの実施コスト、市民一人当たりの出資コスト等のデータ、取組実績を表示し、コスト面から施策の評価を得て、市民ニーズを的確に把握することを目的としています。

2 調査対象

平成23年1月1日現在、鎌倉市在住の18歳以上の市民のうち、無作為抽出した2,000人を対象としました。

3 調査構成

第3次鎌倉市総合計画第2期基本計画政策施策体系に基づき、次の7項目の将来目標等にわたり全33分野を設定しました。

1 人権を尊重し、人との出会いを大切にすまち	3分野
2 歴史を継承し、文化を創造すまち	2分野
3 都市環境を保全・創造すまち	4分野
4 健やかで心豊かに暮らせるまち	8分野
5 安全で快適な生活が送れるまち	8分野
6 活力ある暮らしやすいまち	5分野
7 計画の推進	3分野

4 調査の実施方法

平成24年3月14日（水）から平成24年3月28日（水）までを調査期間とし、郵送配布・郵送回収により実施しました。

5 その他

義務的な支出に係る経費や市の裁量の余地が少ないなどの事業については、今回の調査対象から外しています。（例：国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、繰出金、支払利子、扶助費など）

2ページの納得度調査実施基礎資料 分野別決算総額他一覧表の総額は、平成22年度決算値とし、そのうち人件費は職員平均給与から算出して合算しています。具体的には、分野に含まれている中事業の総事業費の合計としています。

コスト構成比は、当該分野コスト総額の本調査対象全分野コスト総額に対する比を示しています。

前年比は、同分野コストの平成21年度コスト実績に対する比です。

市民一人当たりの出資コストは、コスト総額を鎌倉市総人口（177,161人：平成22年4月1日時点住基人口）で割ったものです。

納得度調査実施基礎資料 分野別決算総額他一覧表

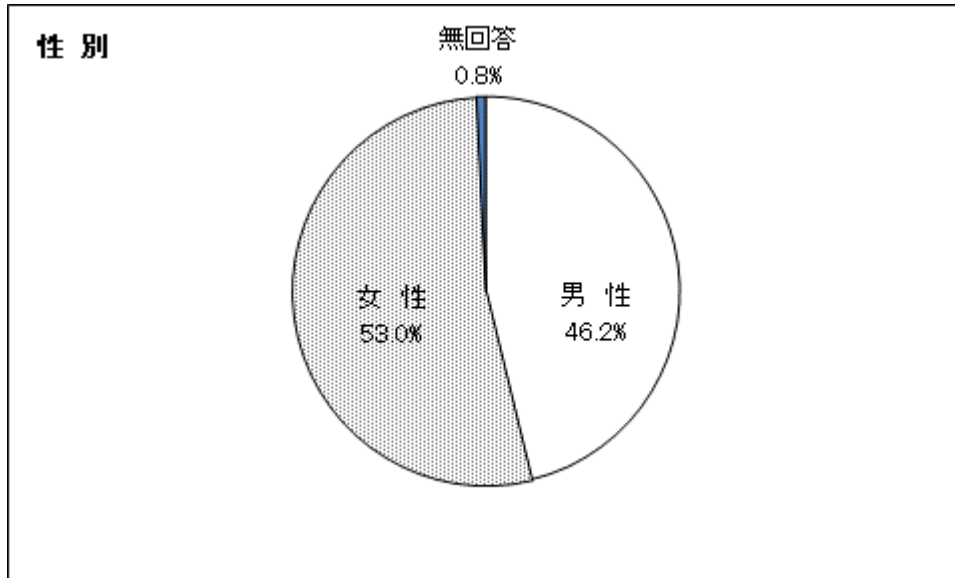
分野No.	分野名称	平成22年度					前年比
		総額	うち国県補助	コスト 構成比	市民一人当たり	職員数 (※1)	
1-1	平和・人権	3160万円	35万円	0.10%	178円	3.2人	94.47%
1-2	男女共同参画社会	2322万円	0万円	0.08%	131円	2.1人	98.39%
1-3	多文化共生社会	959万円	0万円	0.03%	54円	1.0人	69.76%
2-1	歴史環境	5億7239万円	2億5646万円	1.86%	3,231円	15.2人	85.22%
2-2	文化	5億5011万円	0万円	1.79%	3,105円	5.9人	63.51%
3-1	みどり	21億7625万円	3億9436万円	7.07%	12,284円	21.0人	100.61%
3-2	都市景観	1億4652万円	16万円	0.48%	827円	14.0人	92.00%
3-3	生活環境 廃棄物発生抑制・資源循環・廃棄物処理	13億5136万円	45万円	4.39%	7,628円	16.3人	104.23%
3-3	生活環境 生活環境の保全	2億 349万円	37万円	0.66%	1,149円	13.0人	93.93%
4-1	健康福祉 高齢者支援	5億3577万円	2242万円	1.74%	3,024円	29.0人	95.92%
4-1	健康福祉 障害者支援	4億1312万円	2億1240万円	1.34%	2,332円	11.0人	90.93%
4-1	健康福祉 健康	13億2415万円	8829万円	4.30%	7,474円	30.0人	98.05%
4-1	健康福祉 子育て支援	24億8735万円	3億4077万円	8.09%	14,040円	143.3人	101.65%
4-2	学校教育	34億3478万円	5億2226万円	11.16%	19,388円	41.0人	138.82%
4-3	生涯学習	7億1914万円	51万円	2.34%	4,059円	36.8人	90.16%
4-4	青少年育成	3億3568万円	4246万円	1.09%	1,895円	5.7人	108.24%
4-5	スポーツ・レクリエーション	3億2360万円	925万円	1.05%	1,827円	7.0人	87.55%
5-1	地域安全 消防	25億4177万円	5928万円	8.26%	14,347円	213.0人	106.32%
5-1	地域安全 交通安全	1億1297万円	50万円	0.37%	638円	5.4人	66.24%
5-1	地域安全 安全安心まちづくり	3億5559万円	2316万円	1.16%	2,007円	10.0人	80.28%
5-2	市街地整備	42億5365万円	7791万円	13.83%	24,010円	44.2人	307.10%
5-3	総合交通	8761万円	833万円	0.28%	495円	7.2人	107.30%
5-4	道路整備	11億5467万円	1億7351万円	3.75%	6,518円	29.7人	139.84%
5-5	住宅・住環境	4億9724万円	1551万円	1.62%	2,807円	32.0人	106.27%
5-6	下水道・河川	44億1148万円	10億4709万円	14.34%	24,901円	86.4人	109.20%
6-1	地域情報化	5億1129万円	0万円	1.66%	2,886円	11.0人	97.85%
6-2	産業振興	10億9794万円	1億9855万円	3.57%	6,197円	11.0人	108.66%
6-3	観光	2億5959万円	2686万円	0.84%	1,465円	5.0人	117.18%
6-4	勤労者福祉	1億6540万円	860万円	0.54%	934円	3.0人	49.39%
6-5	消費生活	4205万円	302万円	0.14%	237円	3.3人	98.76%
7-1	市民参画・協働の推進	2億2610万円	0万円	0.73%	1,276円	14.6人	97.63%
7-2	コミュニティー活動の活性化	3億9817万円	0万円	1.29%	2,247円	28.3人	86.38%
7-3	地域福祉の推進	1128万円	0万円	0.04%	64円	0.7人	92.44%
総計		307億6490万円	35億3283万円	100.00%	177,161人		117.03%

(※1)職員数：調査対象分野の事業に従事した職員の人数です。

第2章 回答者の帰属性

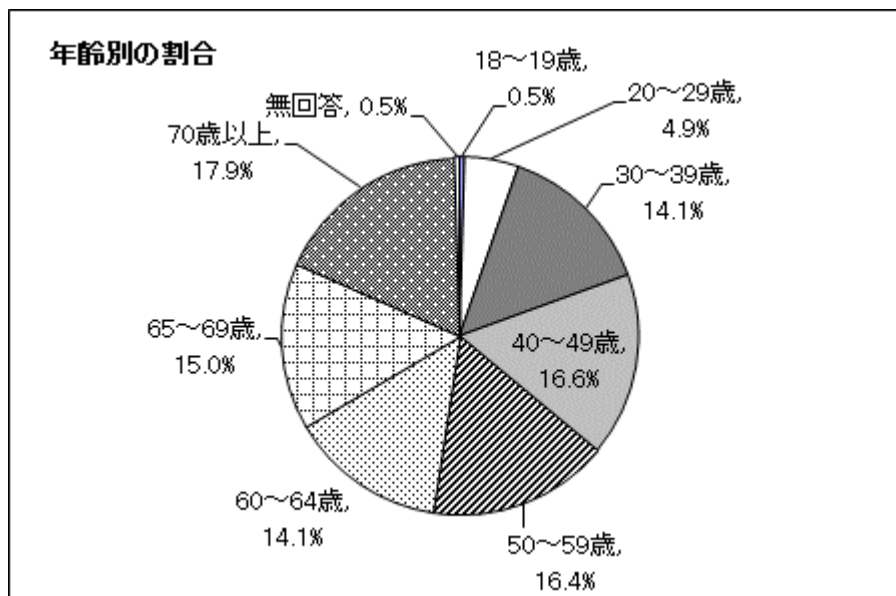
1 性別

件数	男性	女性	無回答
658	304	349	5
100.0%	46.2%	53.0%	0.8%



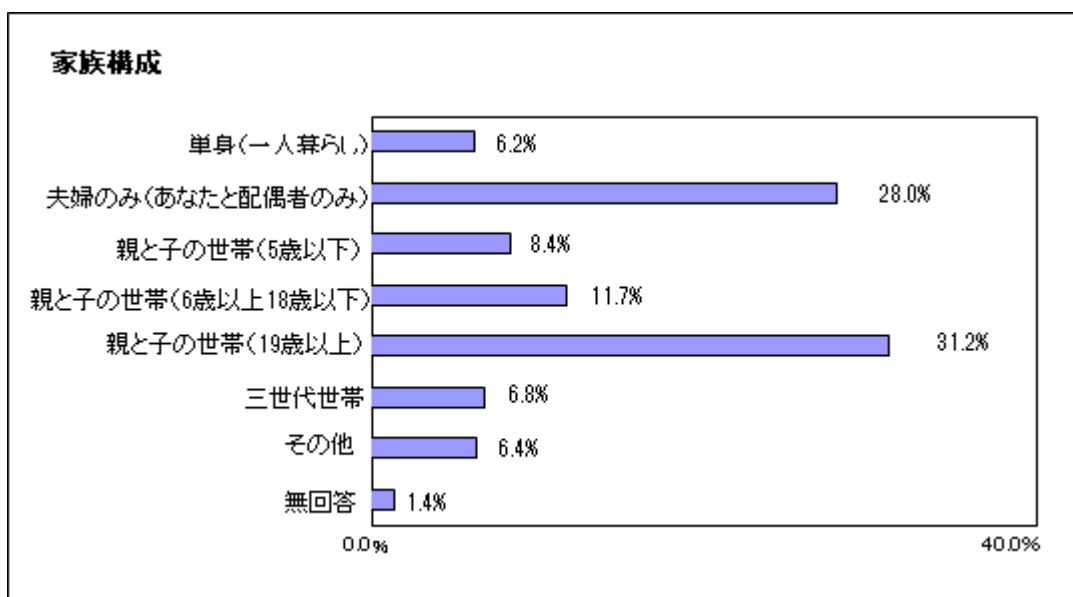
2 年齢

件数	18歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	65歳	70歳以上	無回答
658	3	32	93	109	108	93	99	118	3
100.0%	0.5%	4.9%	14.1%	16.6%	16.4%	14.1%	15.0%	17.9%	0.5%



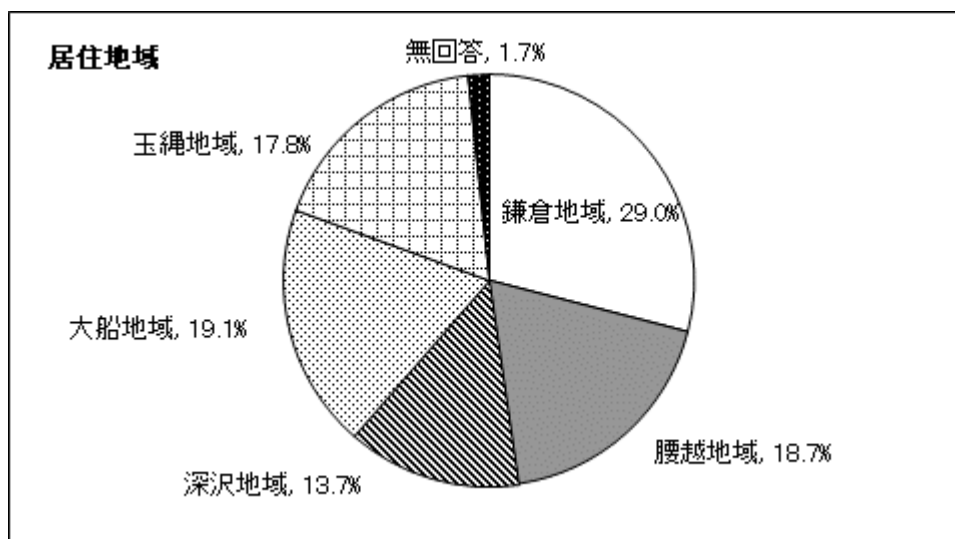
3 家族構成

件数	単身(一人暮らし)	夫婦のみ(あなたと配偶者のみ)	親と子の世帯(5歳以下)	親と子の世帯(6歳以上18歳以下)	親と子の世帯(19歳以上)	三世代世帯	その他	無回答
658	41	184	55	77	205	45	42	9
100.0%	6.2%	28.0%	8.4%	11.7%	31.2%	6.8%	6.4%	1.4%



4 居住地域

件数	鎌倉地域	腰越地域	深沢地域	大船地域	玉縄地域	無回答
658	191	123	90	126	117	11
100.0%	29.0%	18.7%	13.7%	19.1%	17.8%	1.7%



第3章 調査結果

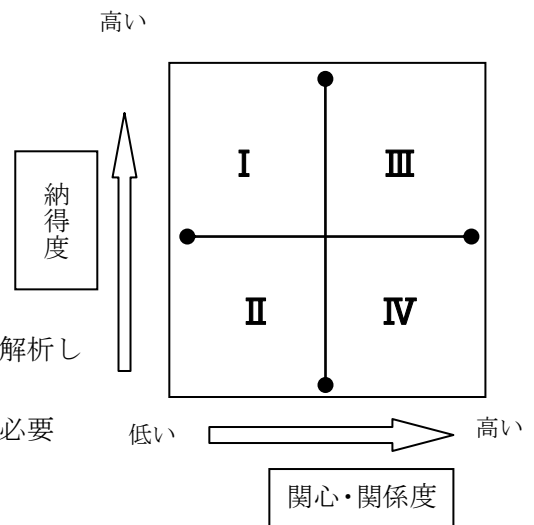
有効回答者数 658 件
回答率 32.9%

1 評価方法

分野ごとの関心・関係の度合いやコストを点数評価し、相関図（p 8 施策「関心・関係度」と「納得度」評価分布図）参照）を作成しました。納得度の中央値を横線、関心・関係度の中央値を縦線で引き相関図を4つの領域に分けました。評価は、以下のとおりになります。

また、関心・関係度評価点と納得度評価点から分野のニーズ度を求めました。

- 左上領域（Ⅰ） 関心・関係度が低く、納得度は高い
左下領域（Ⅱ） 関心・関係度と納得度がともに低い
右上領域（Ⅲ） 関心・関係度と納得度がともに高い
右下領域（Ⅳ） 関心・関係度が高く、納得度が低い



※ この相関分析は、納得度調査で得た評価のデータを解析しどの分野を改善すべきか把握する方法です。

右図において右下領域（Ⅳ）に属する分野が改善が必要と考えられるものとなります。

①関心・関係度評価点（この分野に関心・関係があるか）

$$= (\text{「ある」} \times 2 \text{点} + \text{「ない」} \times \blacktriangle 2 \text{点} + \text{「わからない」} \times 0 \text{点} + \text{無回答} \times 0 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

②納得度評価点（この分野に掛けたコストは）

$$= (\text{「使いすぎ」} \times \blacktriangle 1 \text{点} + \text{「ちょうど良い」} \times 2 \text{点} + \text{「足りない」} \times \blacktriangle 1 \text{点} \\ + \text{「わからない」} \times 0 \text{点} + \text{無回答} \times 0 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

③ニーズ度＝関心・関係度評価点－納得度評価点

※回答者数：658

2 分野別評価

ア 人権を尊重し、人との出会いを大切にするまち

相関図では、3つの分野とも左上領域（Ⅰ）に属し、関心・関係度は低く、納得度は中央値よりやや高い結果でした。

ニーズ度は、33分野中 **1-1 平和人権**が30位、**1-3 多文化共生社会**が32位、**1-2 男女共同参画社会**が33位と全体的に低い結果でした。

イ 歴史を継承し、文化を創造するまち

相関図では **2-1 歴史環境**が右上領域（Ⅲ）に属し、関心・関係度と納得度がともに高い

ことがうかがわれました。**2-2 文化**が左下領域（Ⅱ）に属し、関心・関係度と納得度がともに中央値よりやや低いことがうかがわれました。

ニーズ度は、33 分野中 **2-1 歴史環境**が 8 位、**2-2 文化**が 17 位でした。

ウ 都市環境を保全・創造するまち

関連図では、**3-1 みどり**は納得度が中央値、関心・関係度は右領域に属し、関心・関係度が高いことがうかがえます。**3-2 都市景観**は右下領域（Ⅳ）に属し、関心・関係度は高いのに対して、納得度が低いことがうかがえました。**3-3 生活環境/廃棄物発生抑制・資源循環・廃棄物処理**、**3-3 生活環境/生活環境の保全**は、ともに右上領域（Ⅲ）に属し、関心・関係度と納得度がともに高いことがうかがえました。

ニーズ度は、33 分野中 **3-1 みどり**が 5 位、**3-2 都市景観**が 11 位、**3-3 生活環境/廃棄物発生抑制・資源循環・廃棄物処理**が 12 位、**3-3 生活環境/生活環境の保全**が 19 位でした。

エ 健やかで心豊かに暮らせるまち

関連図では、**4-1 健康福祉/高齢者支援**と **4-1 健康福祉の健康/子育て支援**は、右下領域（Ⅳ）に属し、関心・関係度は高いのに対して納得度が低いことがうかがえました。

4-3 生涯学習と **4-5 スポーツレクリエーション**は、左下領域（Ⅱ）に属し、関心・関係度と納得度がともに低いことがうかがえました。

4-4 青少年育成は、左上領域（Ⅰ）に属し、関心・関係度は低いのに対し納得度が高いことがうかがえました。

4-1 健康福祉/障害者支援、**4-1 健康福祉/健康**、**4-2 学校教育**は、右上領域（Ⅲ）に属し、関心・関係度と納得度がともに高いことがうかがえました。

ニーズ度は、33 分野中 **4-1 健康福祉/高齢者支援**が 3 位、**4-1 健康福祉の健康/子育て支援**が 7 位、**4-1 健康福祉/健康**が 9 位、**4-1 健康福祉/障害者支援**が 10 位、**4-2 学校教育**が 14 位、**4-3 生涯学習**が 20 位、**4-4 青少年育成**が 24 位、**4-5 スポーツ・レクリエーション**が 25 位でした。

オ 安全で快適な生活が送れるまち

関連図では、**5-1 地域安全/安全安心まちづくり**、**5-2 市街地整備**、**5-4 道路整備**、**5-5 住宅・住環境**は右下領域（Ⅳ）に属し、関心・関係度が高いのに対して納得度が低いことがうかがえました。中でも、**5-2 市街地整備**は納得度が-0.05 と 33 分野中 1 番低い値でした。

5-3 総合交通は左下領域に属し、関心・関係度と納得度がともに低いことがうかがえました。

5-1 地域安全/消防、**5-1 地域安全/交通安全**、**5-6 下水道・河川**は右上領域（Ⅲ）に属し、関心・関係度と納得度がともに高いことがうかがえました。

ニーズ度は、33 分野中 **5-2 市街地整備**は 1 位、**5-1 地域安全/安全安心まちづくり**は 2 位、**5-1 地域安全/交通安全**は 4 位、**5-4 道路整備**は 6 位、**5-6 下水道・河川**は 13 位、**5-1 地域安全/消防**は 15 位、**5-5 住宅・住環境**は 16 位、**5-3 総合交通**は 21 位でした。

カ 活力ある暮らしやすいまち

関連図では、**6-3 観光**は関心・関係度が中央値で、納得度が中央値より低い領域に属していました。**6-1 地域情報化**、**6-2 産業振興**、**6-4 勤労者福祉**が左下領域（Ⅱ）に属し、関心・関係度と納得度がともに低いことがうかがえました。

6-5 消費生活は、左上領域（Ⅰ）に属し、関心・関係度は低く、納得度は高いことがうかがえました。

ニーズ度は、33 分野中 6-3 観光は 18 位、6-2 産業振興は 23 位、6-1 地域情報化は 26 位、6-5 消費生活は 27 位、6-4 勤労者福祉は 29 位でした。

キ 計画の推進

相関図では、7-1 市民参画・協働の推進は関心・関係度が低く、納得度が中央値でした。

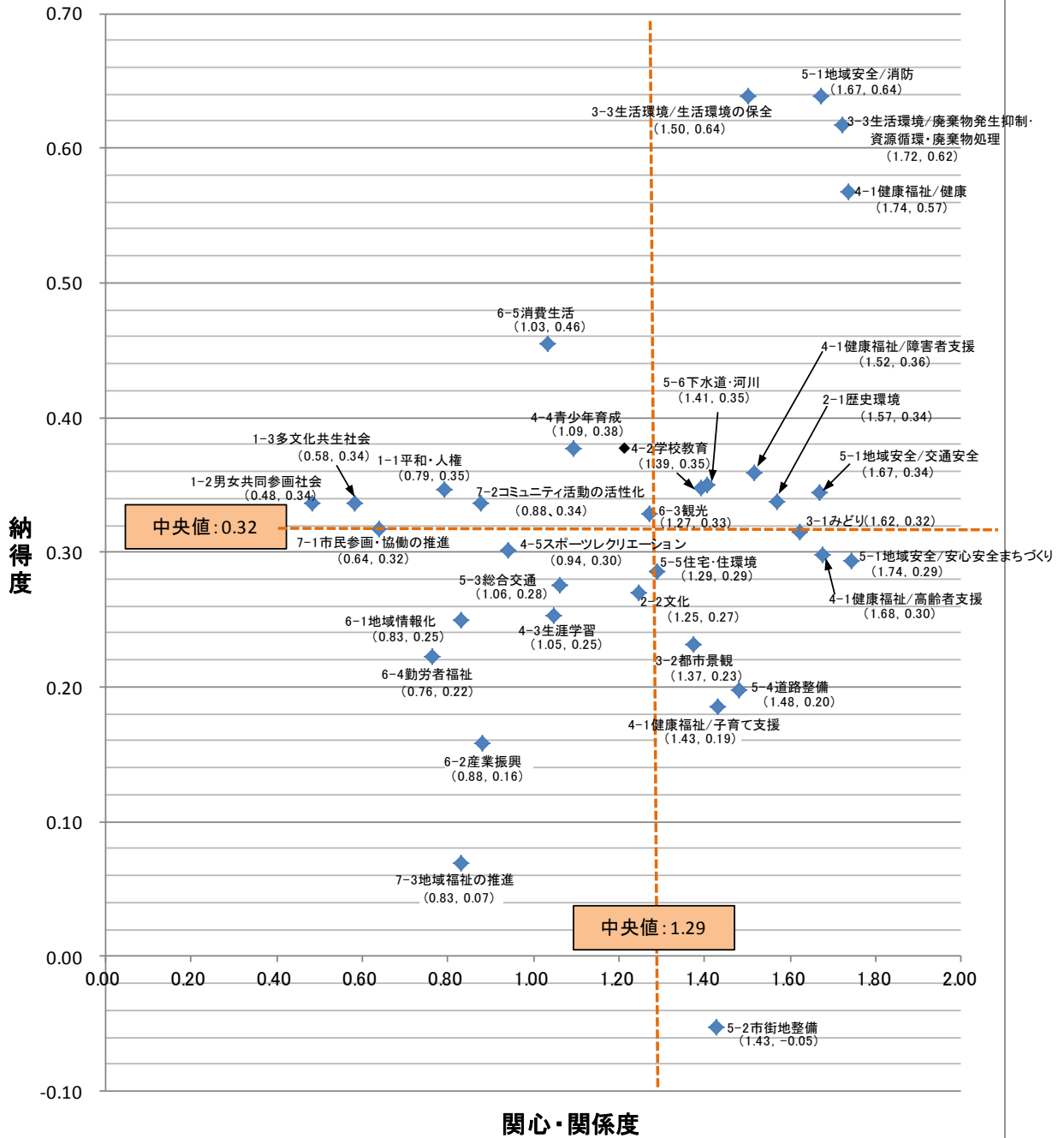
7-3 地域福祉の推進が左下領域（Ⅱ）に属し関心・関係度は低く、納得度は 0.07 と 33 分野中下から 2 番目に低い値でした。

7-2 コミュニティー活動の活性化は、左上領域（Ⅰ）に属し、関心・関係度は低く、納得度は中央値よりやや高いことがうかがえました。

ニーズ度は、33 分野中 7-3 地域福祉の推進は 22 位、7-2 コミュニティー活動の活性化は 28 位、7-1 市民参画・協働の推進は 31 位でした。

相関図の中で右下領域（Ⅳ）に位置し、特に、関心・関係度が高く、納得度が低い、またニーズ度が高い 5-2 市街地整備、5-1 地域安全/安全安心まちづくり、4-1 健康福祉/高齢者支援などは、今後、何らかの改善方策が求められます。

施策の『関心・関係度』と『納得度』評価分布図



1- 人権を尊重し、人との出会いを 2- 歴史を継承し、文化を創造するまち
 3- 都市環境を保全・創造するまち 4- 健やかで心豊かに暮らせるまち
 5- 安全で快適な生活が送れるまち 6- 活力ある暮らしやすいまち
 7- 計画の推進

分野別（関心・関係度評価点、納得度評価点、ニーズ度、ニーズ度順位）集計一覧

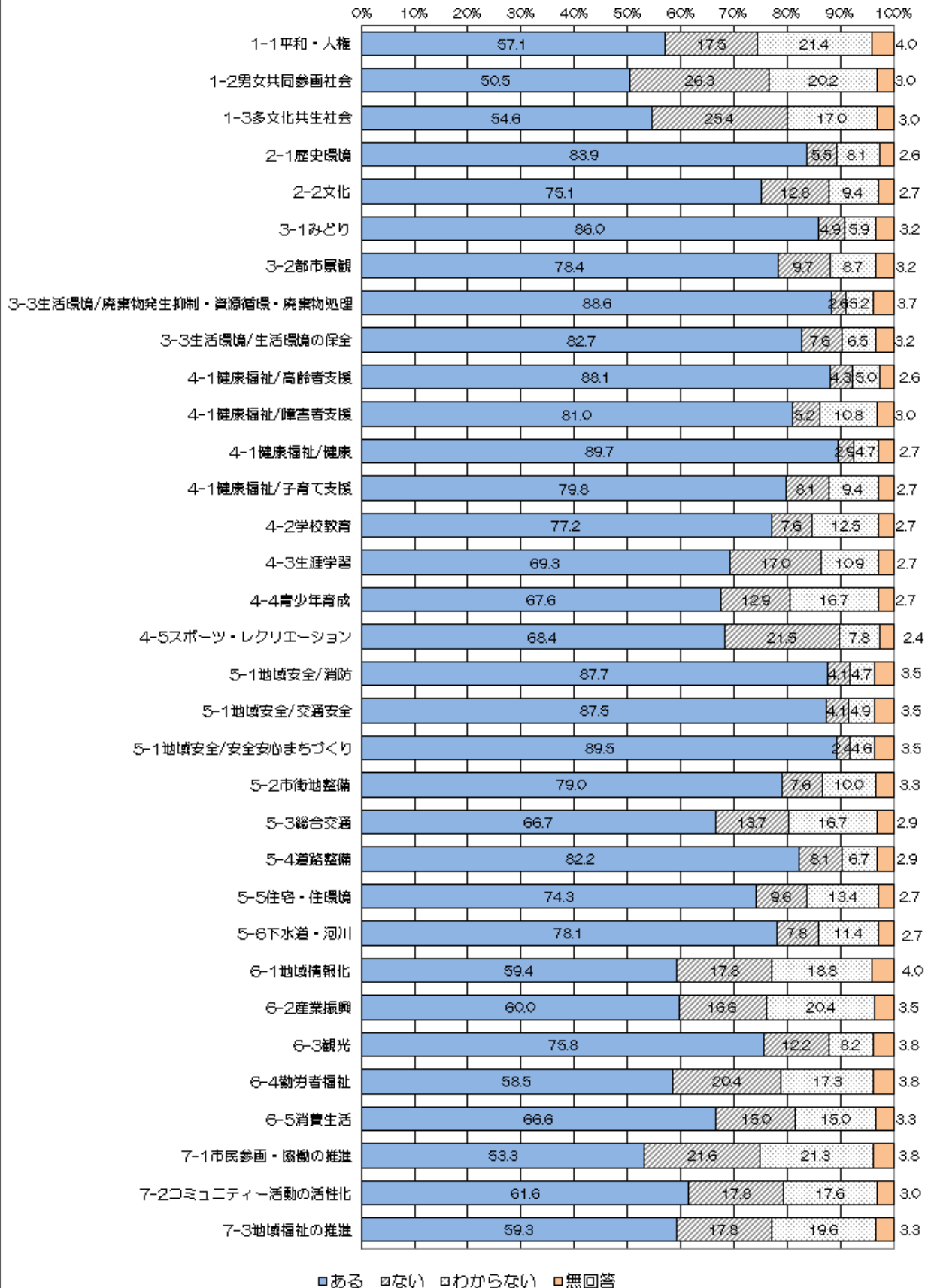
No.	分野	関係・関心度 評価点(a)	納得度 評価点(b)	ニーズ度 (a-b)	ニーズ度順位
1-1	平和・人権	0.79	0.35	0.45	30位
1-2	男女共同参画社会	0.48	0.34	0.15	33位
1-3	多文化共生社会	0.58	0.34	0.25	32位
2-1	歴史環境	1.57	0.34	1.23	8位
2-2	文化	1.25	0.27	0.97	17位
3-1	みどり	1.62	0.32	1.31	5位
3-2	都市景観	1.37	0.23	1.14	11位
3-3	生活環境 廃棄物発生抑制・資源循環・廃棄	1.72	0.62	1.10	12位
3-3	生活環境 生活環境の保全	1.50	0.64	0.86	19位
4-1	健康福祉 高齢者支援	1.68	0.30	1.38	3位
4-1	健康福祉 障害者支援	1.52	0.36	1.16	10位
4-1	健康福祉 健康	1.74	0.57	1.17	9位
4-1	健康福祉 子育て支援	1.43	0.19	1.25	7位
4-2	学校教育	1.39	0.35	1.04	14位
4-3	生涯学習	1.05	0.25	0.79	20位
4-4	青少年育成	1.09	0.38	0.72	24位
4-5	スポーツ・レクリエーション	0.94	0.30	0.64	25位
5-1	地域安全 消防	1.67	0.64	1.03	15位
5-1	地域安全 交通安全	1.67	0.34	1.32	4位
5-1	地域安全 安全安心まちづくり	1.74	0.29	1.45	2位
5-2	市街地整備	1.43	-0.05	1.48	1位
5-3	総合交通	1.06	0.28	0.78	21位
5-4	道路整備	1.48	0.20	1.28	6位
5-5	住宅・住環境	1.29	0.29	1.00	16位
5-6	下水道・河川	1.41	0.35	1.06	13位
6-1	地域情報化	0.83	0.25	0.59	26位
6-2	産業振興	0.88	0.16	0.72	23位
6-3	観光	1.27	0.33	0.94	18位
6-4	勤労者福祉	0.76	0.22	0.54	29位
6-5	消費生活	1.03	0.46	0.57	27位
7-1	市民参画・協働の推進	0.64	0.32	0.32	31位
7-2	コミュニティ活動の活性化	0.88	0.34	0.54	28位
7-3	地域福祉の推進	0.83	0.07	0.76	22位

分野別回答集計一覧

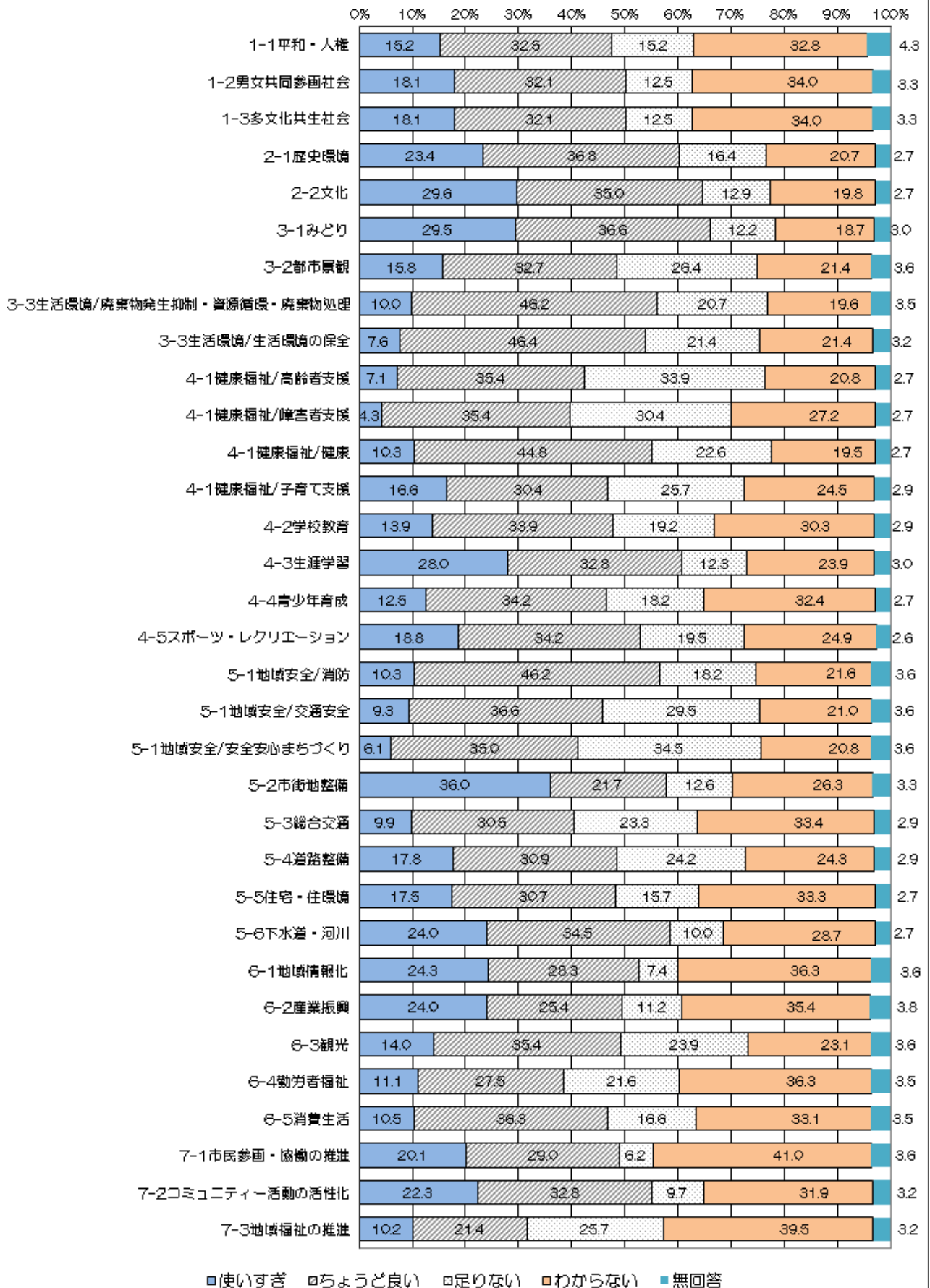
No.	分野	合計(%)	関心・関係(%)				納得度(%)				
			ある	ない	わからない	無回答	使いすぎ	ちょうど良い	足りない	わからない	無回答
1-1	平和・人権	100	57.1	17.5	21.4	4.0	15.2	32.5	15.2	32.8	4.3
1-2	男女共同参画社会	100	50.5	26.3	20.2	3.0	18.1	32.1	12.5	34.0	3.3
1-3	多文化共生社会	100	54.6	25.4	17.0	3.0	18.1	32.1	12.5	34.0	3.3
2-1	歴史環境	100	83.9	5.5	8.1	2.6	23.4	36.8	16.4	20.7	2.7
2-2	文化	100	75.1	12.8	9.4	2.7	29.6	35.0	12.9	19.8	2.7
3-1	みどり	100	86.0	4.9	5.9	3.2	29.5	36.6	12.2	18.7	3.0
3-2	都市景観	100	78.4	9.7	8.7	3.2	15.8	32.7	26.4	21.4	3.6
3-3	生活環境 廃棄物発生抑制・資源循環	100	88.6	2.6	5.2	3.6	10.0	46.2	20.7	19.6	3.5
3-3	生活環境 生活環境の保全	100	82.7	7.6	6.5	3.2	7.6	46.4	21.4	21.4	3.2
4-1	健康福祉 高齢者支援	100	88.1	4.3	5.0	2.6	7.1	35.4	33.9	20.8	2.7
4-1	健康福祉 障害者支援	100	81.0	5.2	10.8	3.0	4.3	35.4	30.4	27.2	2.7
4-1	健康福祉 健康	100	89.7	2.9	4.7	2.7	10.3	44.8	22.6	19.5	2.7
4-1	健康福祉 子育て支援	100	79.8	8.1	9.4	2.7	16.6	30.4	25.7	24.5	2.9
4-2	学校教育	100	77.2	7.6	12.5	2.7	13.8	33.9	19.1	30.2	2.9
4-3	生涯学習	100	69.3	17.0	10.9	2.7	28.0	32.8	12.3	23.9	3.0
4-4	青少年育成	100	67.6	12.9	16.7	2.7	12.5	34.2	18.2	32.4	2.7
4-5	スポーツ・レクリエーション	100	68.4	21.4	7.8	2.4	18.8	34.2	19.5	24.9	2.6
5-1	地域安全 消防	100	87.7	4.1	4.7	3.5	10.3	46.2	18.2	21.6	3.6
5-1	地域安全 交通安全	100	87.5	4.1	4.9	3.5	9.3	36.6	29.5	21.0	3.6
5-1	地域安全 安全安心まちづくり	100	89.5	2.4	4.6	3.5	6.1	35.0	34.5	20.8	3.6
5-2	市街地整備	100	79.0	7.6	10.0	3.3	36.0	21.7	12.6	26.3	3.3
5-3	総合交通	100	66.7	13.7	16.7	2.9	9.9	30.5	23.3	33.4	2.9
5-4	道路整備	100	82.2	8.2	6.7	2.9	17.8	30.9	24.2	24.3	2.9
5-5	住宅・住環境	100	74.3	9.6	13.4	2.7	17.5	30.7	15.7	33.3	2.7
5-6	下水道・河川	100	78.1	7.8	11.4	2.7	24.0	34.5	10.0	28.7	2.7
6-1	地域情報化	100	59.4	17.8	18.8	4.0	24.3	28.3	7.4	36.3	3.6
6-2	産業振興	101	60.0	16.6	20.4	3.5	24.0	25.5	11.2	35.4	3.8
6-3	観光	100	75.8	12.2	8.2	3.8	14.0	35.4	23.9	23.1	3.6
6-4	勤労者福祉	100	58.5	20.4	17.3	3.8	11.1	27.5	21.6	36.3	3.5
6-5	消費生活	100	66.6	15.0	15.0	3.3	10.5	36.3	16.6	33.1	3.5
7-1	市民参画・協働の推進	100	53.3	21.6	21.3	3.8	20.1	29.0	6.2	41.0	3.6
7-2	コミュニティー活動の活性化	100	61.6	17.8	17.6	3.0	22.3	32.8	9.7	31.9	3.2
7-3	地域福祉の推進	100	59.3	17.8	19.6	3.3	10.2	21.4	25.7	39.5	3.2

n=658

施策に関する分野別関心・関係の割合



コストに対する分野別納得の割合



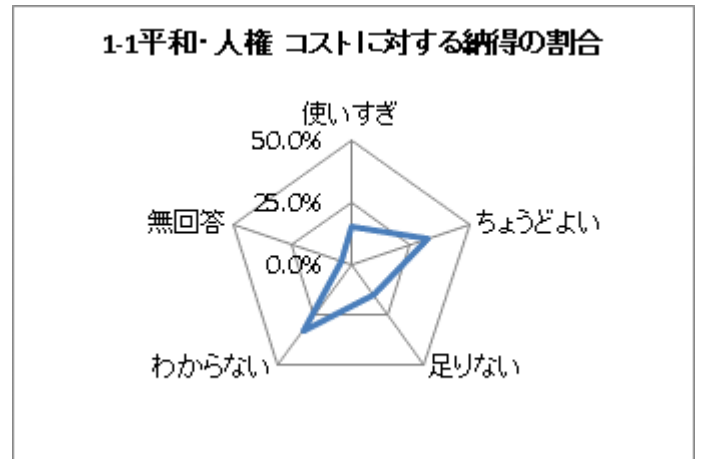
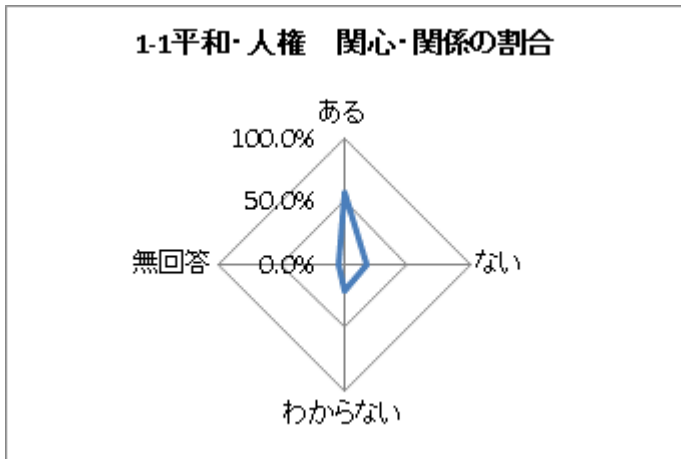
第4章 調査結果（詳細）

1 分野別 関心・関係の割合、納得の割合

1-1 平和・人権

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	376	115	141
		57.1%	17.5%	21.4%	4.0%

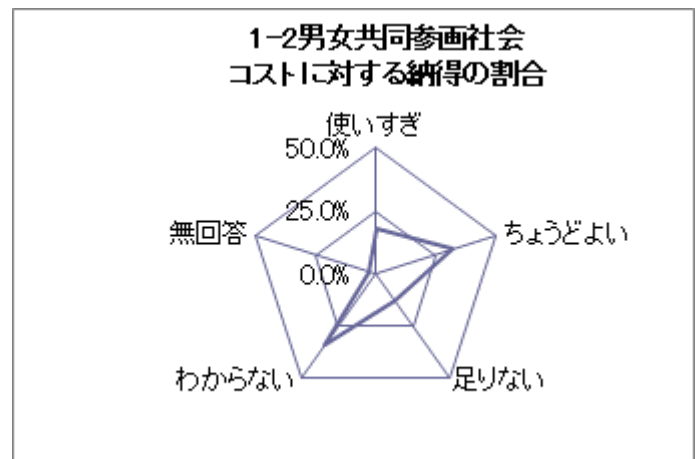
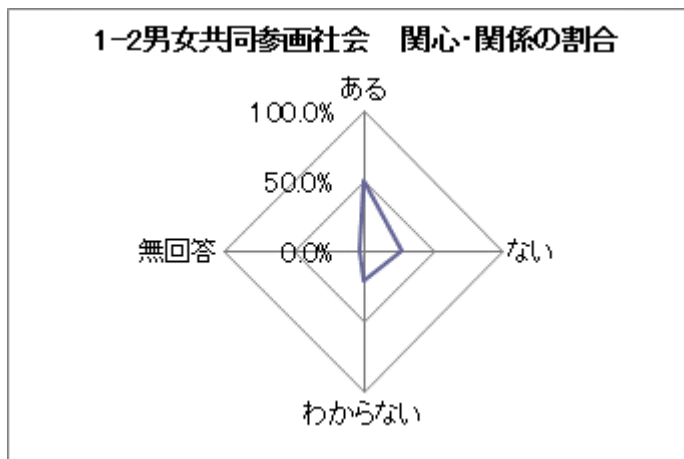
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	100	214	100	216
		15.2%	32.5%	15.2%	32.8%	4.3%



1-2 男女共同参画社会

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	332	173	133
		50.5%	26.3%	20.2%	3.0%

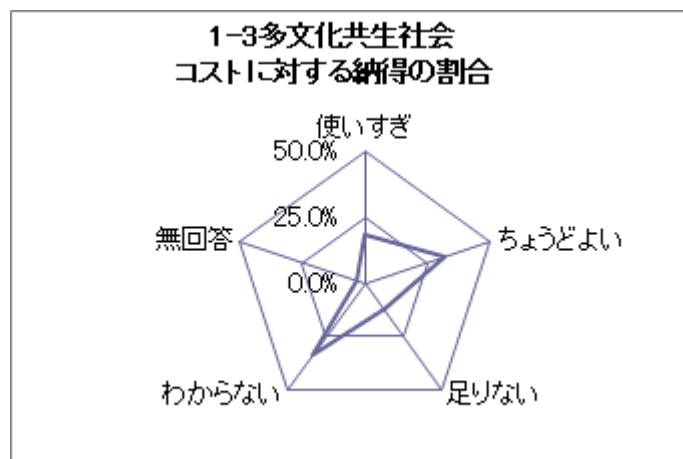
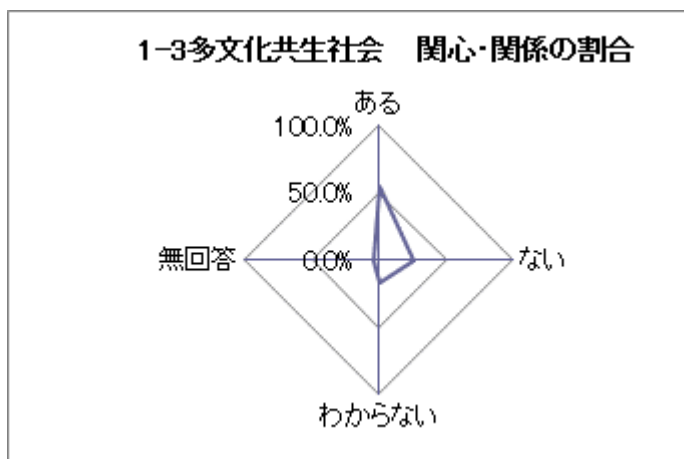
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	119	211	82	224
		18.1%	32.1%	12.5%	34.0%	3.3%



1-3 多文化共生社会

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
	658	359	167	112	20
	100.0%	54.6%	25.4%	17.0%	3.0%

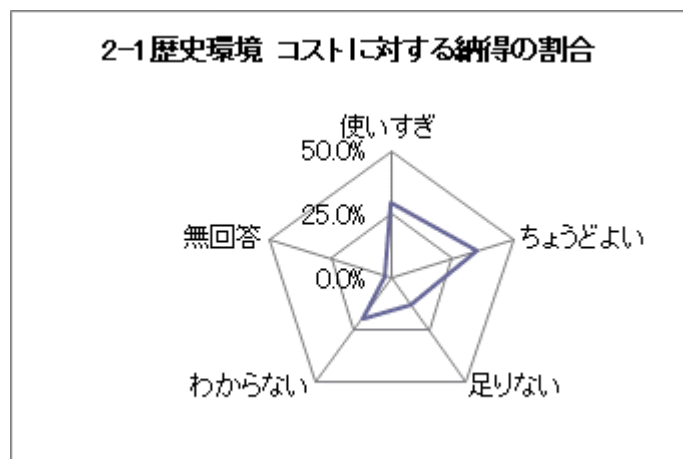
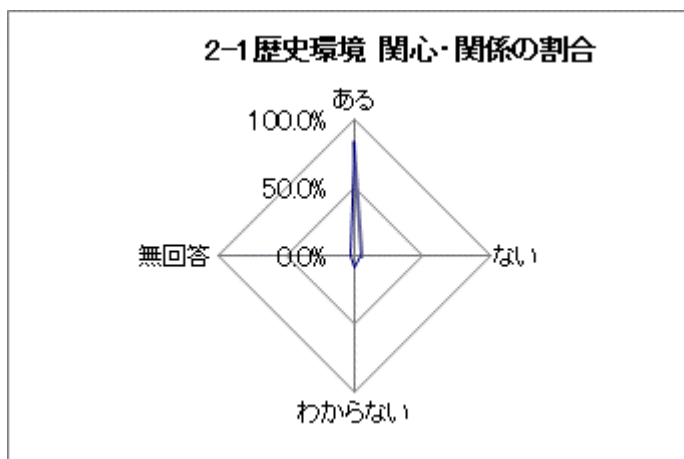
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
	658	119	211	82	224	22
	100.0%	18.1%	32.1%	12.5%	34.0%	3.3%



2-1 歴史環境

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
	658	552	36	53	17
	100.0%	83.9%	5.5%	8.1%	2.6%

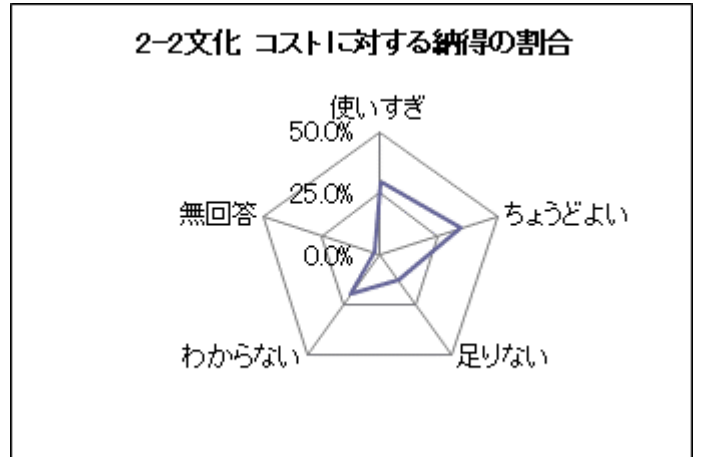
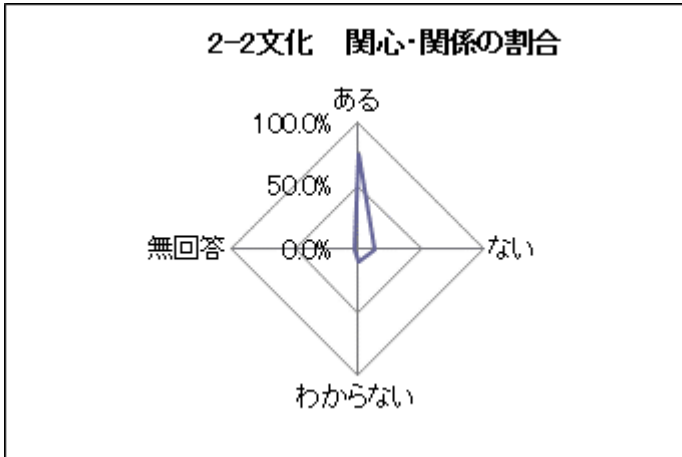
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
	658	154	242	108	136	18
	100.0%	23.4%	36.8%	16.4%	20.7%	2.7%



2-2 文化

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
	658	494	84	62	18
	100.0%	75.1%	12.8%	9.4%	2.7%

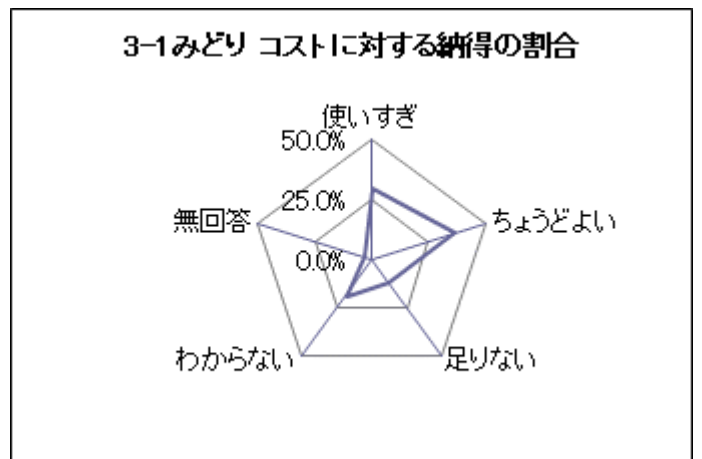
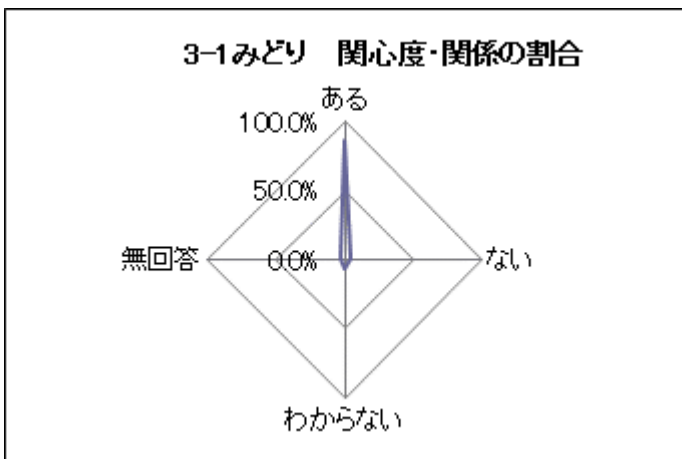
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
	658	195	230	85	130	18
	100.0%	29.6%	35.0%	12.9%	19.8%	2.7%



3-1 みどり

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
	658	566	32	39	21
	100.0%	86.0%	4.9%	5.9%	3.2%

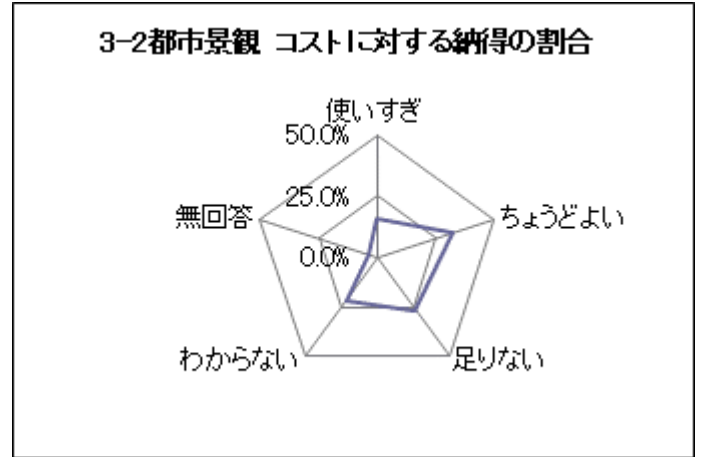
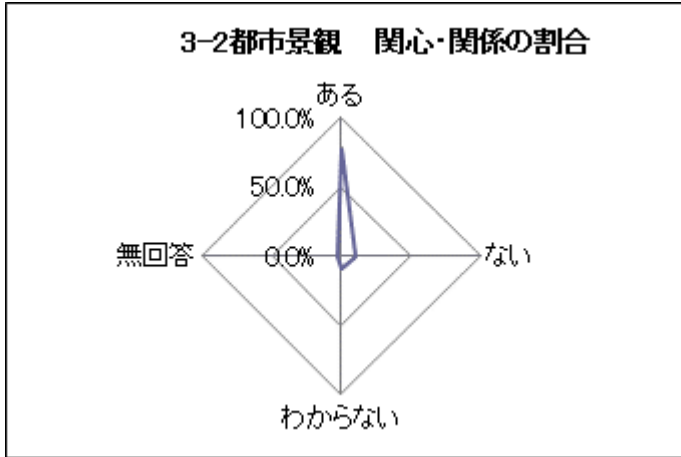
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
	658	194	241	80	123	20
	100.0%	29.5%	36.6%	12.2%	18.7%	3.0%



3-2 都市景観

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	516	64	57
	100.0%	78.4%	9.7%	8.7%	3.2%

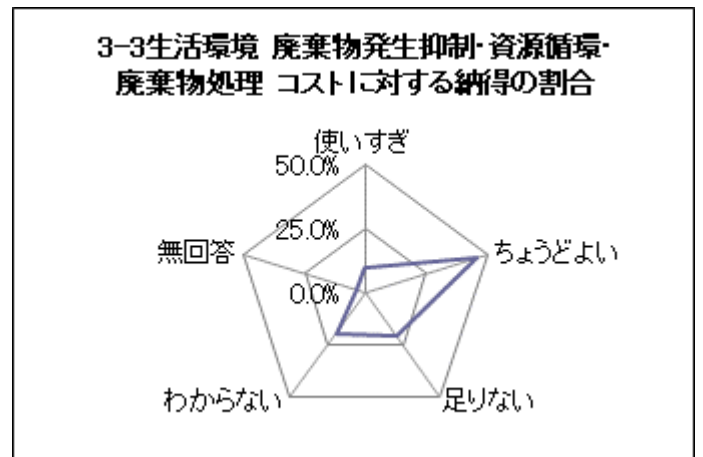
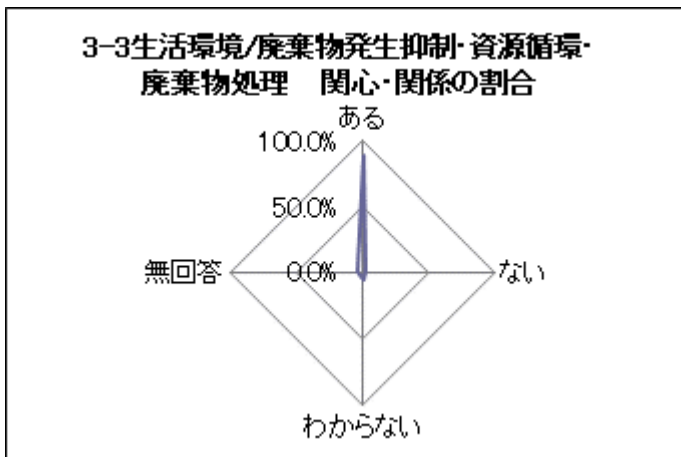
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	104	215	174	141
	100.0%	15.8%	32.7%	26.4%	21.4%	3.6%



3-3 生活環境 廃棄物発生抑制・資源循環・廃棄物処理

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	583	17	34
	100.0%	88.6%	2.6%	5.2%	3.6%

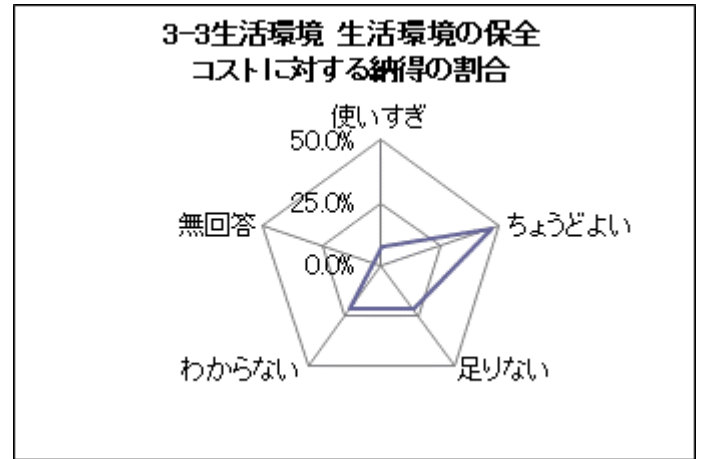
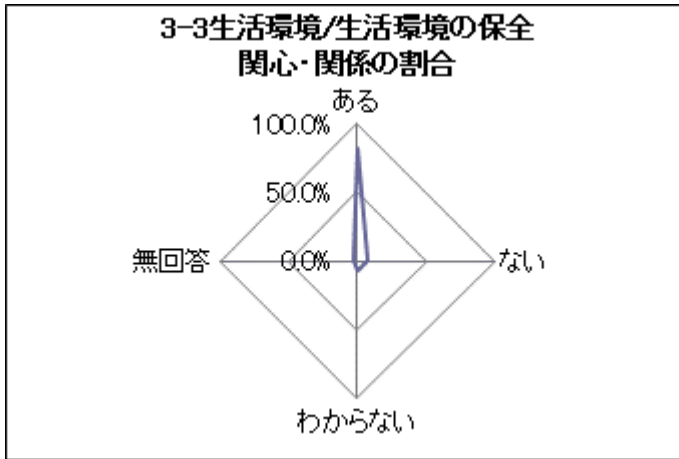
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	66	304	136	129
	100.0%	10.0%	46.2%	20.7%	19.6%	3.5%



3-3 生活環境 生活環境の保全

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
	658	544	50	43	21
100.0%	82.7%	7.6%	6.5%	3.2%	

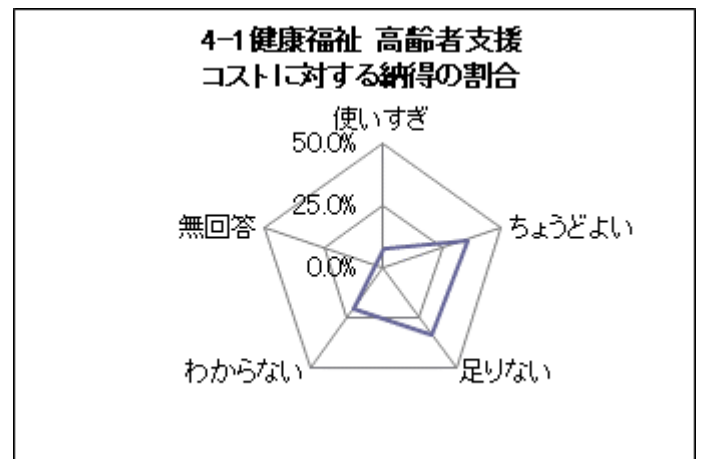
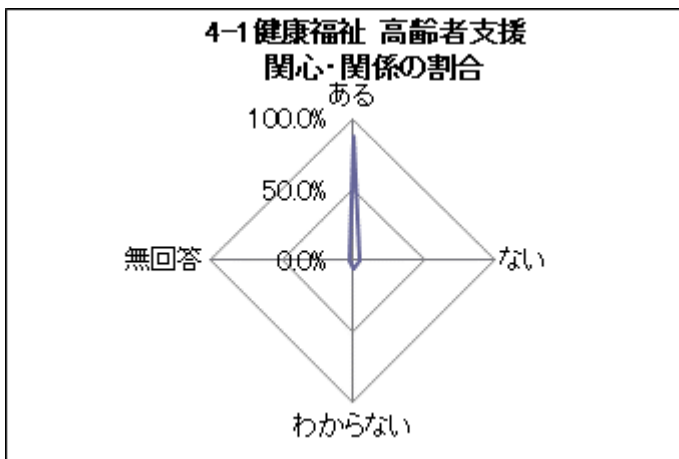
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
	658	50	305	141	141	21
100.0%	7.6%	46.4%	21.4%	21.4%	3.2%	



4-1 健康福祉 高齢者支援

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
	658	580	28	33	17
100.0%	88.1%	4.3%	5.0%	2.6%	

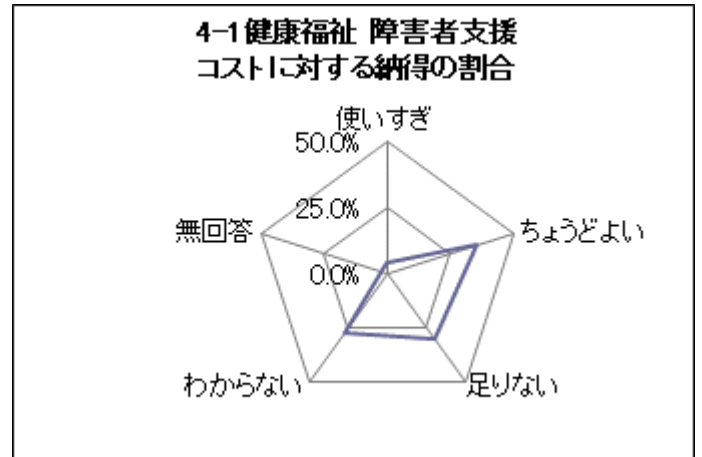
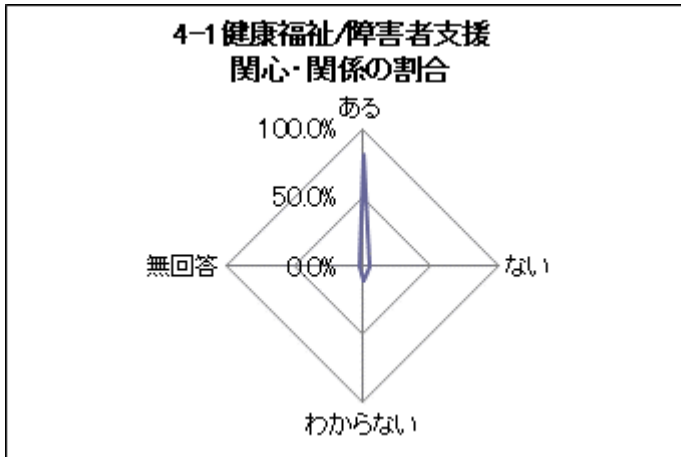
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
	658	47	233	223	137	18
100.0%	7.1%	35.4%	33.9%	20.8%	2.7%	



4-1 健康福祉 障害者支援

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	533	34	71
	100.0%	81.0%	5.2%	10.8%	3.0%

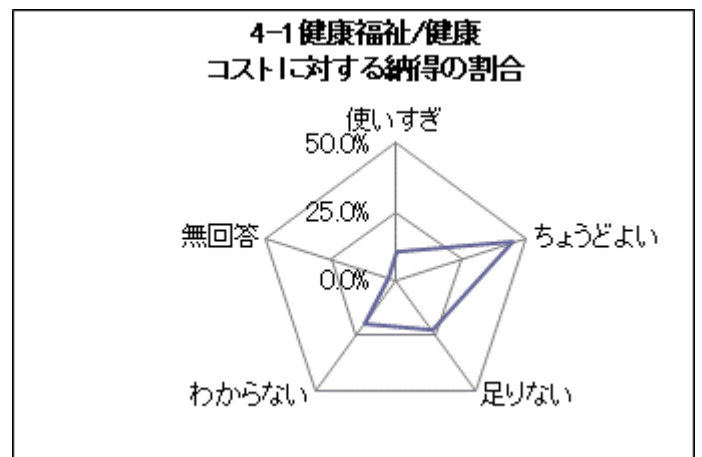
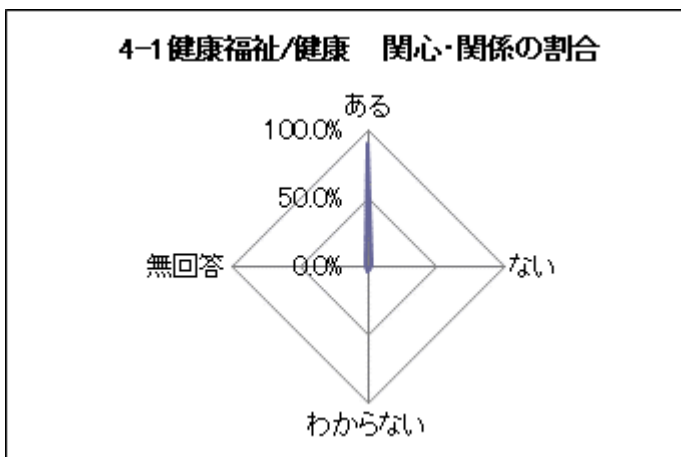
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	28	233	200	179
	100.0%	4.3%	35.4%	30.4%	27.2%	2.7%



4-1 健康福祉 健康

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	590	19	31
	100.0%	89.7%	2.9%	4.7%	2.7%

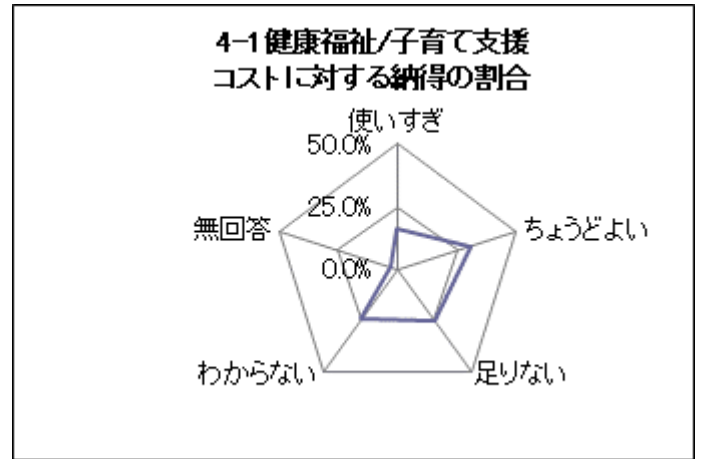
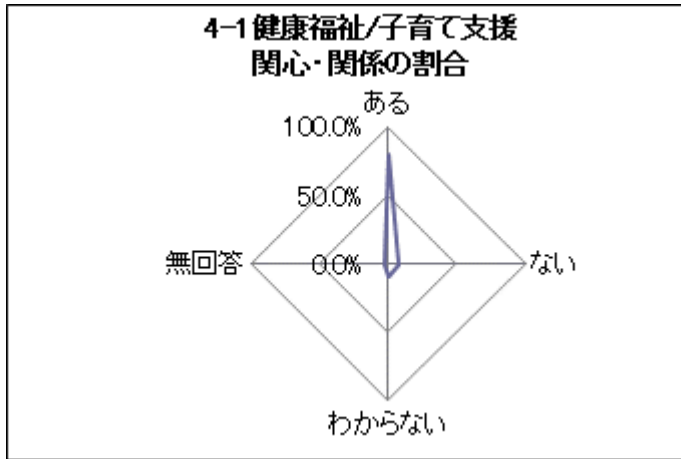
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	68	295	149	128
	100.0%	10.3%	44.8%	22.6%	19.5%	2.7%



4-1 健康福祉 子育て支援

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	525	53	62
	100.0%	79.8%	8.1%	9.4%	2.7%

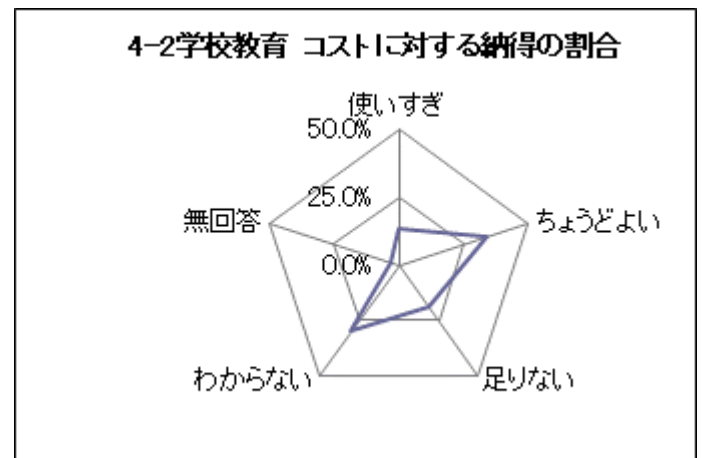
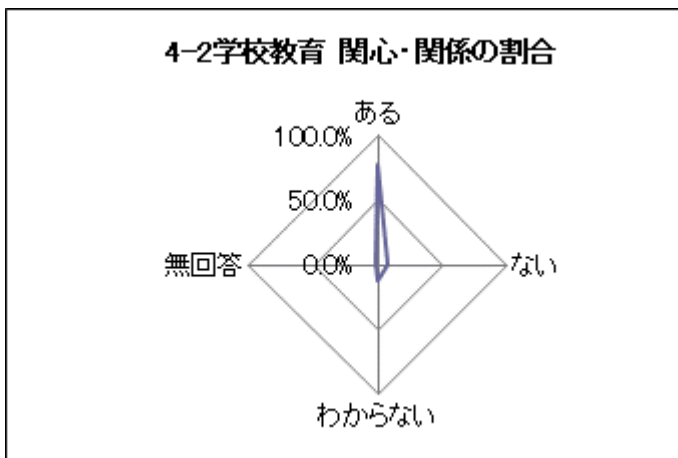
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	109	200	169	161
	100.0%	16.6%	30.4%	25.7%	24.5%	2.9%



4-2 学校教育

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	508	50	82
	100.0%	77.2%	7.6%	12.5%	2.7%

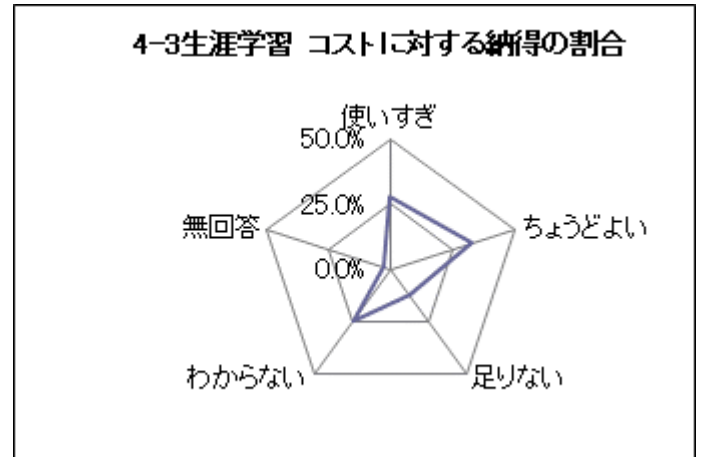
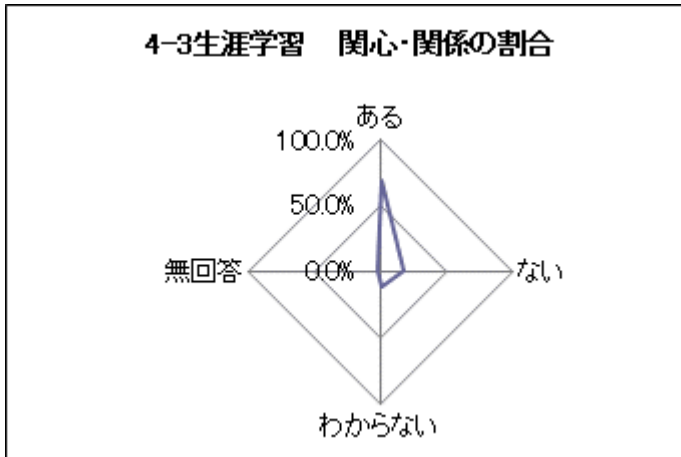
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	91	223	126	199
	100.0%	13.8%	33.9%	19.1%	30.2%	2.9%



4-3 生涯学習

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	456	112	72
	100.0%	69.3%	17.0%	10.9%	2.7%

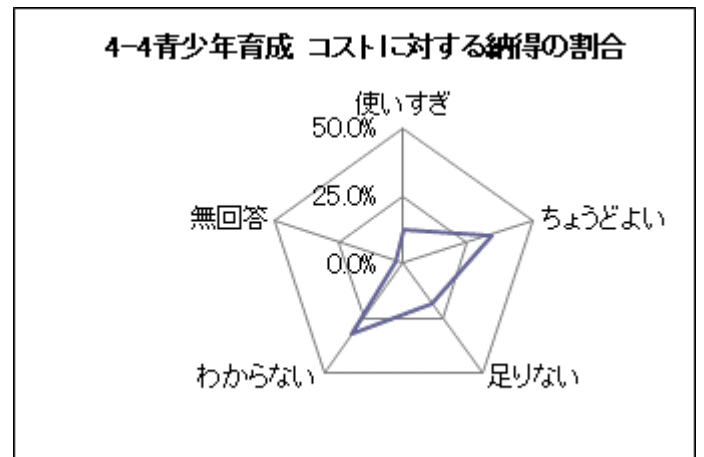
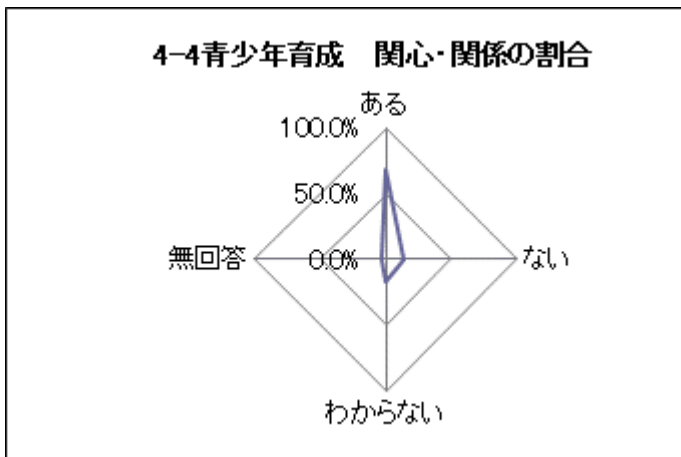
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	184	216	81	157
	100.0%	28.0%	32.8%	12.3%	23.9%	3.0%



4-4 青少年育成

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	445	85	110
	100.0%	67.6%	12.9%	16.7%	2.7%

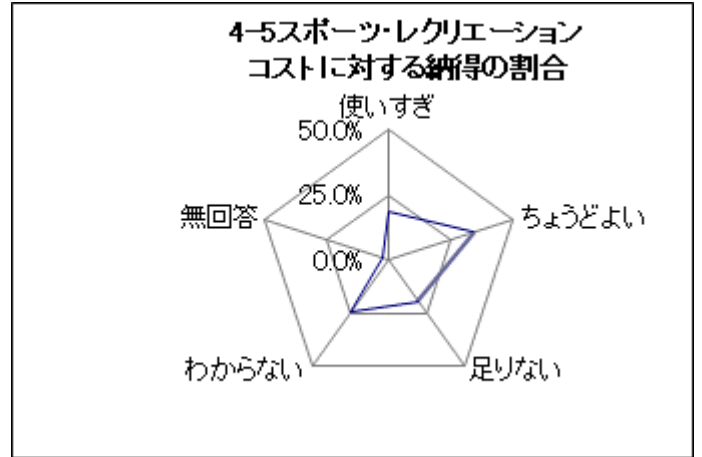
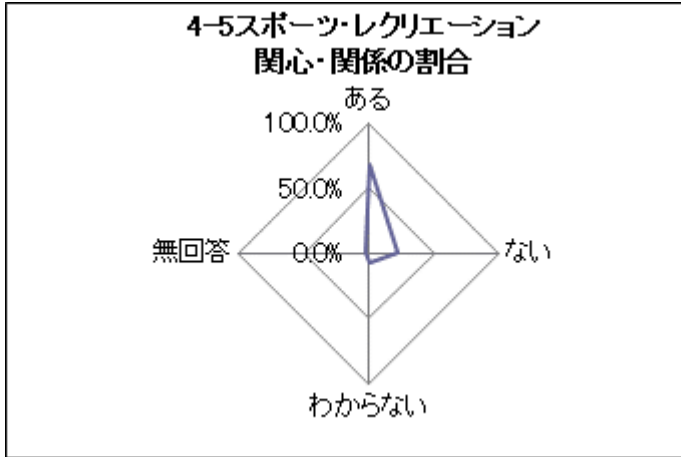
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	82	225	120	213
	100.0%	12.5%	34.2%	18.2%	32.4%	2.7%



4-5 スポーツ・レクリエーション

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
	658	450	141	51	16
100.0%	68.4%	21.4%	7.8%	2.4%	

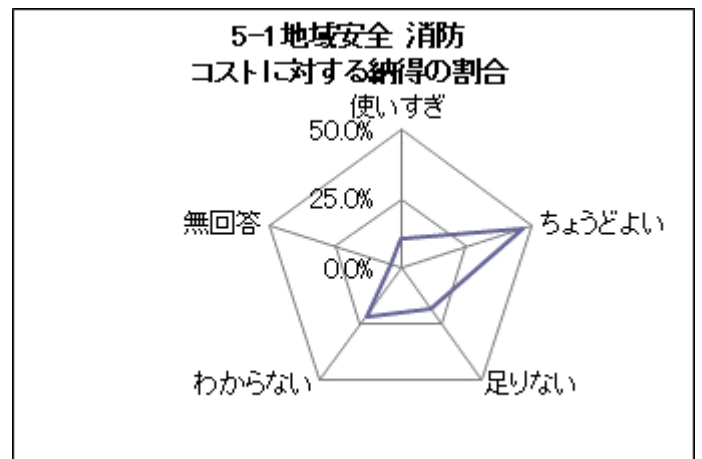
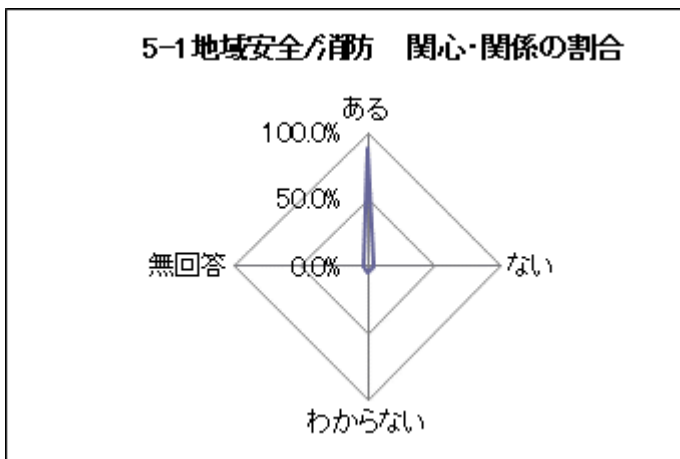
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
	658	124	225	128	164	17
100.0%	18.8%	34.2%	19.5%	24.9%	2.6%	



5-1 地域安全 消防

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
	658	577	27	31	23
100.0%	87.7%	4.1%	4.7%	3.5%	

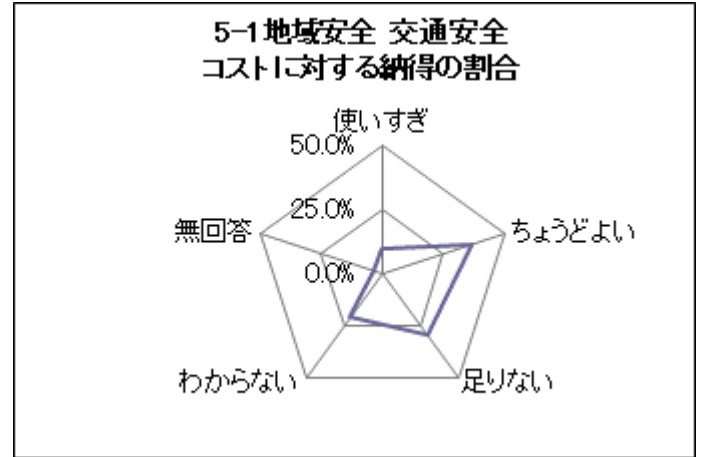
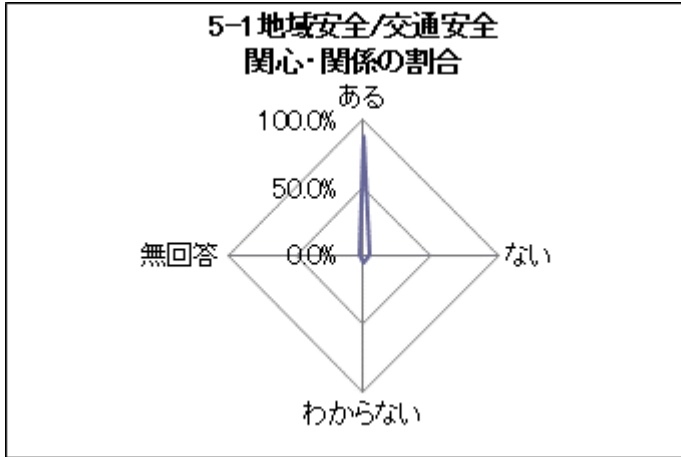
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
	658	68	304	120	142	24
100.0%	10.3%	46.2%	18.2%	21.6%	3.6%	



5-1 地域安全 交通安全

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	576	27	32
	100.0%	87.5%	4.1%	4.9%	3.5%

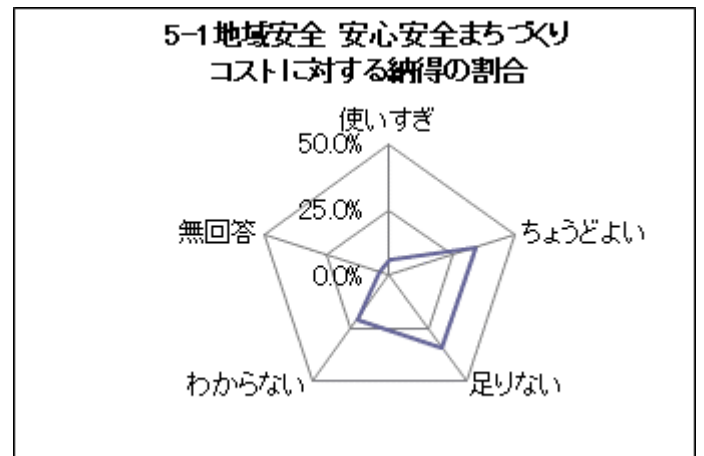
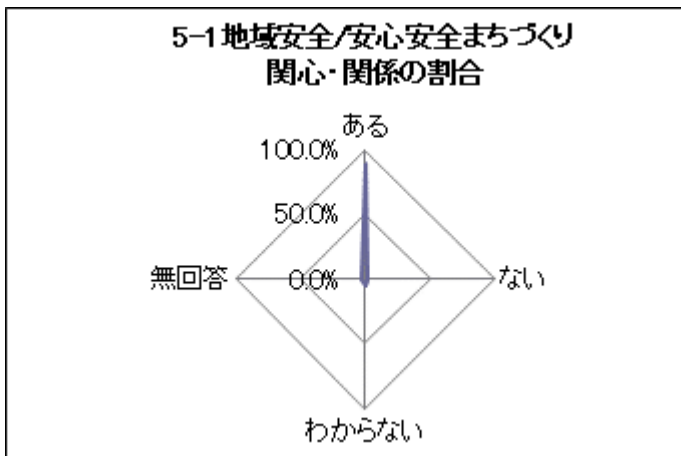
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	61	241	194	138
	100.0%	9.3%	36.6%	29.5%	21.0%	3.6%



5-1 地域安全 安全安心まちづくり

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	589	16	30
	100.0%	89.5%	2.4%	4.6%	3.5%

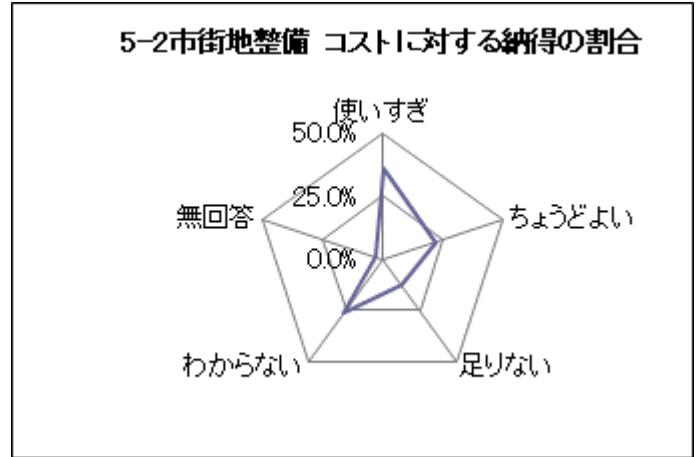
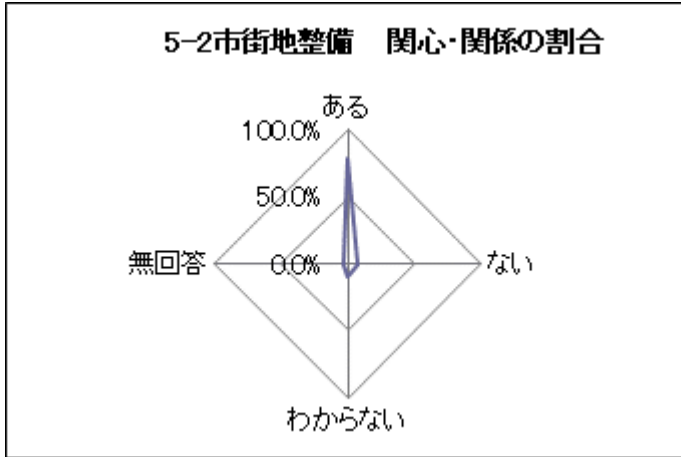
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	40	230	227	137
	100.0%	6.1%	35.0%	34.5%	20.8%	3.6%



5-2 市街地整備

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	520	50	66
	100.0%	79.0%	7.6%	10.0%	3.3%

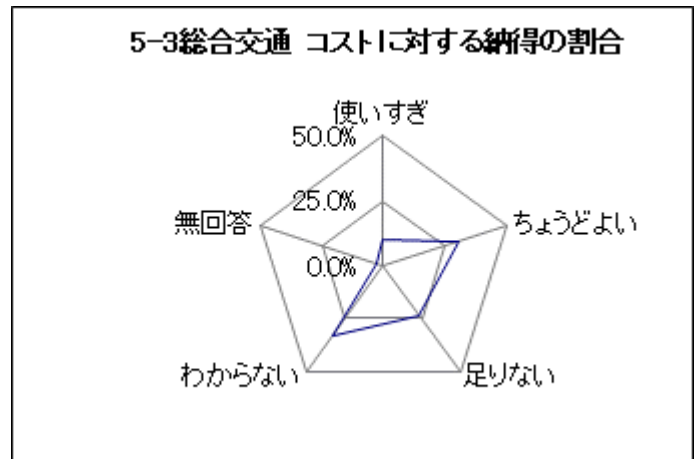
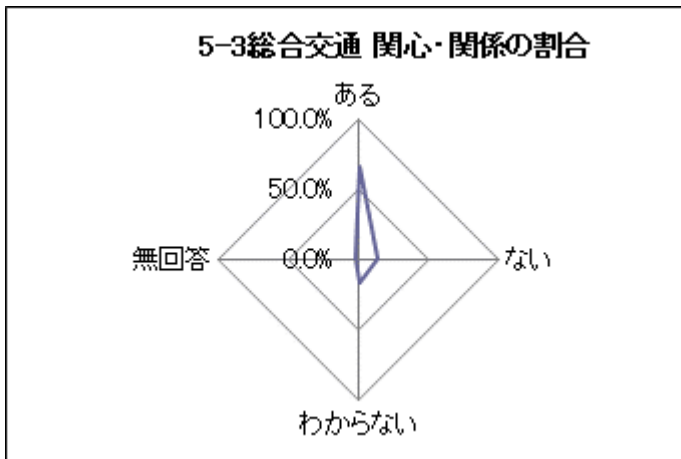
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	237	143	83	173
	100.0%	36.0%	21.7%	12.6%	26.3%	3.3%



5-3 総合交通

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	439	90	110
	100.0%	66.7%	13.7%	16.7%	2.9%

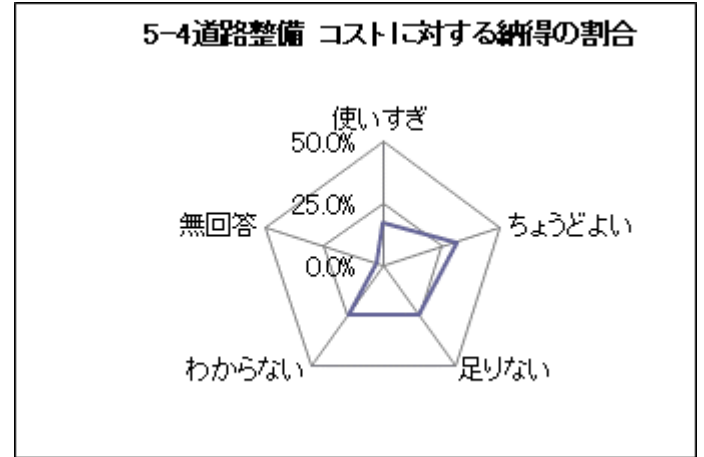
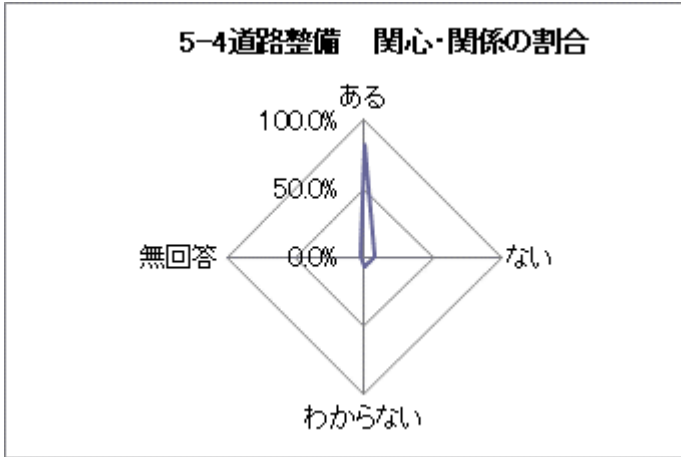
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	65	201	153	220
	100.0%	9.9%	30.5%	23.3%	33.4%	2.9%



5-4 道路整備

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	541	54	44
	100.0%	82.2%	8.2%	6.7%	2.9%

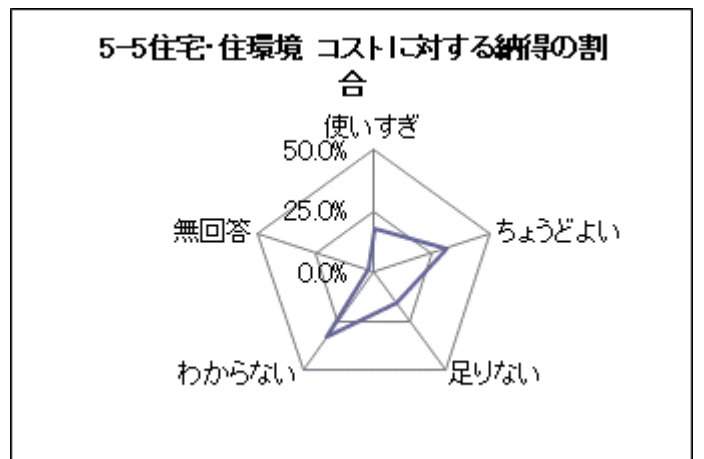
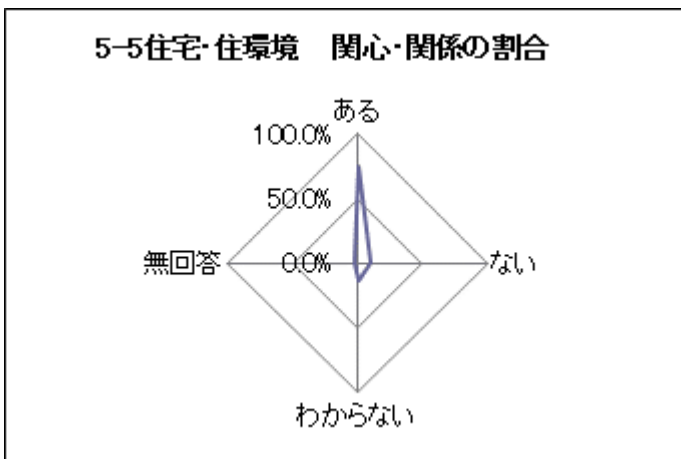
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	117	203	159	160
	100.0%	17.8%	30.9%	24.2%	24.3%	2.9%



5-5 住宅・住環境

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	488	64	88
	100.0%	74.2%	9.7%	13.4%	2.7%

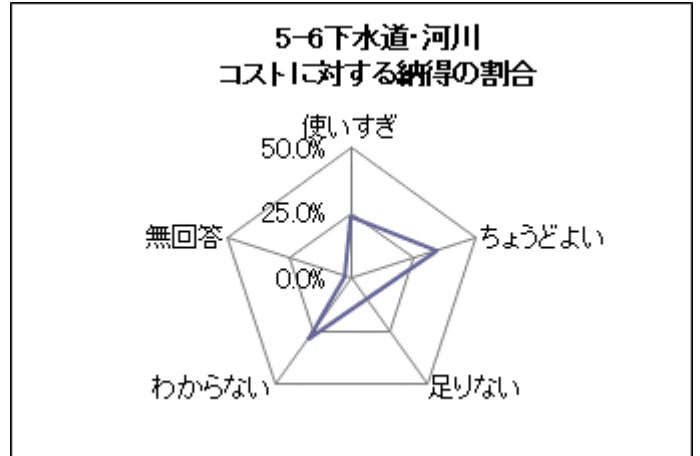
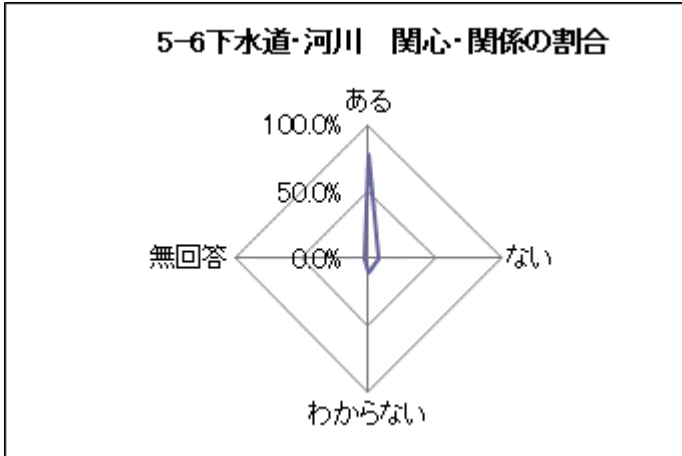
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	115	203	103	219
	100.0%	17.5%	30.9%	15.7%	33.3%	2.7%



5-6 下水道・河川

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
	658	514	51	75	18
100.0%	78.1%	7.8%	11.4%	2.7%	

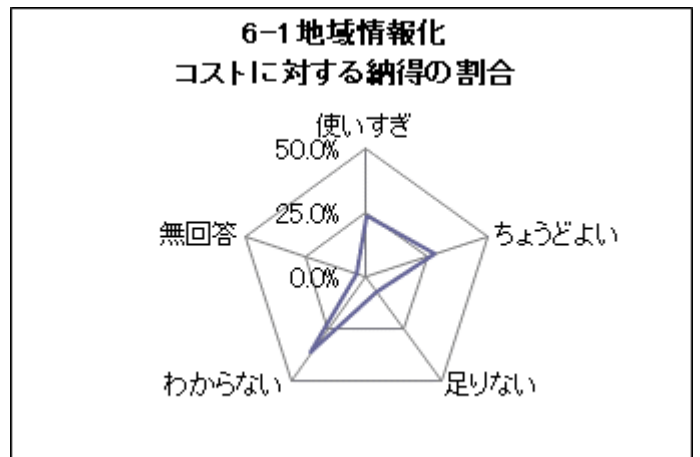
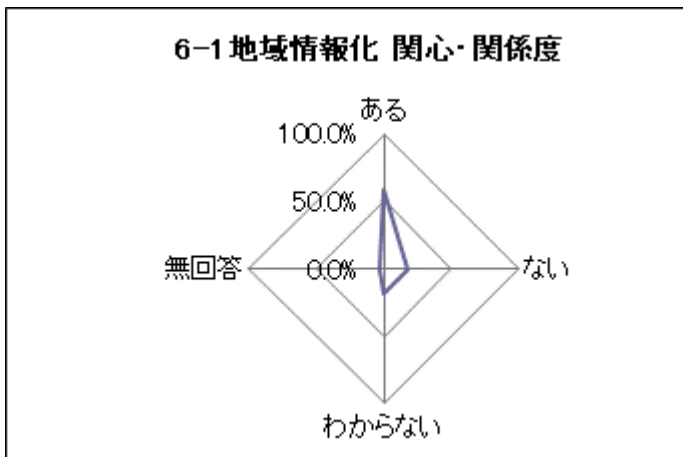
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
	658	158	227	66	189	18
100.0%	24.0%	34.5%	10.0%	28.7%	2.7%	



6-1 地域情報化

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
	658	391	117	124	26
100.0%	59.4%	17.8%	18.8%	4.0%	

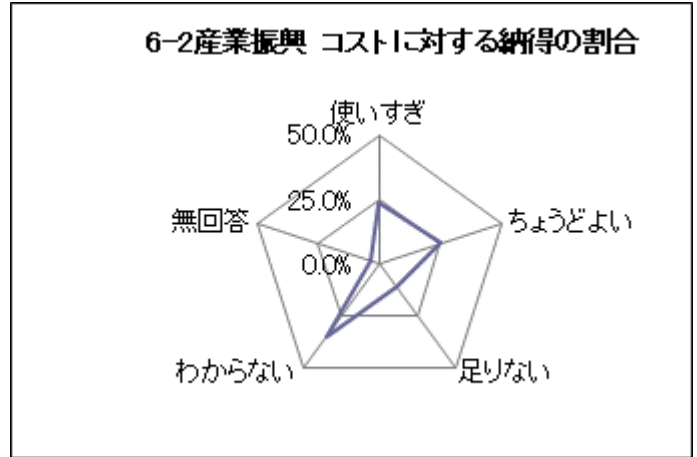
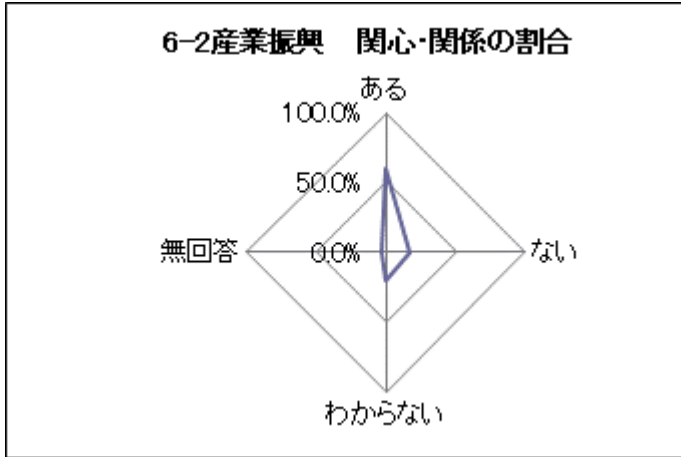
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
	658	160	186	49	239	24
100.0%	24.3%	28.3%	7.4%	36.3%	3.6%	



6-2 産業振興

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	395	106	134
	100.0%	60.0%	16.1%	20.4%	3.5%

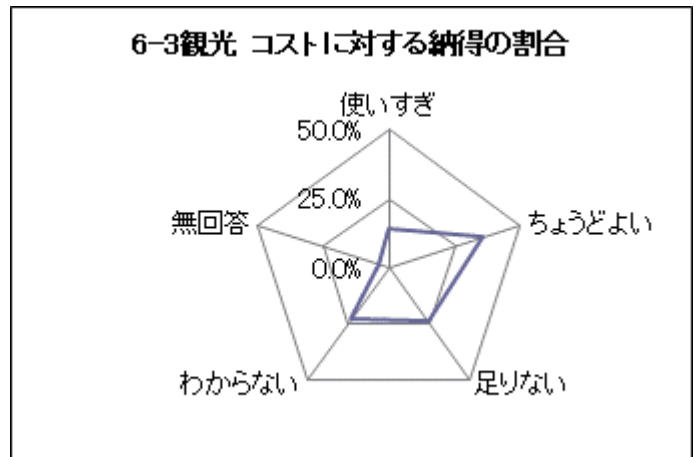
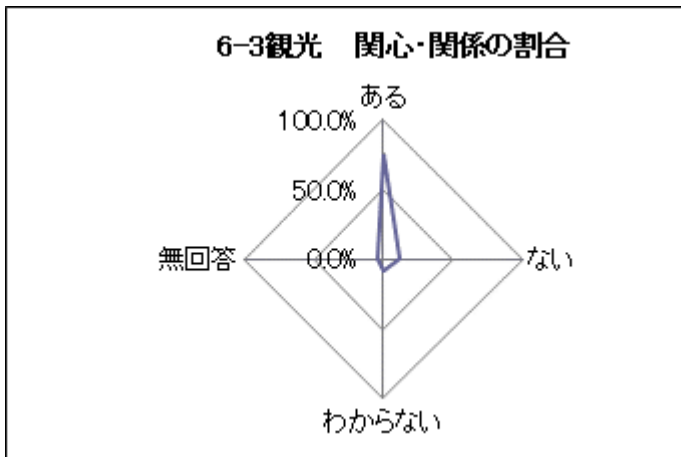
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	158	168	74	233
	100.0%	24.0%	25.5%	11.2%	35.4%	3.8%



6-3 観光

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	499	80	54
	100.0%	75.8%	12.2%	8.2%	3.8%

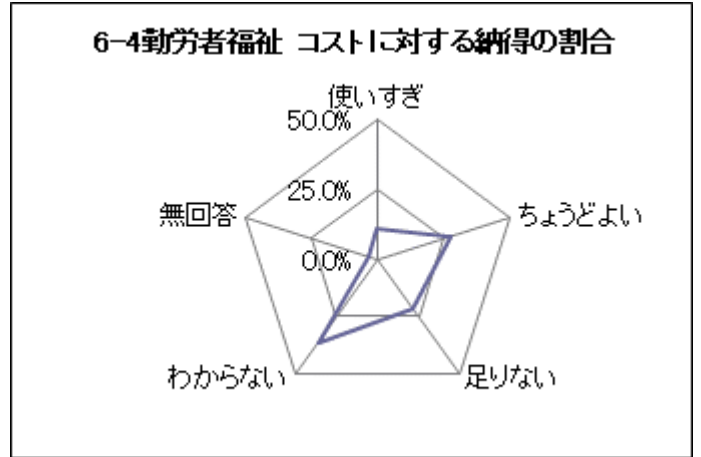
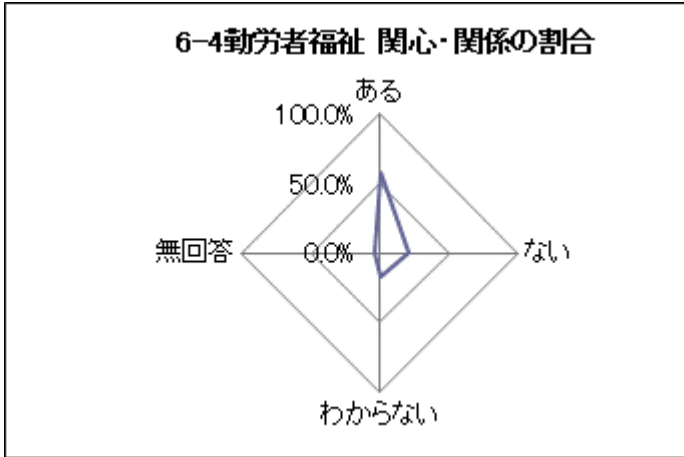
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	92	233	157	152
	100.0%	14.0%	35.4%	23.9%	23.1%	3.6%



6-4 勤労者福祉

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答	
		658	385	134	114	25
		100.0%	58.5%	20.4%	17.3%	3.8%

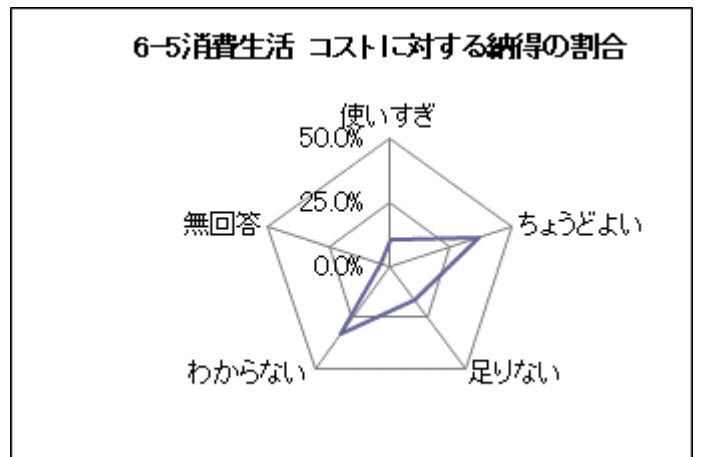
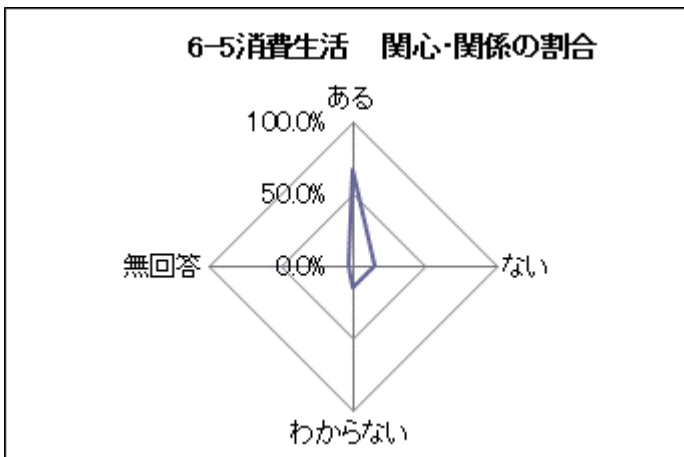
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答	
		658	73	181	142	239	23
		100.0%	11.1%	27.5%	21.6%	36.3%	3.5%



6-5 消費生活

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答	
		658	438	99	99	22
		100.0%	66.6%	15.0%	15.0%	3.3%

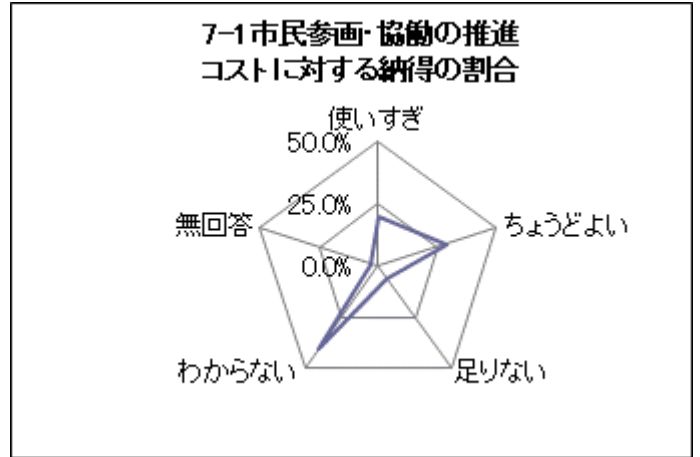
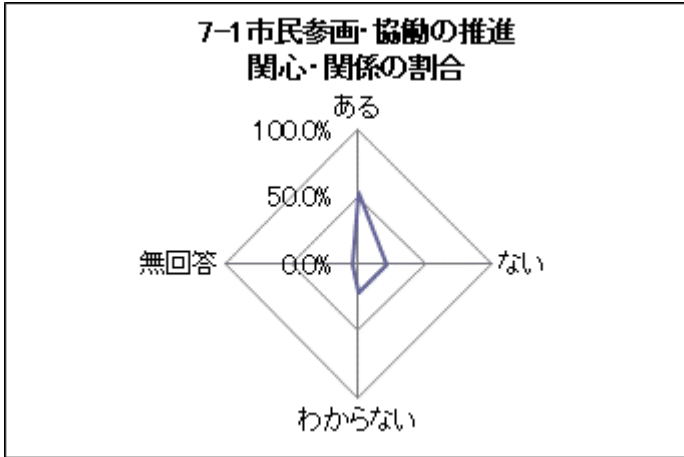
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答	
		658	69	239	109	218	23
		100.0%	10.5%	36.3%	16.6%	33.1%	3.5%



7-1 市民参画・協働の推進

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	351	142	140
	100.0%	53.3%	21.6%	21.3%	3.8%

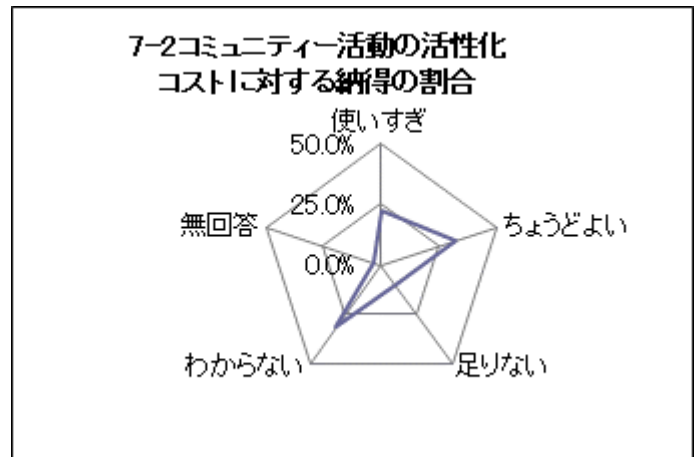
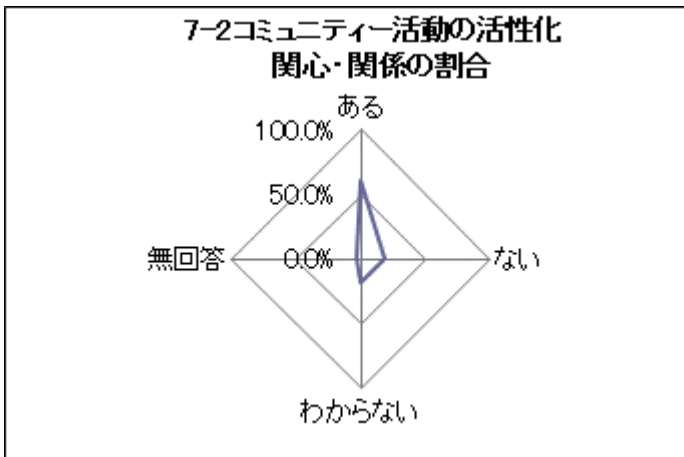
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	132	191	41	270
	100.0%	20.1%	29.0%	6.2%	41.0%	3.6%



7-2 コミュニティー活動の活性化

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	405	117	116
	100.0%	61.6%	17.8%	17.6%	3.0%

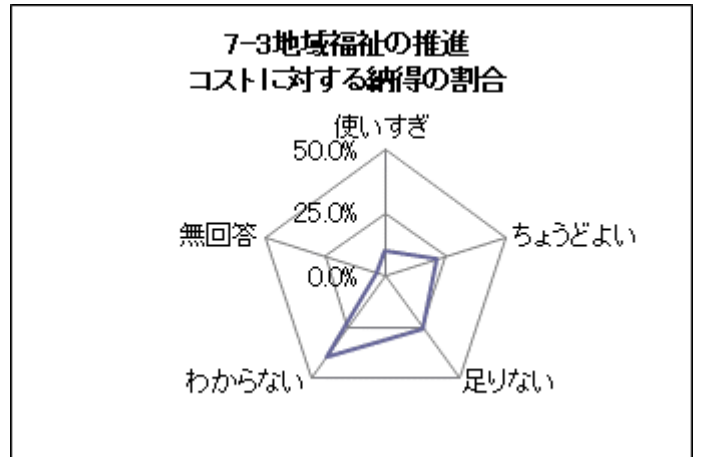
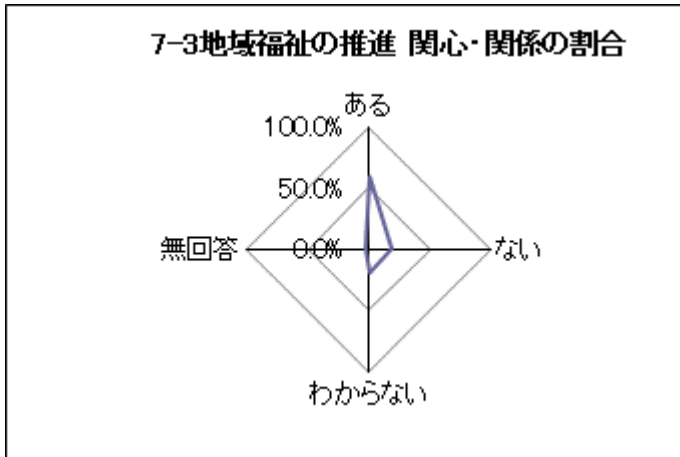
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	147	216	64	210
	100.0%	22.3%	32.8%	9.7%	31.9%	3.2%



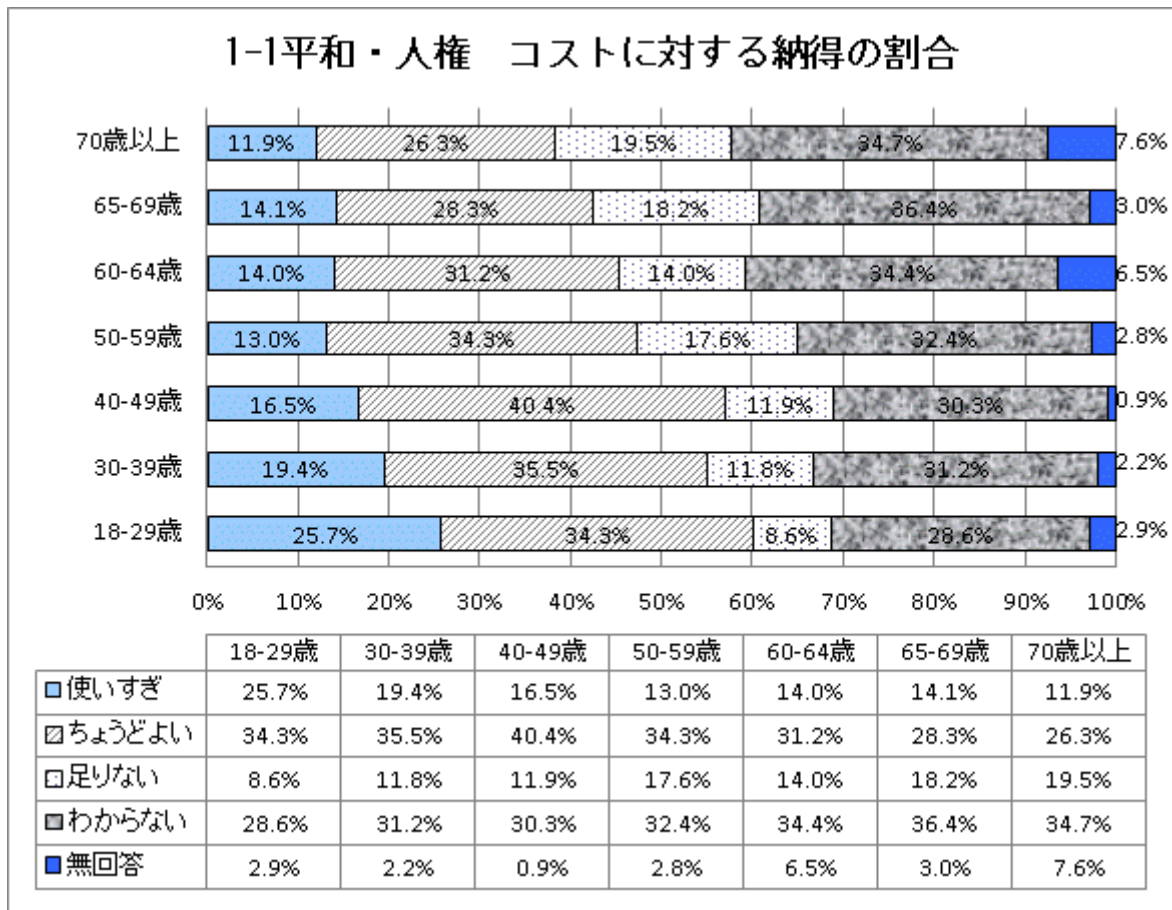
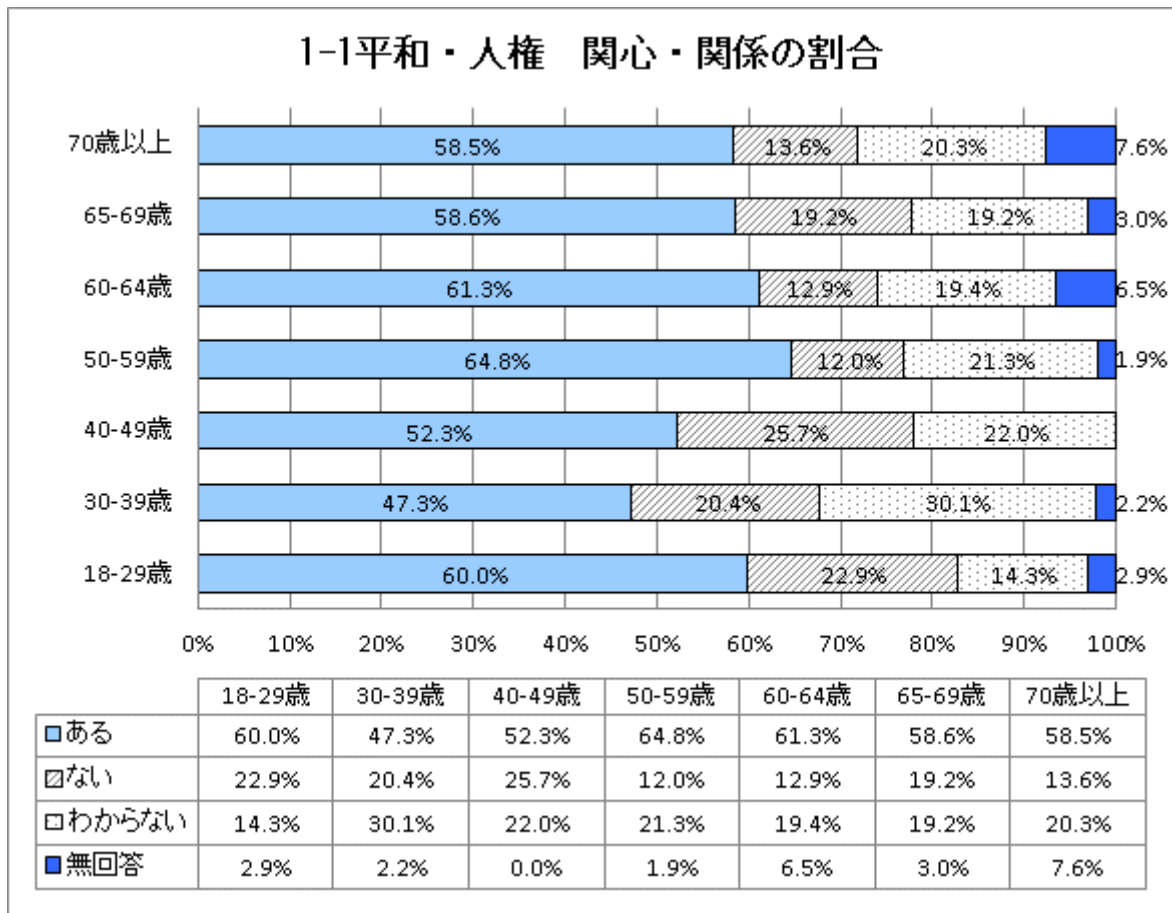
7-3 地域福祉の推進

あなたは、この分野に関心・関係がある。	件数	ある	ない	わからない	無回答
		658	390	117	129
	100.0%	59.3%	17.8%	19.6%	3.3%

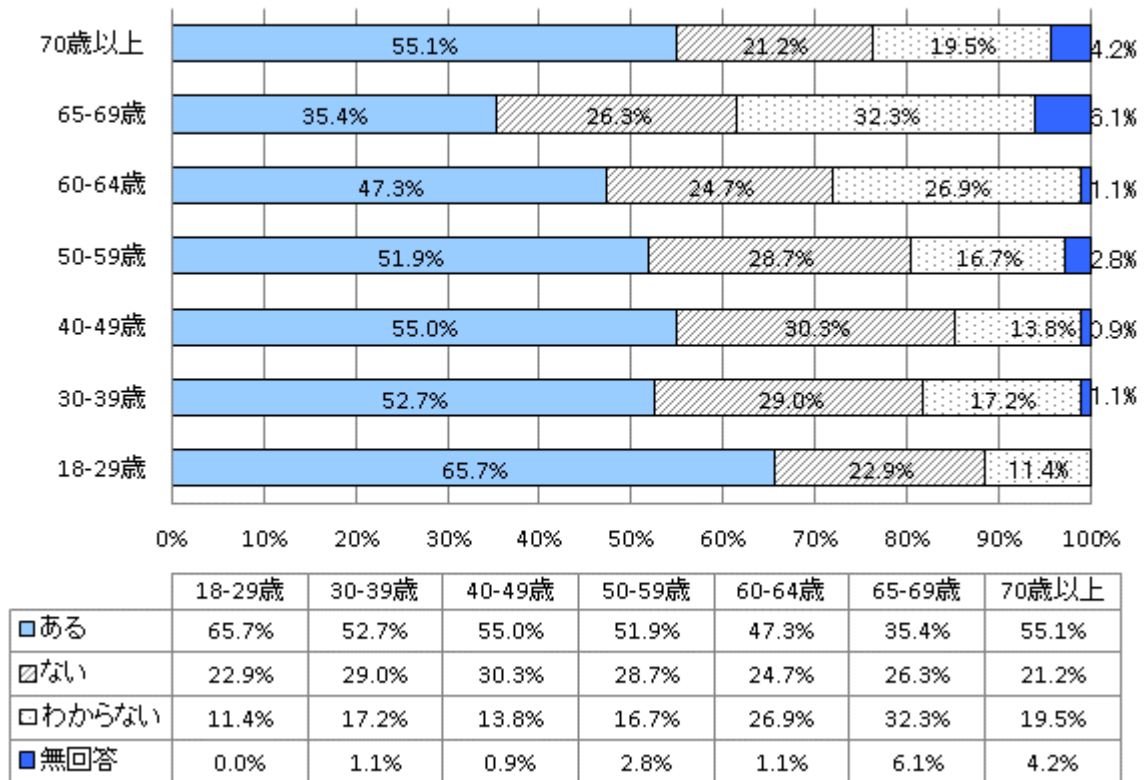
この分野に掛けたコストは、	件数	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	わからない	無回答
		658	67	141	169	260
	100.0%	10.2%	21.4%	25.7%	39.5%	3.2%



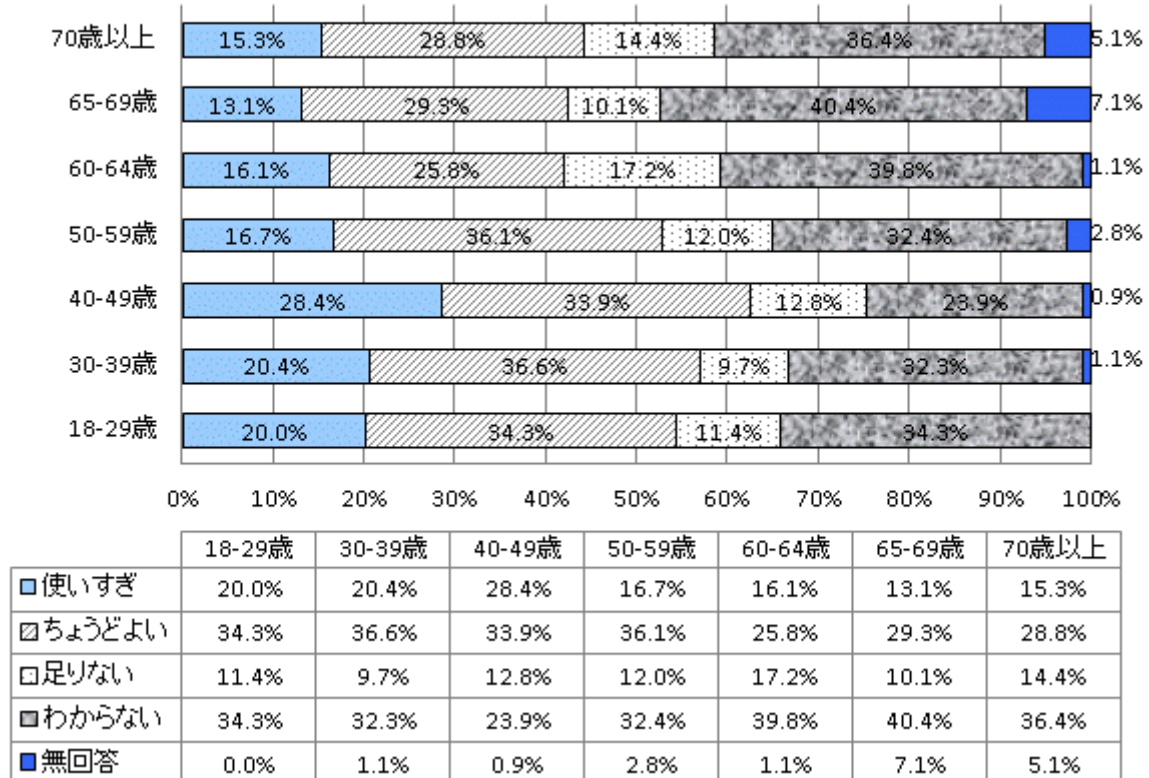
2 分野別/年齢層別 関心・関係の割合、納得の割合



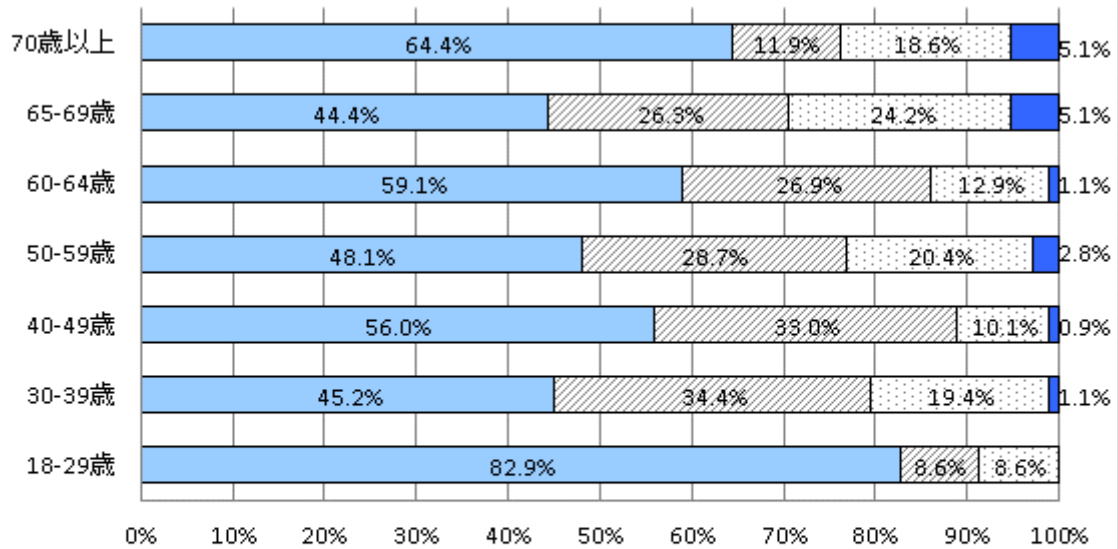
1-2男女人権参画社会 関心・関係の割合



1-2男女共同参画社会 コストに対する納得の割合

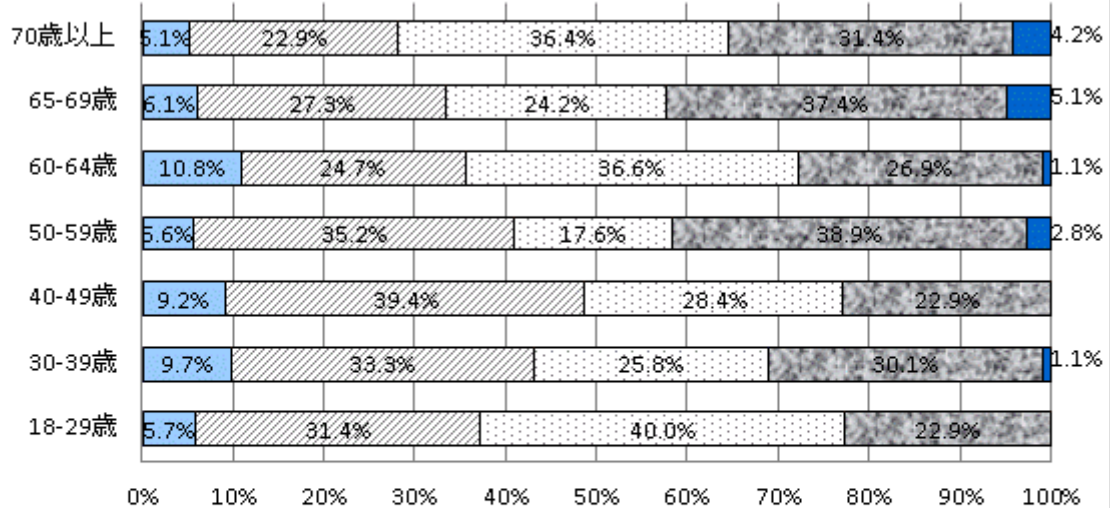


1-3多文化共生社会 関心・関係の割合



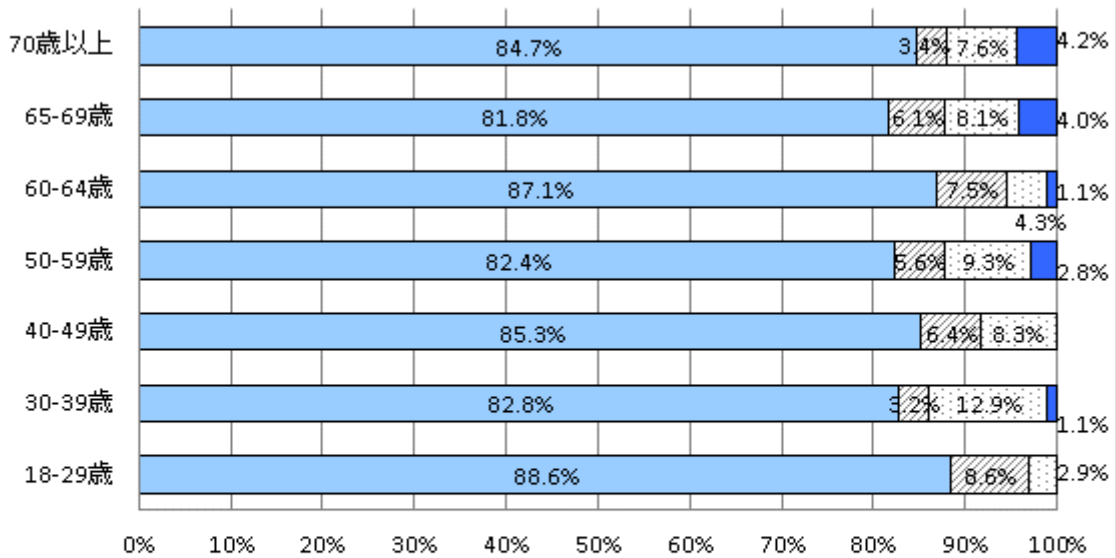
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	82.9%	45.2%	56.0%	48.1%	59.1%	44.4%	64.4%
▨ない	8.6%	34.4%	33.0%	28.7%	26.9%	26.3%	11.9%
□わからない	8.6%	19.4%	10.1%	20.4%	12.9%	24.2%	18.6%
■無回答	0.0%	1.1%	0.9%	2.8%	1.1%	5.1%	5.1%

1-3多文化共生社会 コストに対する納得の割合



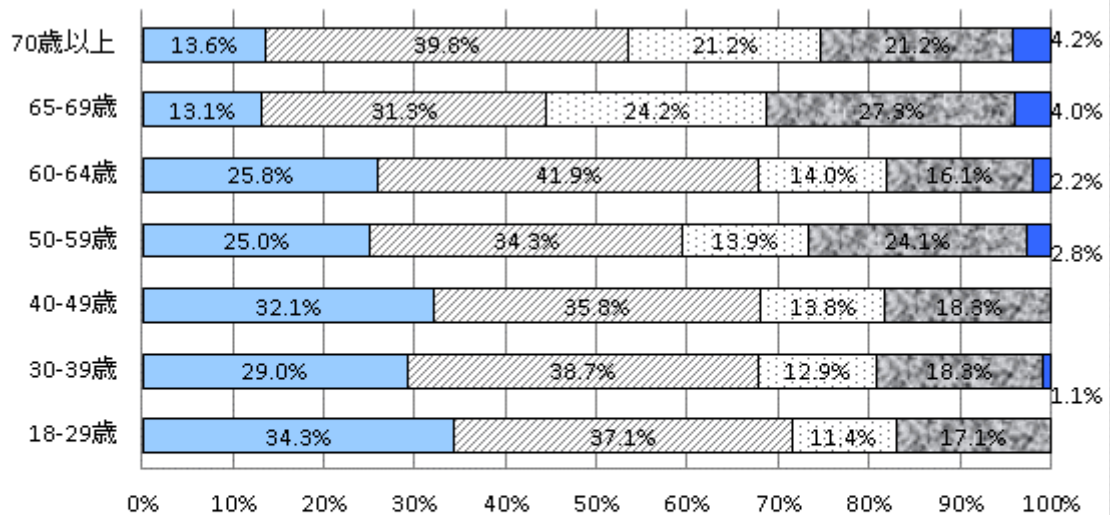
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	5.7%	9.7%	9.2%	5.6%	10.8%	6.1%	5.1%
▨ちょうどよい	31.4%	33.3%	39.4%	35.2%	24.7%	27.3%	22.9%
□足りない	40.0%	25.8%	28.4%	17.6%	36.6%	24.2%	36.4%
■わからない	22.9%	30.1%	22.9%	38.9%	26.9%	37.4%	31.4%
■無回答	0.0%	1.1%	0.0%	2.8%	1.1%	5.1%	4.2%

2-1歴史環境 関心・関係の割合



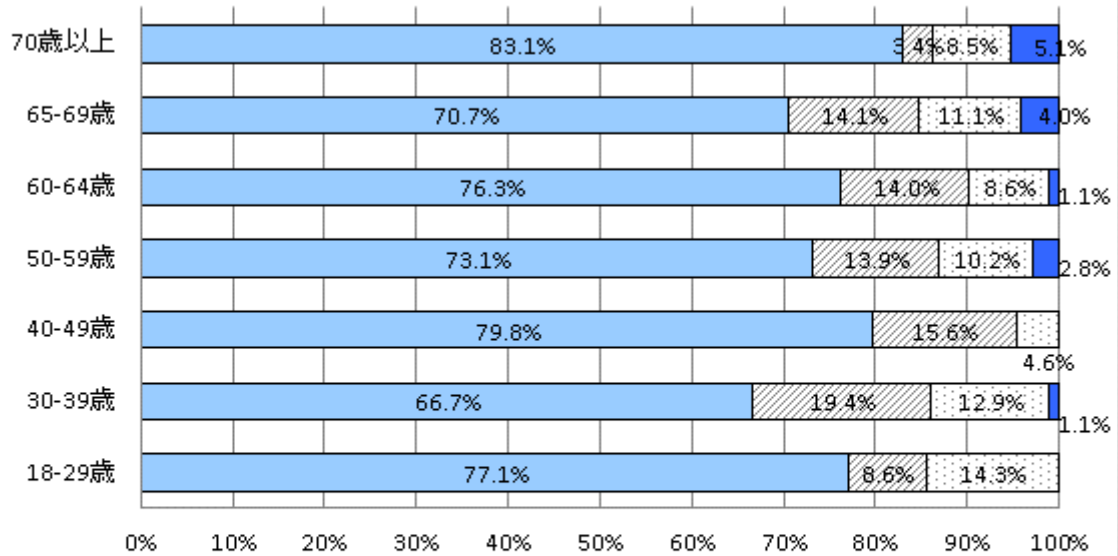
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	88.6%	82.8%	85.3%	82.4%	87.1%	81.8%	84.7%
▨ない	8.6%	3.2%	6.4%	5.6%	7.5%	6.1%	3.4%
□わからない	2.9%	12.9%	8.3%	9.3%	4.3%	8.1%	7.6%
■無回答	0.0%	1.1%	0.0%	2.8%	1.1%	4.0%	4.2%

2-1歴史環境 コストに対する納得の割合



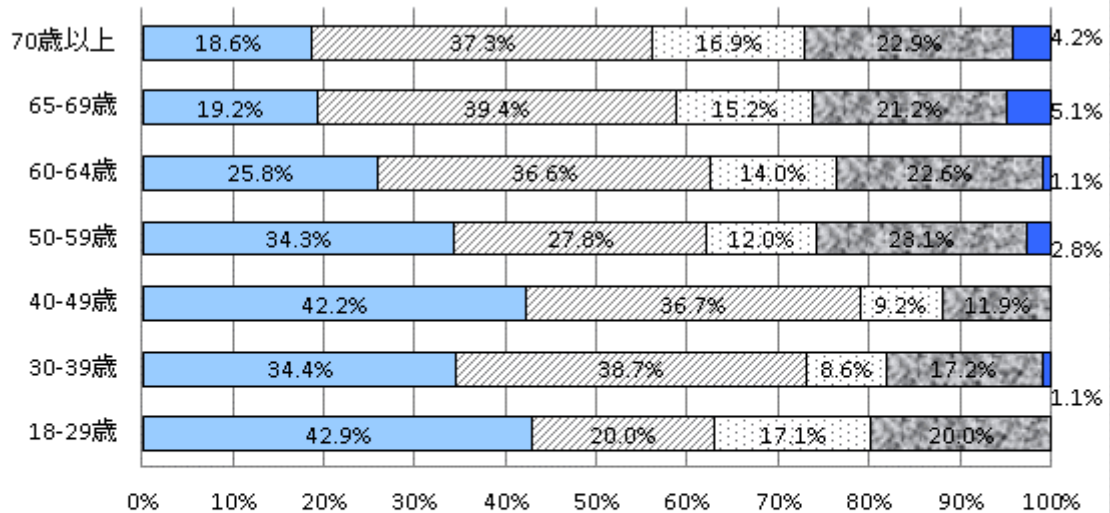
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	34.3%	29.0%	32.1%	25.0%	25.8%	13.1%	13.6%
▨ちょうどよい	37.1%	38.7%	35.8%	34.3%	41.9%	31.3%	39.8%
□足りない	11.4%	12.9%	13.8%	13.9%	14.0%	24.2%	21.2%
■わからない	17.1%	18.3%	18.3%	24.1%	16.1%	27.3%	21.2%
■無回答	0.0%	1.1%	0.0%	2.8%	2.2%	4.0%	4.2%

2-2文化 関心・関係の割合



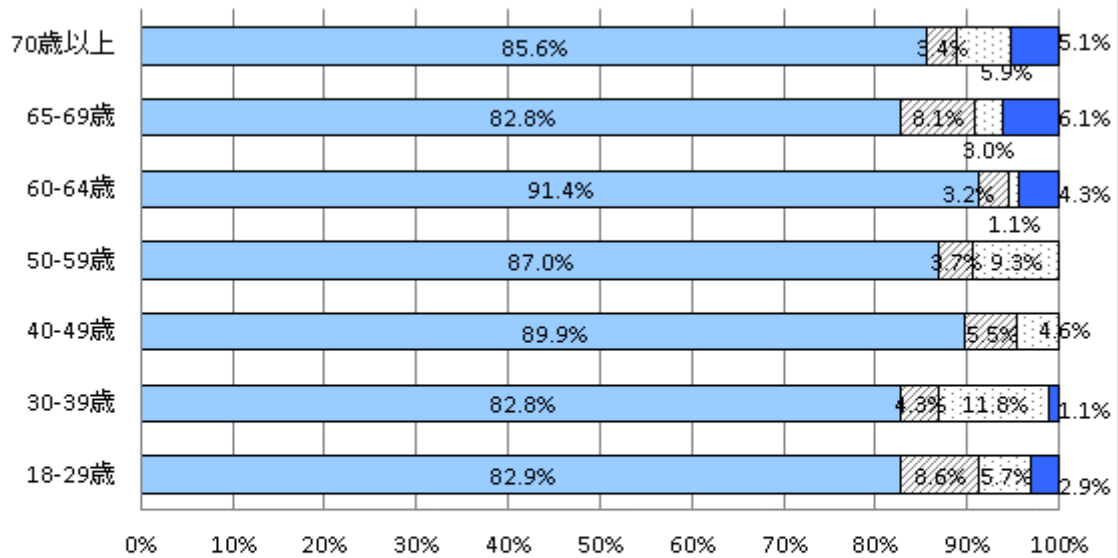
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	77.1%	66.7%	79.8%	73.1%	76.3%	70.7%	83.1%
▨ない	8.6%	19.4%	15.6%	13.9%	14.0%	14.1%	3.4%
□わからない	14.3%	12.9%	4.6%	10.2%	8.6%	11.1%	8.5%
■無回答	0.0%	1.1%	0.0%	2.8%	1.1%	4.0%	5.1%

2-2文化 コストに対する納得の割合



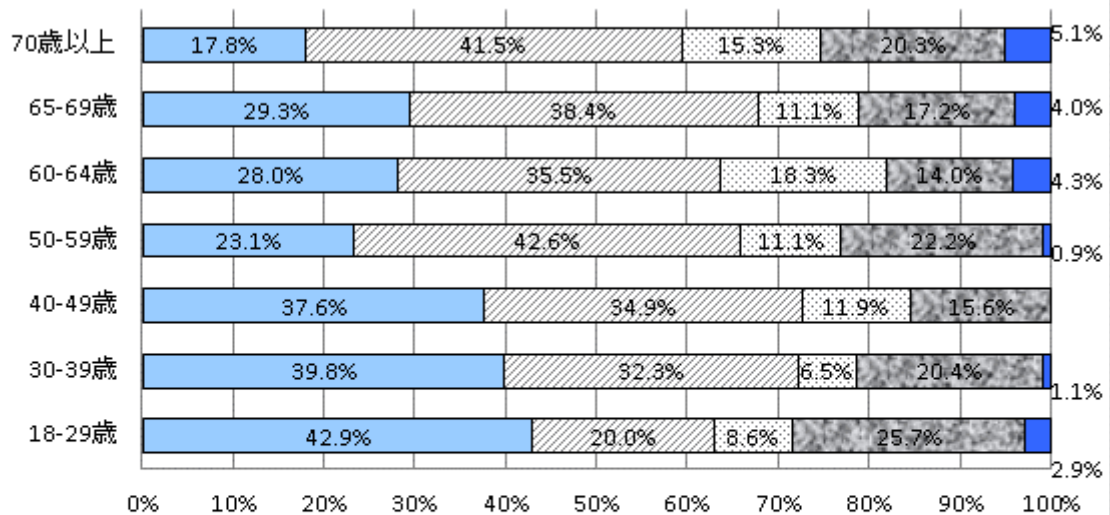
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	42.9%	34.4%	42.2%	34.3%	25.8%	19.2%	18.6%
▨ちょうどよい	20.0%	38.7%	36.7%	27.8%	36.6%	39.4%	37.3%
□足りない	17.1%	8.6%	9.2%	12.0%	14.0%	15.2%	16.9%
■わからない	20.0%	17.2%	11.9%	23.1%	22.6%	21.2%	22.9%
■無回答	0.0%	1.1%	0.0%	2.8%	1.1%	5.1%	4.2%

3-1みどり 関心・関係の割合



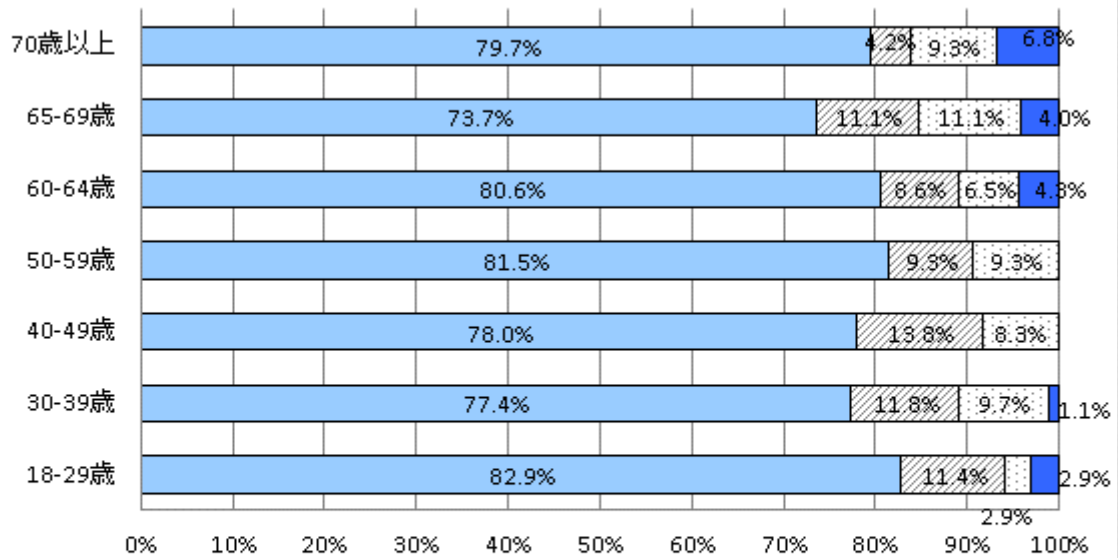
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	82.9%	82.8%	89.9%	87.0%	91.4%	82.8%	85.6%
▨ない	8.6%	4.3%	5.5%	3.7%	3.2%	8.1%	3.4%
□わからない	5.7%	11.8%	4.6%	9.3%	1.1%	3.0%	5.9%
■無回答	2.9%	1.1%	0.0%	0.0%	4.3%	6.1%	5.1%

3-1みどり コストに対する納得の割合



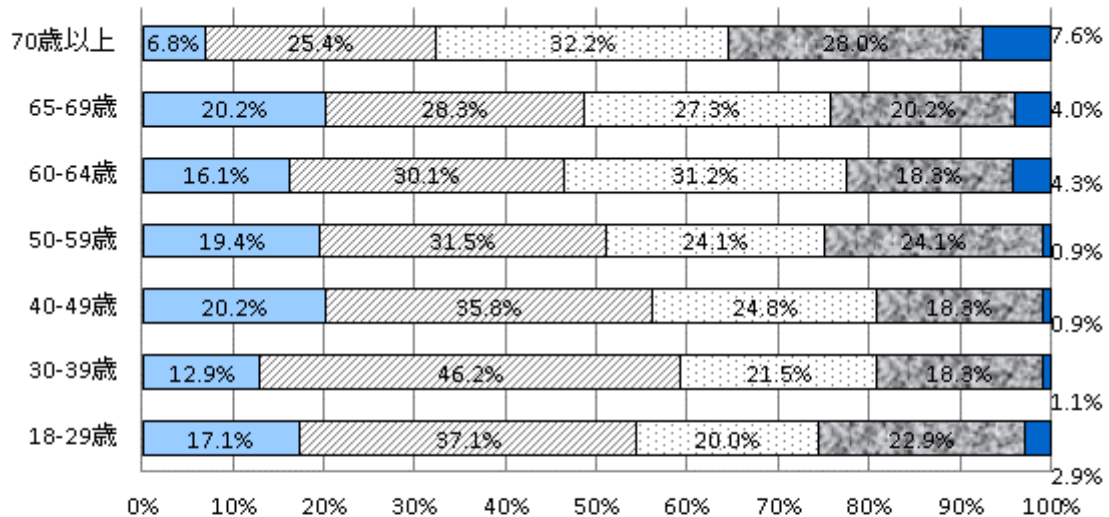
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	42.9%	39.8%	37.6%	23.1%	28.0%	29.3%	17.8%
▨ちょうどよい	20.0%	32.3%	34.9%	42.6%	35.5%	38.4%	41.5%
□足りない	8.6%	6.5%	11.9%	11.1%	18.3%	11.1%	15.3%
■わからない	25.7%	20.4%	15.6%	22.2%	14.0%	17.2%	20.3%
■無回答	2.9%	1.1%	0.0%	0.9%	4.3%	4.0%	5.1%

3-2都市景観 関心・関係の割合



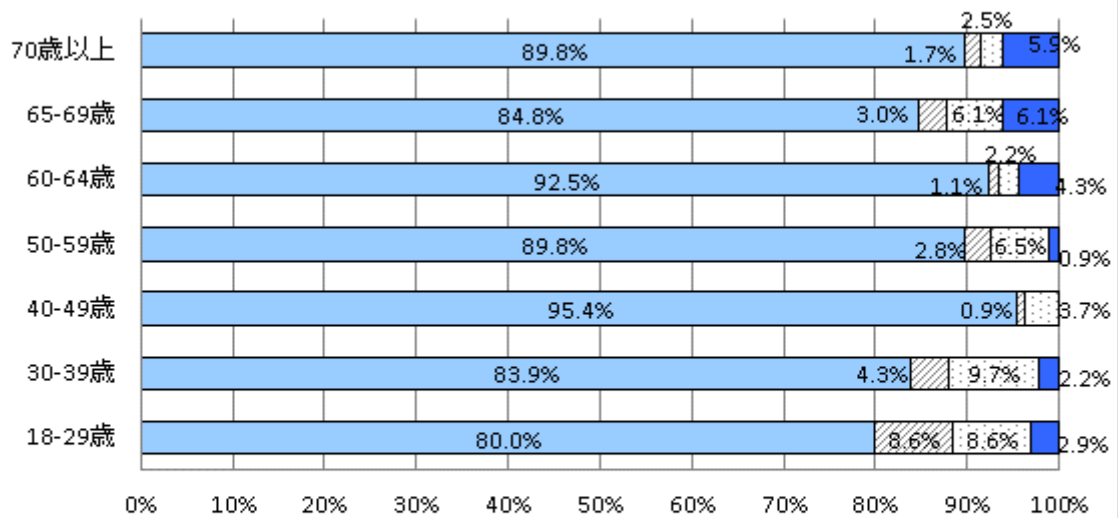
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	82.9%	77.4%	78.0%	81.5%	80.6%	73.7%	79.7%
▨ない	11.4%	11.8%	13.8%	9.3%	8.6%	11.1%	4.2%
□わからない	2.9%	9.7%	8.3%	9.3%	6.5%	11.1%	9.3%
■無回答	2.9%	1.1%	0.0%	0.0%	4.3%	4.0%	6.8%

3-2都市景観 コストに対する納得の割合



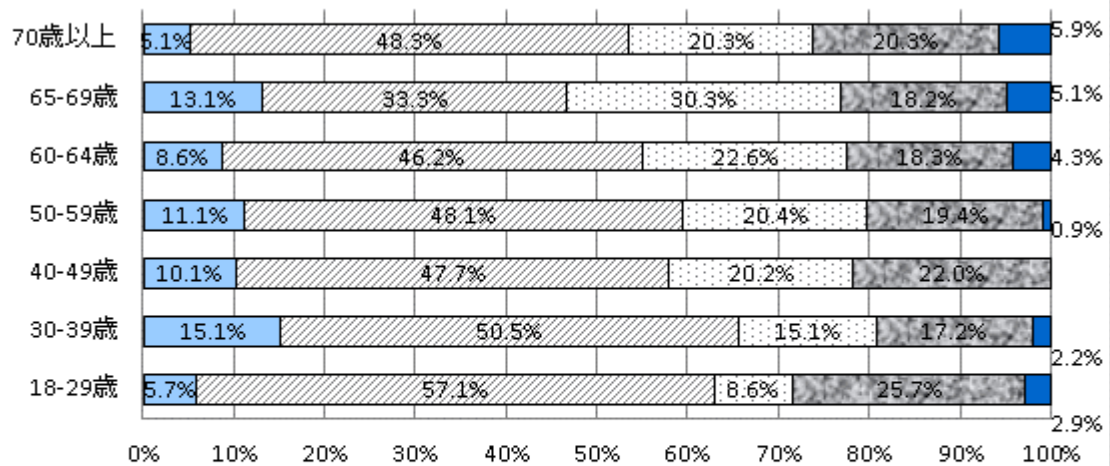
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	17.1%	12.9%	20.2%	19.4%	16.1%	20.2%	6.8%
▨ちょうどよい	37.1%	46.2%	35.8%	31.5%	30.1%	28.3%	25.4%
□足りない	20.0%	21.5%	24.8%	24.1%	31.2%	27.3%	32.2%
■わからない	22.9%	18.3%	18.3%	24.1%	18.3%	20.2%	28.0%
■無回答	2.9%	1.1%	0.9%	0.9%	4.3%	4.0%	7.6%

3-3生活環境/廃棄物発生抑制・資源循環・廃棄物処理 関心・関係の割合



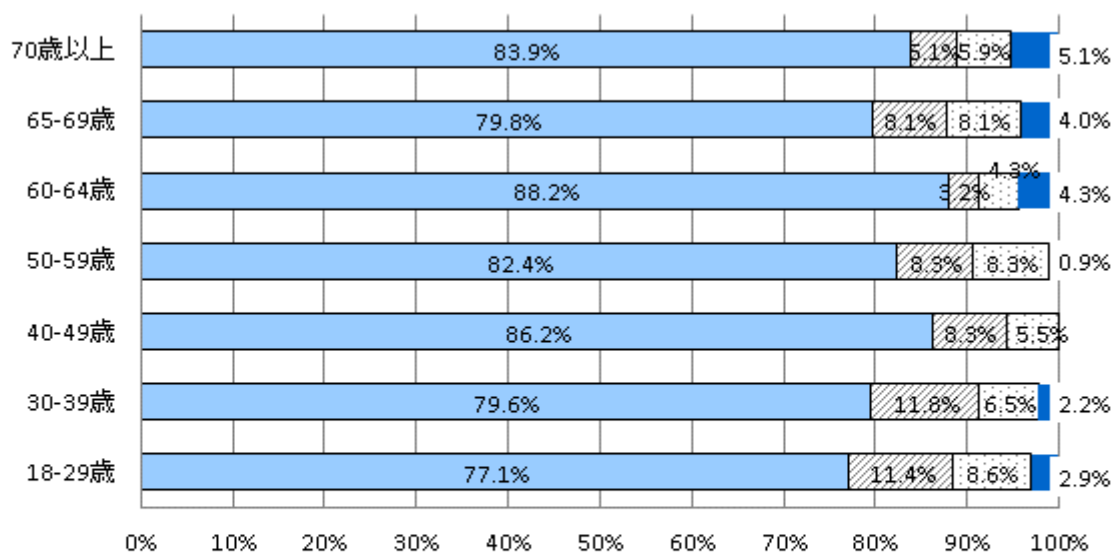
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	80.0%	83.9%	95.4%	89.8%	92.5%	84.8%	89.8%
▨ない	8.6%	4.3%	0.9%	2.8%	1.1%	3.0%	1.7%
□わからない	8.6%	9.7%	3.7%	6.5%	2.2%	6.1%	2.5%
■無回答	2.9%	2.2%	0.0%	0.9%	4.3%	6.1%	5.9%

3-3生活環境/廃棄物発生抑制・資源循環・廃棄物処理 コストに対する納得の割合



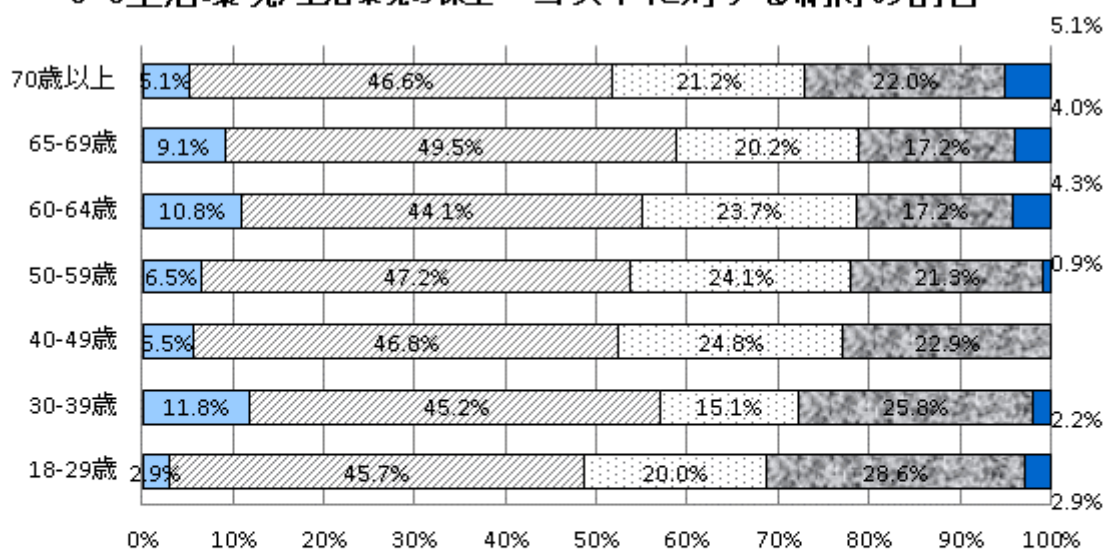
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	5.7%	15.1%	10.1%	11.1%	8.6%	13.1%	5.1%
▨ちょうどよい	57.1%	50.5%	47.7%	48.1%	46.2%	33.3%	48.3%
□足りない	8.6%	15.1%	20.2%	20.4%	22.6%	30.3%	20.3%
■わからない	25.7%	17.2%	22.0%	19.4%	18.3%	18.2%	20.3%
■無回答	2.9%	2.2%	0.0%	0.9%	4.3%	5.1%	5.9%

3-3生活環境/生活環境の保全 関心・関係の割合



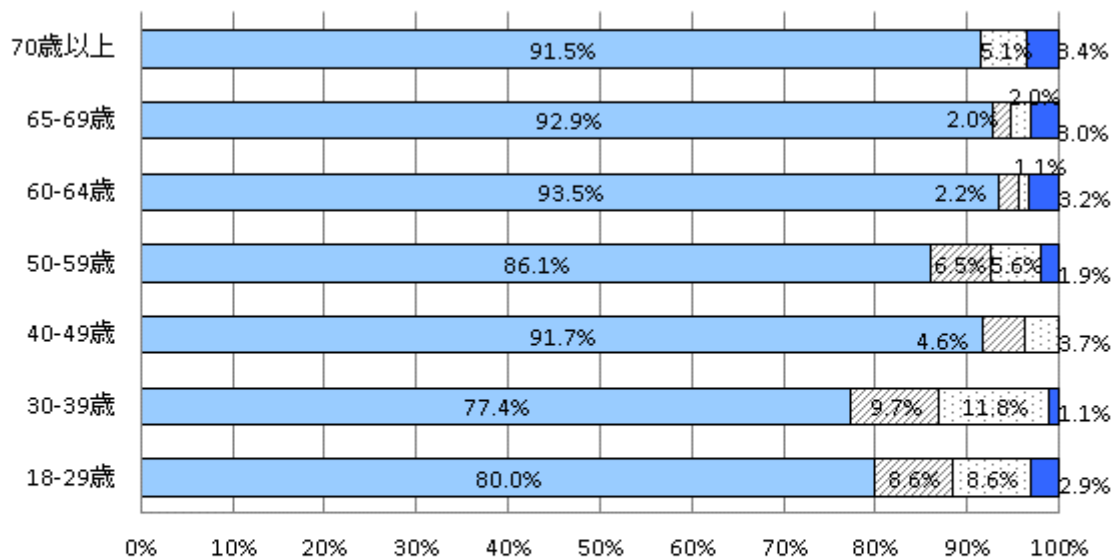
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	77.1%	79.6%	86.2%	82.4%	88.2%	79.8%	83.9%
▨ない	11.4%	11.8%	8.3%	8.3%	3.2%	8.1%	5.1%
□わからない	8.6%	6.5%	5.5%	8.3%	4.3%	8.1%	5.9%
■無回答	2.9%	2.2%	0.0%	0.9%	4.3%	4.0%	5.1%

3-3生活環境/生活環境の保全 コストに対する納得の割合



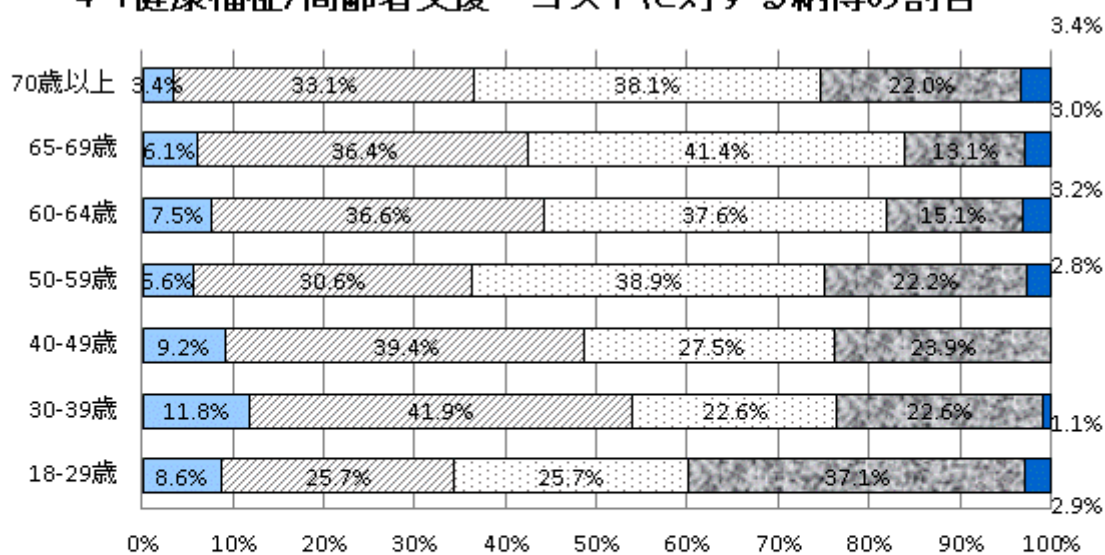
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	2.9%	11.8%	5.5%	6.5%	10.8%	9.1%	5.1%
▨ちょうどよい	45.7%	45.2%	46.8%	47.2%	44.1%	49.5%	46.6%
□足りない	20.0%	15.1%	24.8%	24.1%	23.7%	20.2%	21.2%
■わからない	28.6%	25.8%	22.9%	21.3%	17.2%	17.2%	22.0%
■無回答	2.9%	2.2%	0.0%	0.9%	4.3%	4.0%	5.1%

4-1健康福祉/高齢者支援 関心・関係の割合



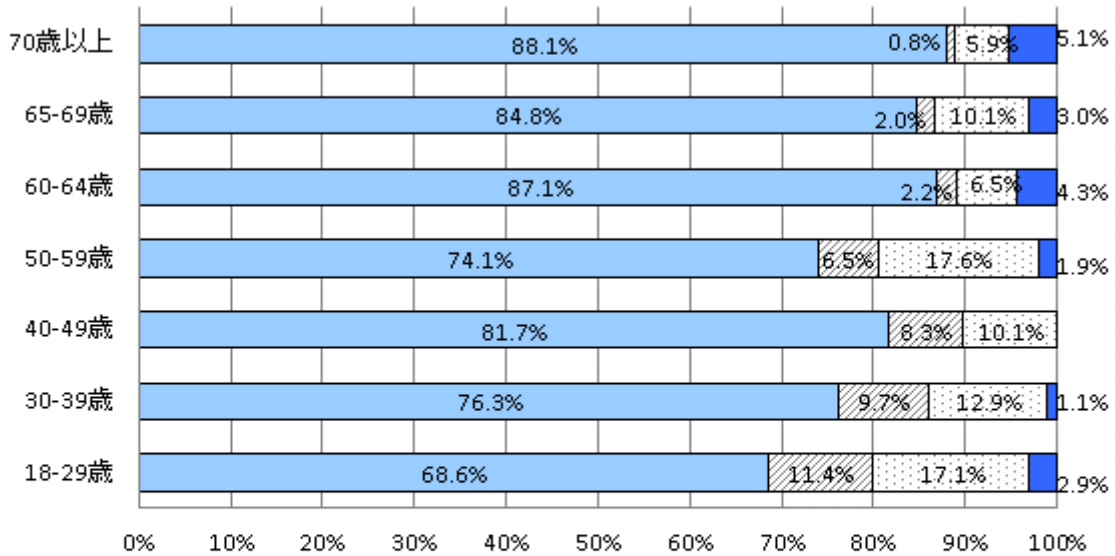
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	80.0%	77.4%	91.7%	86.1%	93.5%	92.9%	91.5%
▨ない	8.6%	9.7%	4.6%	6.5%	2.2%	2.0%	0.0%
□わからない	8.6%	11.8%	3.7%	5.6%	1.1%	2.0%	5.1%
■無回答	2.9%	1.1%	0.0%	1.9%	3.2%	3.0%	3.4%

4-1健康福祉/高齢者支援 コストに対する納得の割合



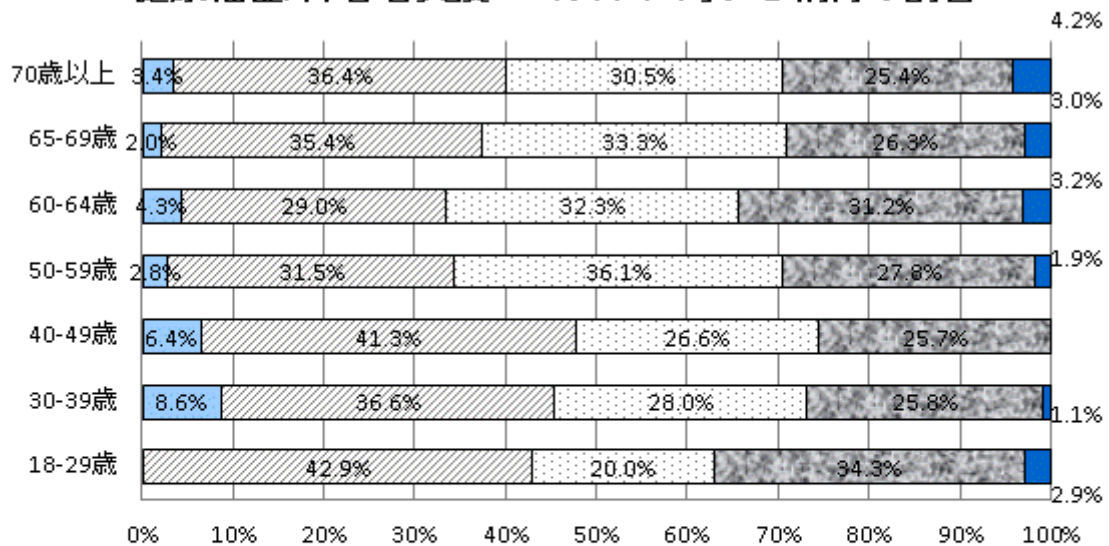
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	8.6%	11.8%	9.2%	5.6%	7.5%	6.1%	3.4%
▨ちょうどよい	25.7%	41.9%	39.4%	30.6%	36.6%	36.4%	33.1%
□足りない	25.7%	22.6%	27.5%	38.9%	37.6%	41.4%	38.1%
■わからない	37.1%	22.6%	23.9%	22.2%	15.1%	13.1%	22.0%
■無回答	2.9%	1.1%	0.0%	2.8%	3.2%	3.0%	3.4%

4-1健康福祉/障害者支援 関心・関係の割合



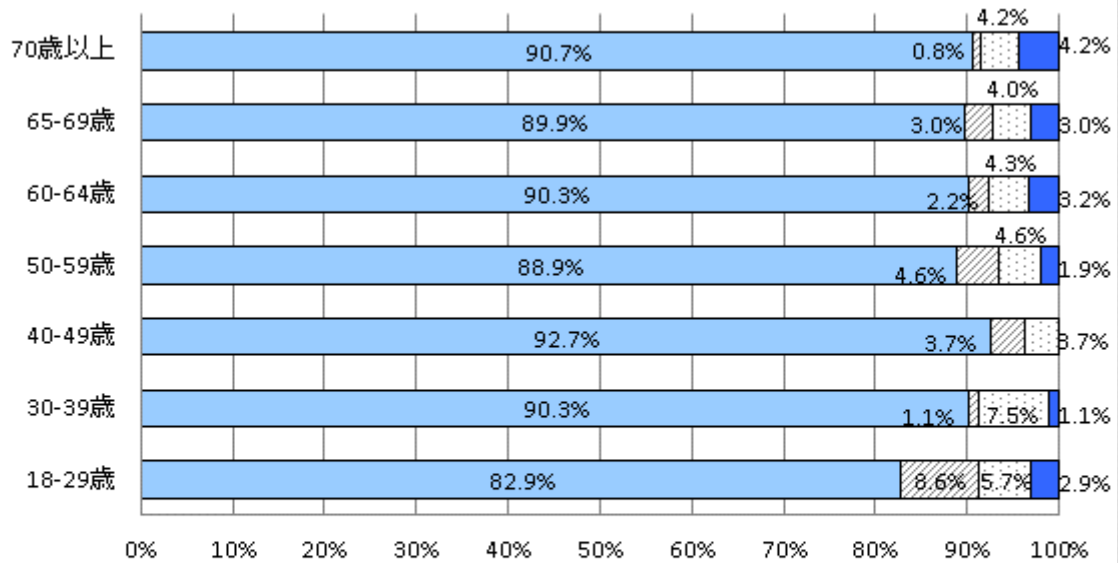
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	68.6%	76.3%	81.7%	74.1%	87.1%	84.8%	88.1%
▨ない	11.4%	9.7%	8.3%	6.5%	2.2%	2.0%	0.8%
□わからない	17.1%	12.9%	10.1%	17.6%	6.5%	10.1%	5.9%
■無回答	2.9%	1.1%	0.0%	1.9%	4.3%	3.0%	5.1%

4-1健康福祉/障害者支援 コストに対する納得の割合



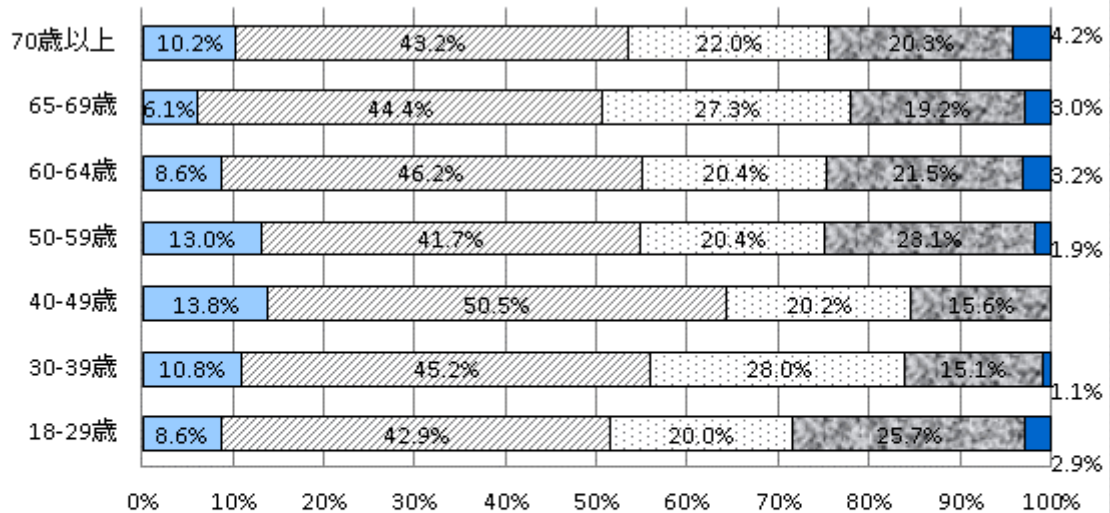
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	0.0%	8.6%	6.4%	2.8%	4.3%	2.0%	3.4%
▨ちょうどよい	42.9%	36.6%	41.3%	31.5%	29.0%	35.4%	36.4%
□足りない	20.0%	28.0%	26.6%	36.1%	32.3%	33.3%	30.5%
■わからない	34.3%	25.8%	25.7%	27.8%	31.2%	26.3%	25.4%
■無回答	2.9%	1.1%	0.0%	1.9%	3.2%	3.0%	4.2%

4-1健康福祉/健康 関心・関係の割合



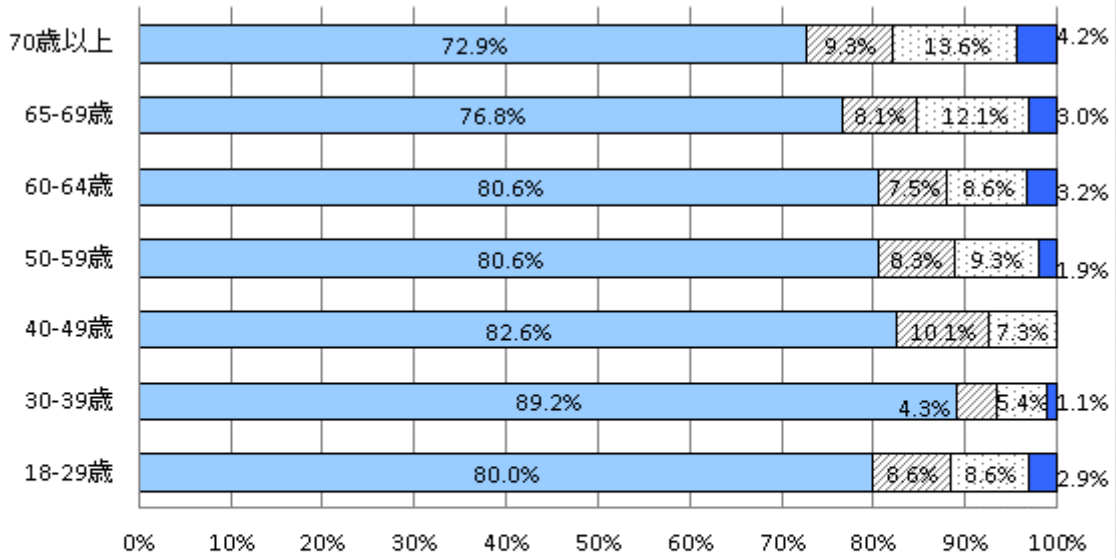
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	82.9%	90.3%	92.7%	88.9%	90.3%	89.9%	90.7%
▨ない	8.6%	1.1%	3.7%	4.6%	2.2%	3.0%	0.8%
□わからない	5.7%	7.5%	3.7%	4.6%	4.3%	4.0%	4.2%
■無回答	2.9%	1.1%	0.0%	1.9%	3.2%	3.0%	4.2%

4-1健康福祉/健康 コストに対する納得の割合



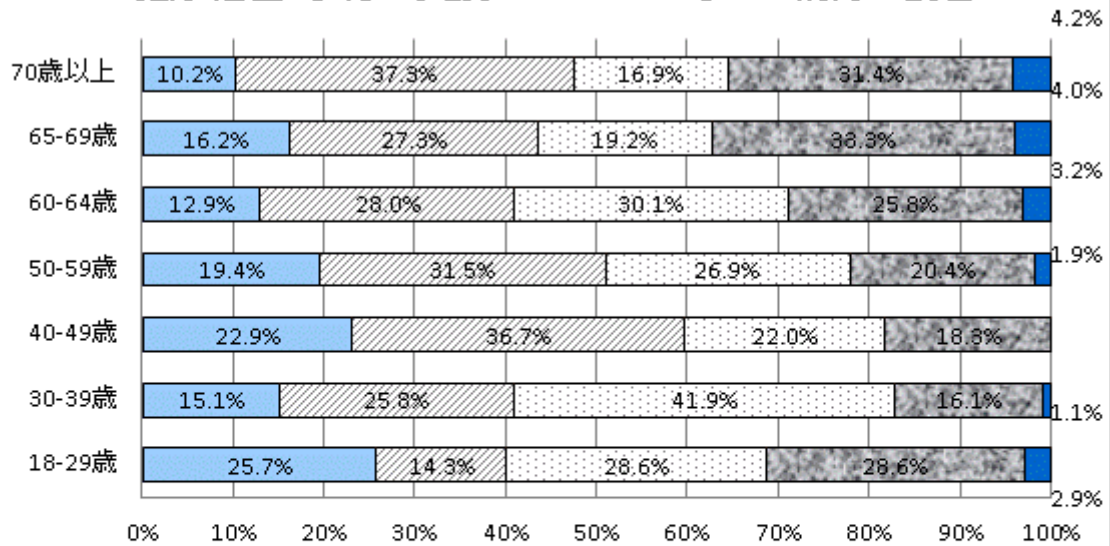
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	8.6%	10.8%	13.8%	13.0%	8.6%	6.1%	10.2%
▨ちょうどよい	42.9%	45.2%	50.5%	41.7%	46.2%	44.4%	43.2%
□足りない	20.0%	28.0%	20.2%	20.4%	20.4%	27.3%	22.0%
■わからない	25.7%	15.1%	15.6%	23.1%	21.5%	19.2%	20.3%
■無回答	2.9%	1.1%	0.0%	1.9%	3.2%	3.0%	4.2%

4-1健康福祉/子育て支援 関心・関係の割合



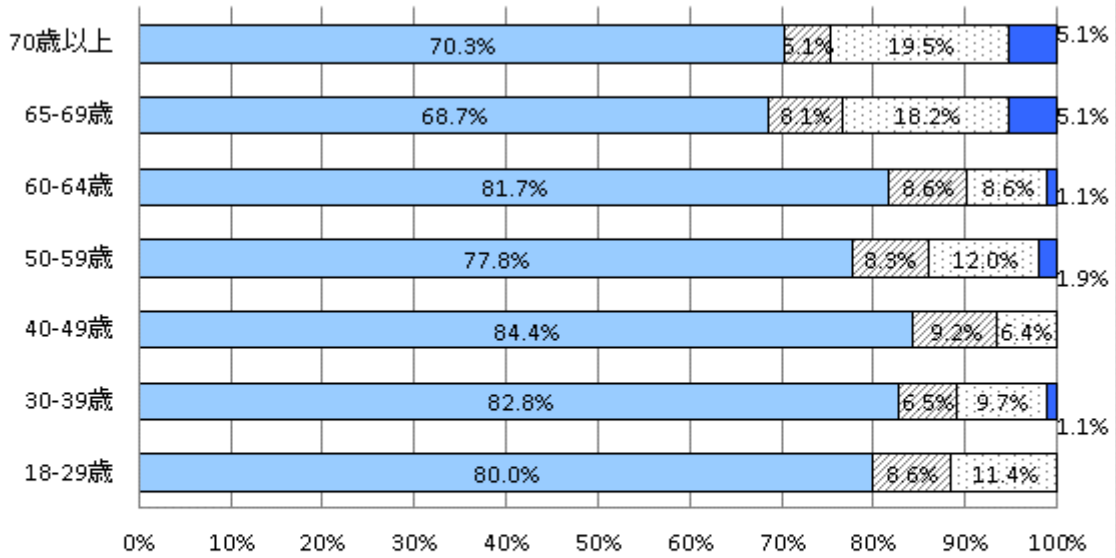
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	80.0%	89.2%	82.6%	80.6%	80.6%	76.8%	72.9%
▨ない	8.6%	4.3%	10.1%	8.3%	7.5%	8.1%	9.3%
□わからない	8.6%	5.4%	7.3%	9.3%	8.6%	12.1%	13.6%
■無回答	2.9%	1.1%	0.0%	1.9%	3.2%	3.0%	4.2%

4-1健康福祉/子育て支援 コストに対する納得の割合



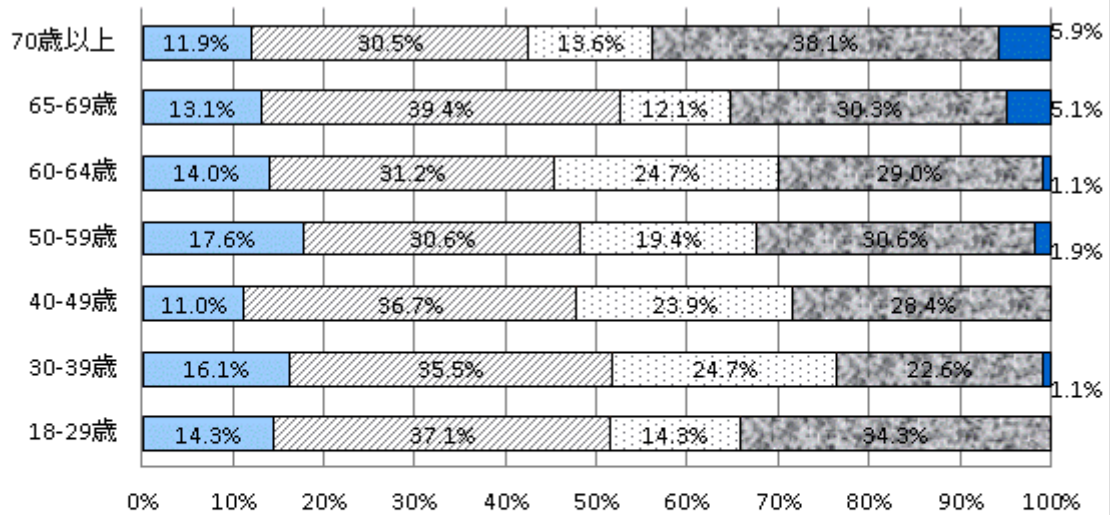
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	25.7%	15.1%	22.9%	19.4%	12.9%	16.2%	10.2%
▨ちょうどよい	14.3%	25.8%	36.7%	31.5%	28.0%	27.3%	37.3%
□足りない	28.6%	41.9%	22.0%	26.9%	30.1%	19.2%	16.9%
■わからない	28.6%	16.1%	18.3%	20.4%	25.8%	33.3%	31.4%
■無回答	2.9%	1.1%	0.0%	1.9%	3.2%	4.0%	4.2%

4-2学校教育 関心・関係割合



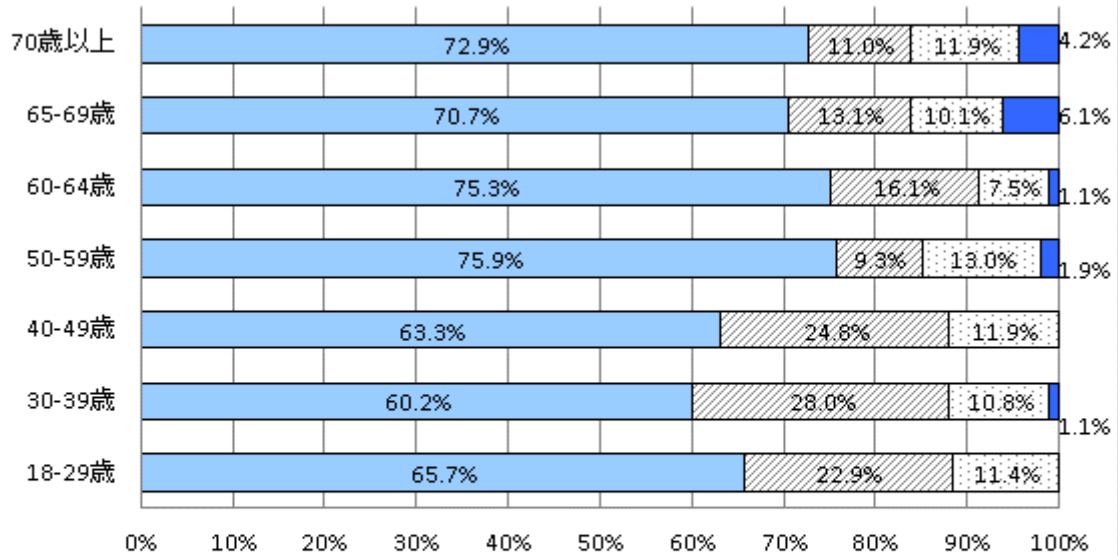
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	80.0%	82.8%	84.4%	77.8%	81.7%	68.7%	70.3%
▨ない	8.6%	6.5%	9.2%	8.3%	8.6%	8.1%	5.1%
□わからない	11.4%	9.7%	6.4%	12.0%	8.6%	18.2%	19.5%
■無回答	0.0%	1.1%	0.0%	1.9%	1.1%	5.1%	5.1%

4-2学校教育 コストに対する納得の割合



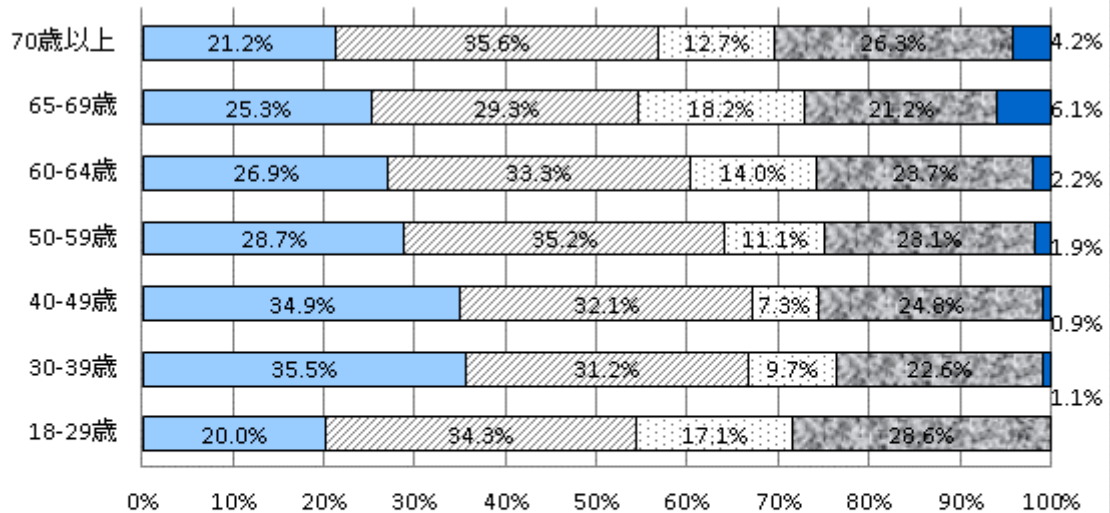
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	14.3%	16.1%	11.0%	17.6%	14.0%	13.1%	11.9%
▨ちょうどよい	37.1%	35.5%	36.7%	30.6%	31.2%	39.4%	30.5%
□足りない	14.3%	24.7%	23.9%	19.4%	24.7%	12.1%	13.6%
■わからない	34.3%	22.6%	28.4%	30.6%	29.0%	30.3%	38.1%
■無回答	0.0%	1.1%	0.0%	1.9%	1.1%	5.1%	5.9%

4-3生涯学習 関心・関係割合



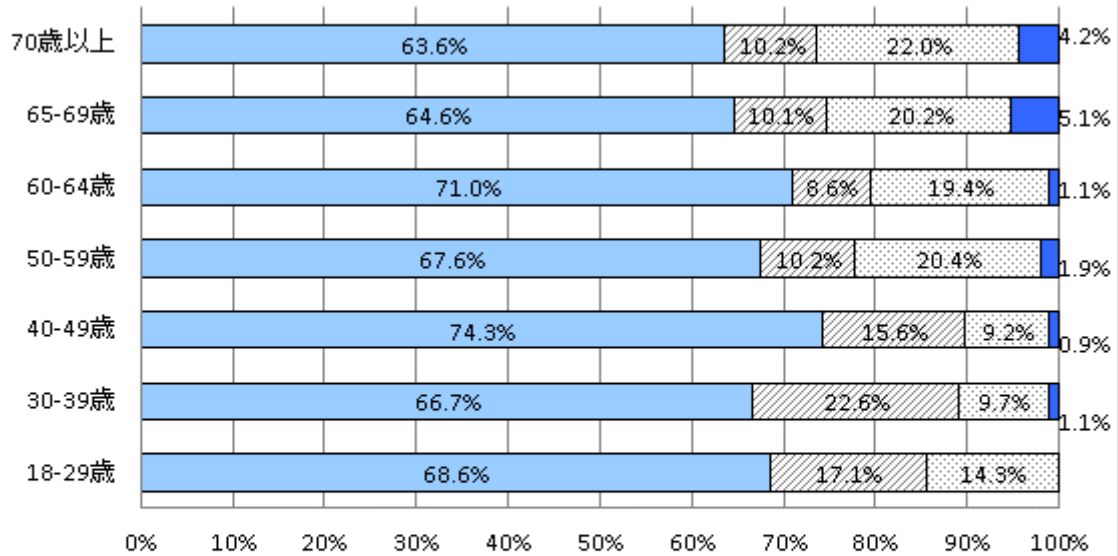
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	65.7%	60.2%	63.3%	75.9%	75.3%	70.7%	72.9%
▨ない	22.9%	28.0%	24.8%	9.3%	16.1%	13.1%	11.0%
□わからない	11.4%	10.8%	11.9%	13.0%	7.5%	10.1%	11.9%
■無回答	0.0%	1.1%	0.0%	1.9%	1.1%	6.1%	4.2%

4-3生涯学習 コストに対する納得の割合



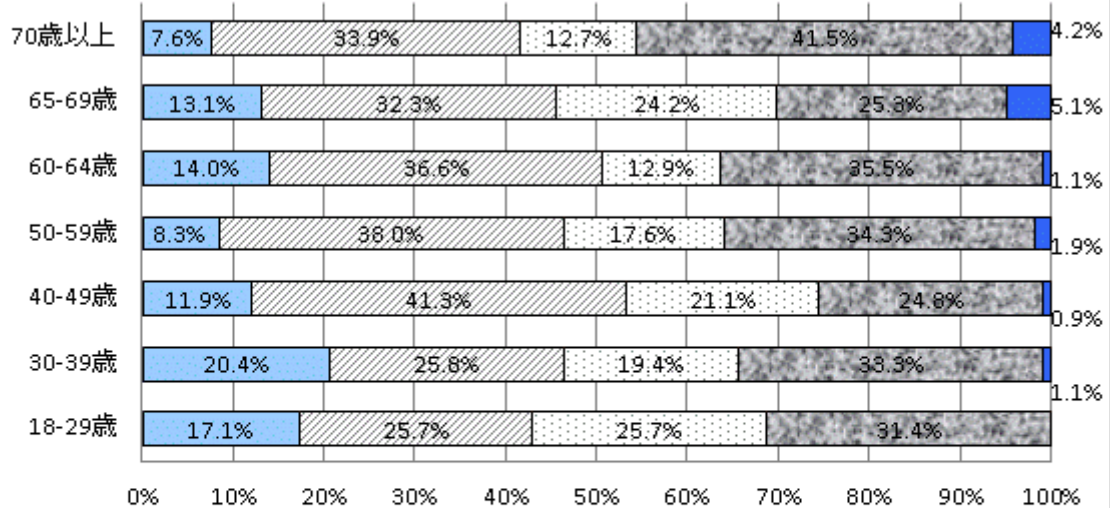
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	20.0%	35.5%	34.9%	28.7%	26.9%	25.3%	21.2%
▨ちょうどよい	34.3%	31.2%	32.1%	35.2%	33.3%	29.3%	35.6%
□足りない	17.1%	9.7%	7.3%	11.1%	14.0%	18.2%	12.7%
■わからない	28.6%	22.6%	24.8%	23.1%	23.7%	21.2%	26.3%
■無回答	0.0%	1.1%	0.9%	1.9%	2.2%	6.1%	4.2%

4-4青少年育成 関心・関係の割合



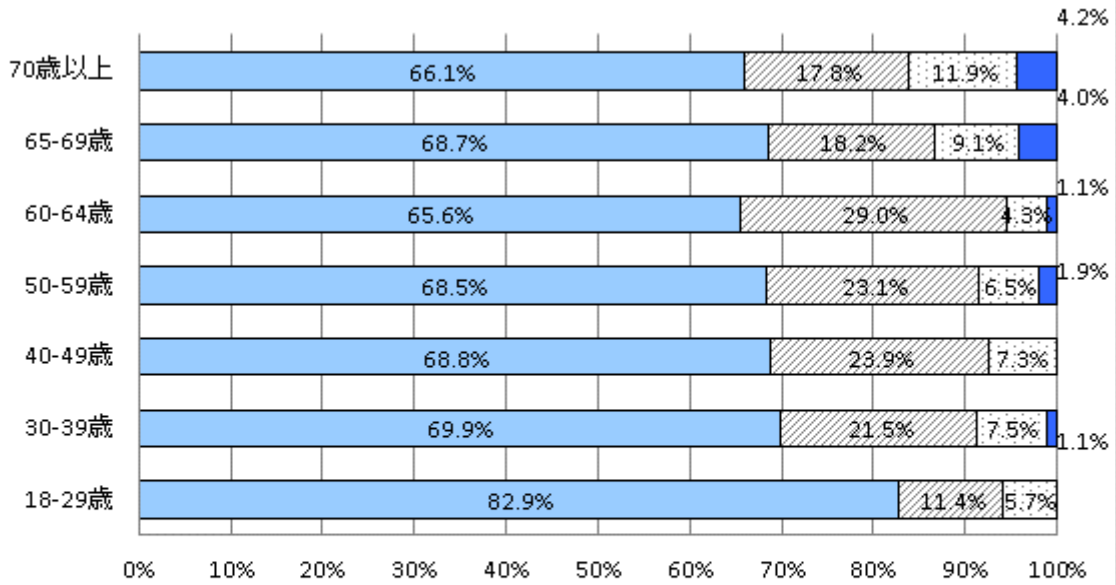
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	68.6%	66.7%	74.3%	67.6%	71.0%	64.6%	63.6%
▨ない	17.1%	22.6%	15.6%	10.2%	8.6%	10.1%	10.2%
□わからない	14.3%	9.7%	9.2%	20.4%	19.4%	20.2%	22.0%
■無回答	0.0%	1.1%	0.9%	1.9%	1.1%	5.1%	4.2%

4-4青少年育成 コストに対する納得の割合



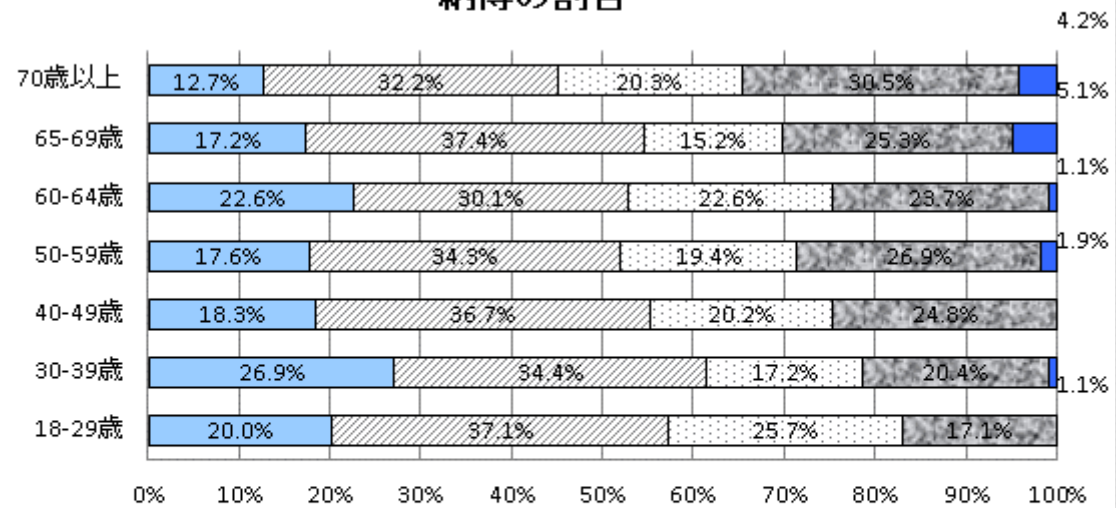
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	17.1%	20.4%	11.9%	8.3%	14.0%	13.1%	7.6%
▨ちょうどよい	25.7%	25.8%	41.3%	38.0%	36.6%	32.3%	33.9%
□足りない	25.7%	19.4%	21.1%	17.6%	12.9%	24.2%	12.7%
■わからない	31.4%	33.3%	24.8%	34.3%	35.5%	25.3%	41.5%
■無回答	0.0%	1.1%	0.9%	1.9%	1.1%	5.1%	4.2%

4-5スポーツ・レクリエーション 関心・関係割合



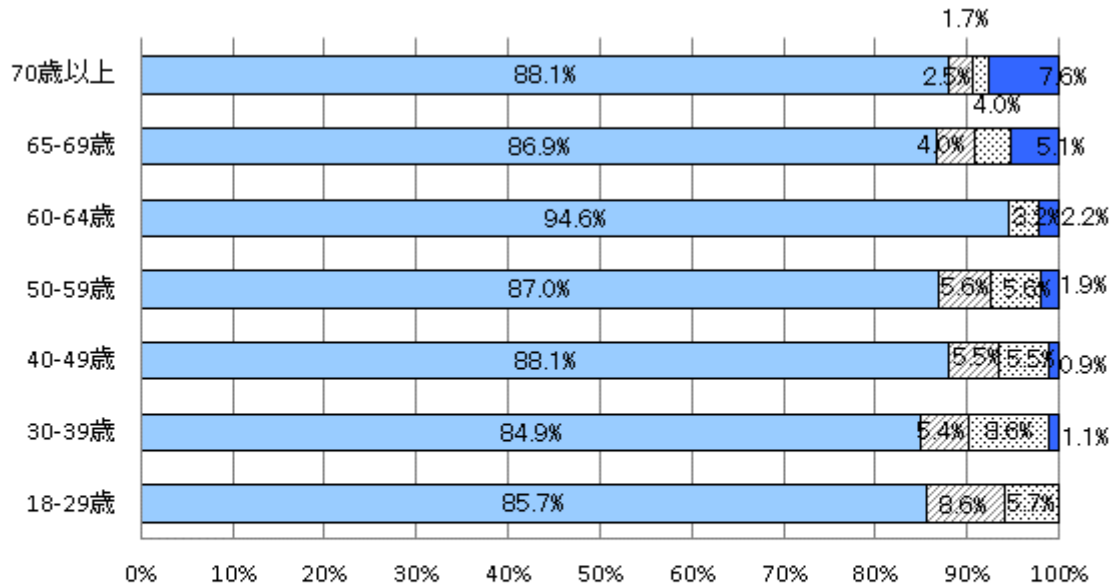
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	82.9%	69.9%	68.8%	68.5%	65.6%	68.7%	66.1%
▨ない	11.4%	21.5%	23.9%	23.1%	29.0%	18.2%	17.8%
□わからない	5.7%	7.5%	7.3%	6.5%	4.3%	9.1%	11.9%
■無回答	0.0%	1.1%	0.0%	1.9%	1.1%	4.0%	4.2%

4-5スポーツ・レクリエーション コストに対する 納得の割合



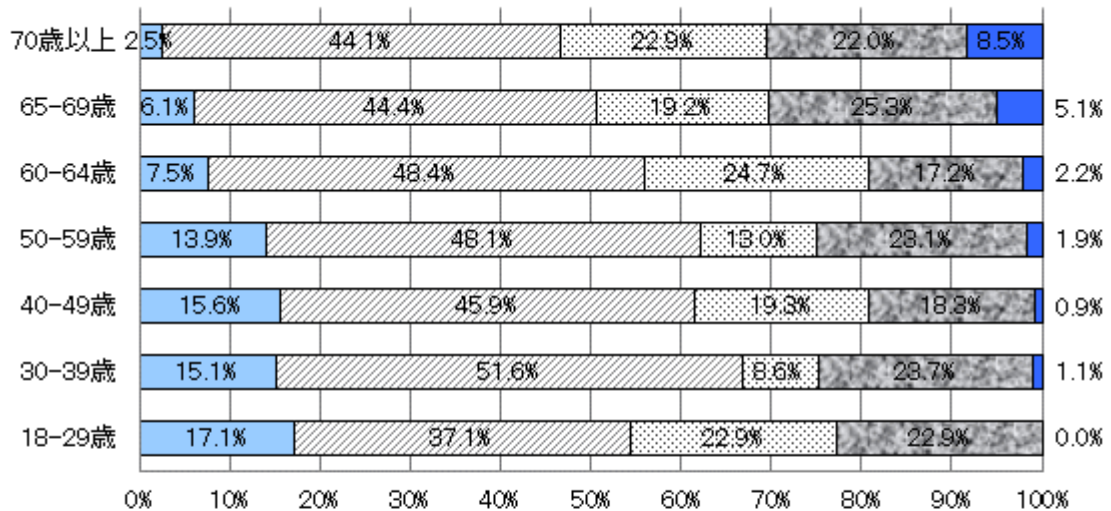
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	20.0%	26.9%	18.3%	17.6%	22.6%	17.2%	12.7%
▨ちょうどよい	37.1%	34.4%	36.7%	34.3%	30.1%	37.4%	32.2%
□足りない	25.7%	17.2%	20.2%	19.4%	22.6%	15.2%	20.3%
■わからない	17.1%	20.4%	24.8%	26.9%	23.7%	25.3%	30.5%
■無回答	0.0%	1.1%	0.0%	1.9%	1.1%	5.1%	4.2%

5-1地域安全/消防 関心・関係の割合



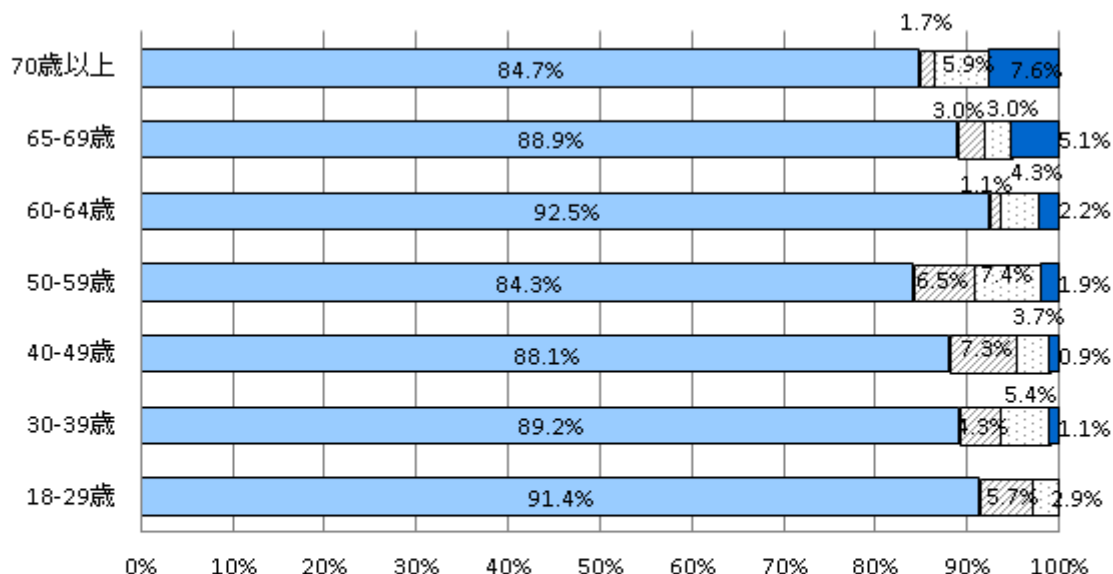
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	85.7%	84.9%	88.1%	87.0%	94.6%	86.9%	88.1%
□ない	8.6%	5.4%	5.5%	5.6%	0.0%	4.0%	2.5%
□わからない	5.7%	8.6%	5.5%	5.6%	3.2%	4.0%	1.7%
■無回答	0.0%	1.1%	0.9%	1.9%	2.2%	5.1%	7.6%

5-1地域安全/消防 コストに対する納得の割合



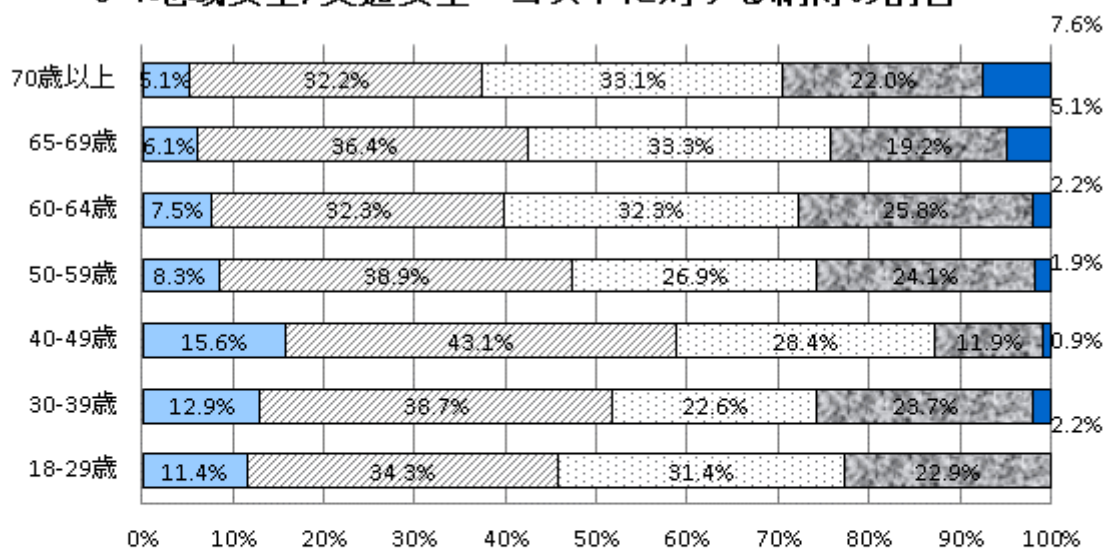
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
□使いすぎ	17.1%	15.1%	15.6%	13.9%	7.5%	6.1%	25%
□ちょうどよい	37.1%	51.6%	45.9%	48.1%	48.4%	44.4%	44.1%
□足りない	22.9%	8.6%	19.3%	13.0%	24.7%	19.2%	22.9%
□わからない	22.9%	23.7%	18.3%	23.1%	17.2%	25.3%	22.0%
■無回答	0.0%	1.1%	0.9%	1.9%	2.2%	5.1%	8.5%

5-1地域安全/交通安全 関心・関係の割合



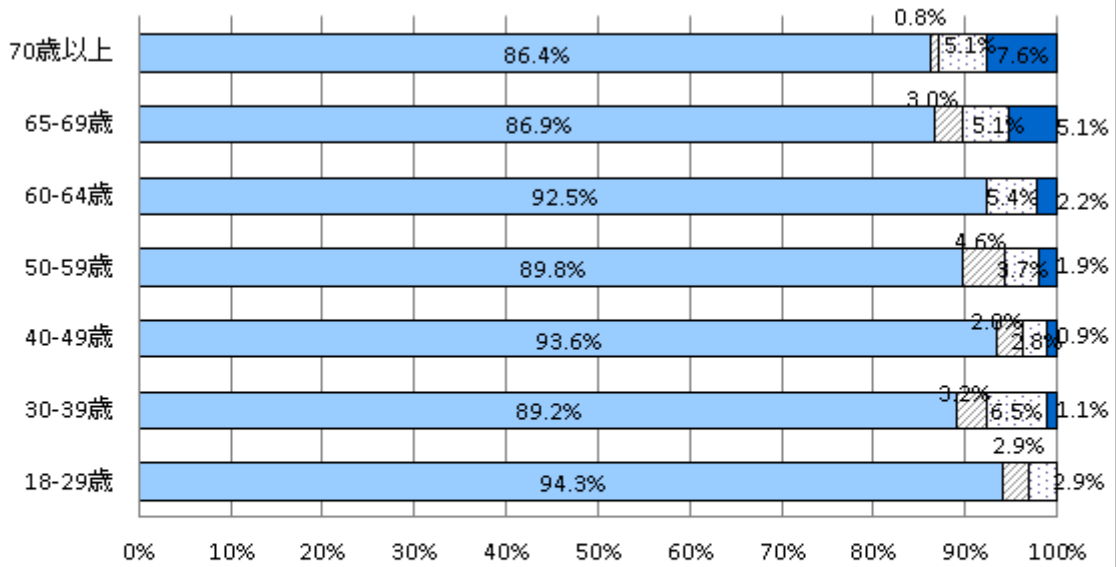
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	91.4%	89.2%	88.1%	84.3%	92.5%	88.9%	84.7%
□ない	5.7%	4.3%	7.3%	6.5%	1.1%	3.0%	1.7%
□わからない	2.9%	5.4%	3.7%	7.4%	4.3%	3.0%	5.9%
■無回答	0.0%	1.1%	0.9%	1.9%	2.2%	5.1%	7.6%

5-1地域安全/交通安全 コストに対する納得の割合



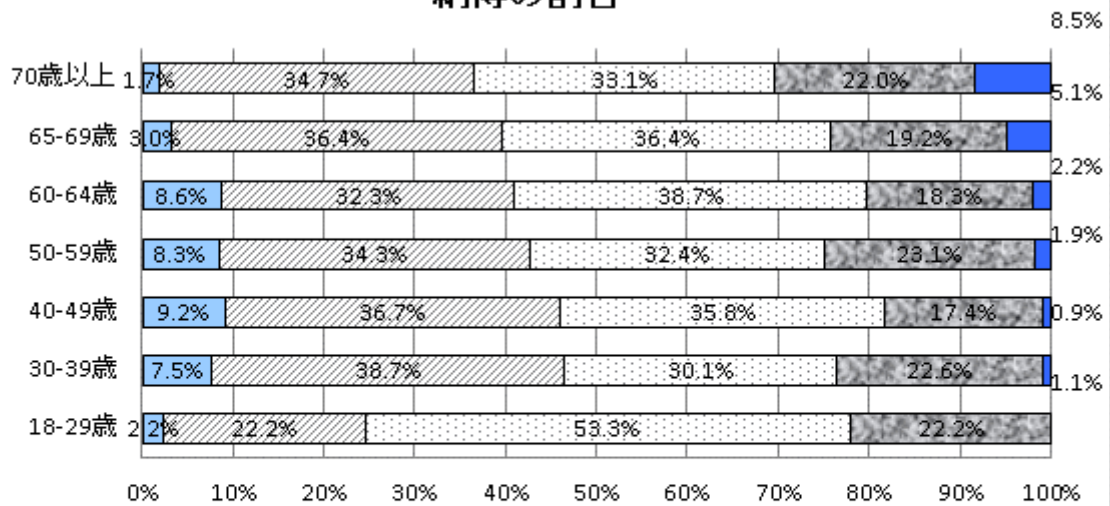
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	11.4%	12.9%	15.6%	8.3%	7.5%	6.1%	5.1%
▨ちょうどよい	34.3%	38.7%	43.1%	38.9%	32.3%	36.4%	32.2%
□足りない	31.4%	22.6%	28.4%	26.9%	32.3%	33.3%	33.1%
■わからない	22.9%	23.7%	11.9%	24.1%	25.8%	19.2%	22.0%
■無回答	0.0%	2.2%	0.9%	1.9%	2.2%	5.1%	7.6%

5-1地域安全/安全安心まちづくり 関心・関係の割合



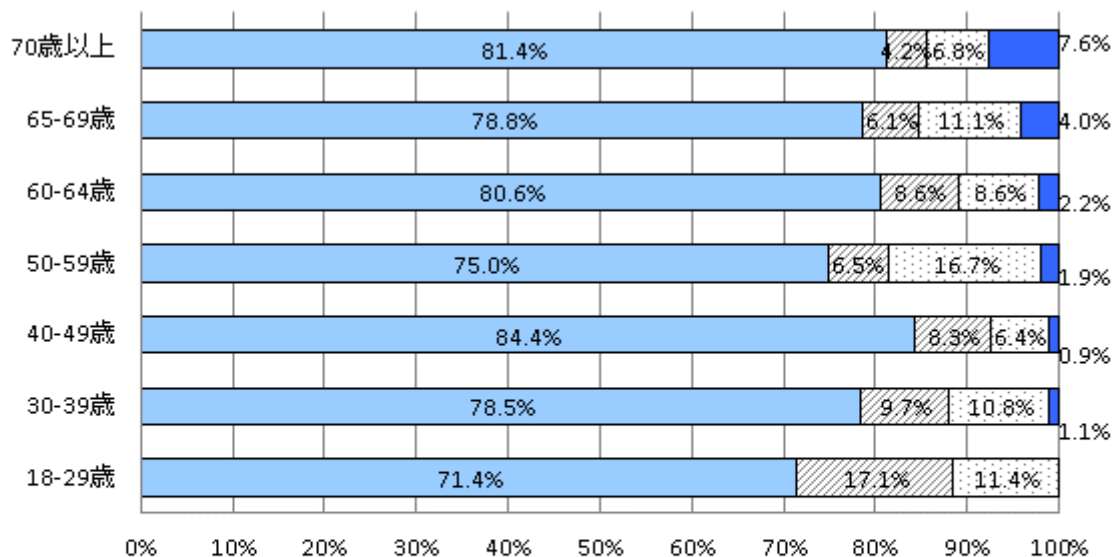
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	94.3%	89.2%	93.6%	89.8%	92.5%	86.9%	86.4%
▨ない	2.9%	3.2%	2.8%	4.6%	0.0%	3.0%	0.8%
□わからない	2.9%	6.5%	2.8%	3.7%	5.4%	5.1%	5.1%
■無回答	0.0%	1.1%	0.9%	1.9%	2.2%	5.1%	7.6%

5-1地域安全/安全安心まちづくり コストに対する納得の割合



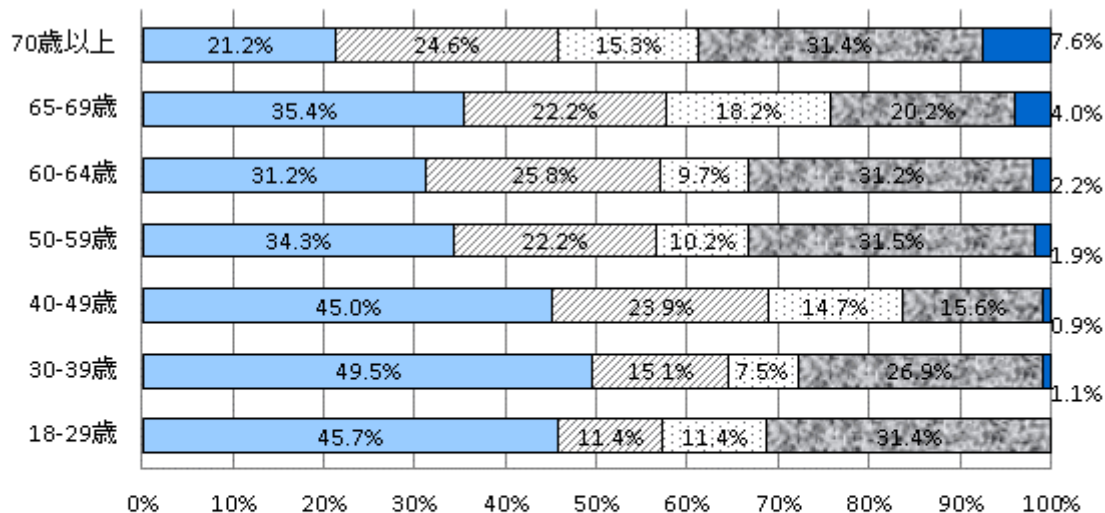
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	2.2%	7.5%	9.2%	8.3%	8.6%	3.0%	1.7%
▨ちょうどよい	22.2%	38.7%	36.7%	34.3%	32.3%	36.4%	34.7%
□足りない	53.3%	30.1%	35.8%	32.4%	38.7%	36.4%	33.1%
■わからない	22.2%	22.6%	17.4%	23.1%	18.3%	19.2%	22.0%
■無回答	0.0%	1.1%	0.9%	1.9%	2.2%	5.1%	8.5%

5-2市街地整備 関心・関係の割合



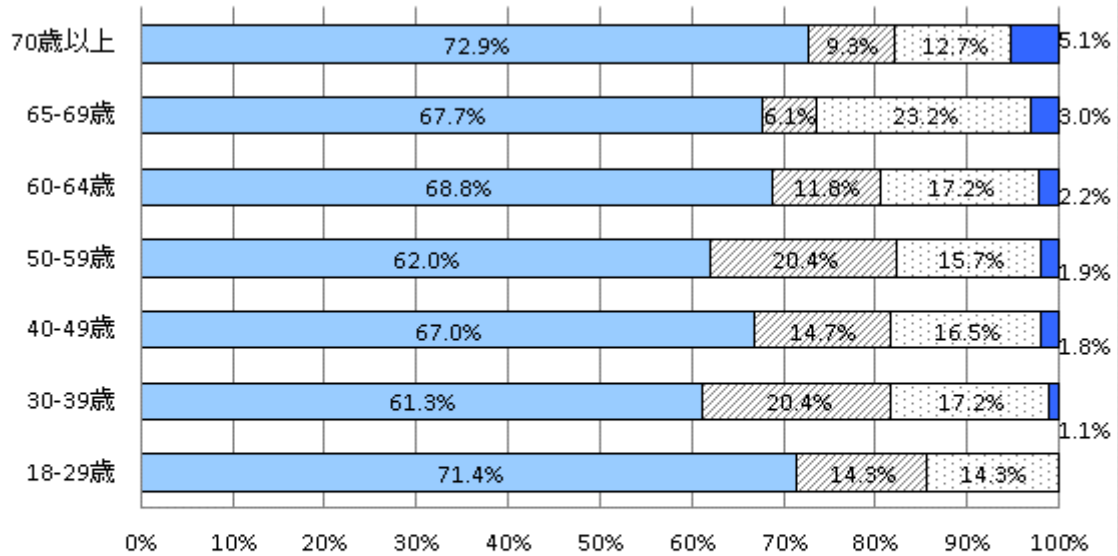
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	71.4%	78.5%	84.4%	75.0%	80.6%	78.8%	81.4%
□ない	17.1%	9.7%	8.3%	6.5%	8.6%	6.1%	4.2%
□わからない	11.4%	10.8%	6.4%	16.7%	8.6%	11.1%	6.8%
■無回答	0.0%	1.1%	0.9%	1.9%	2.2%	4.0%	7.6%

5-2市街地整備 コストに対する納得の割合



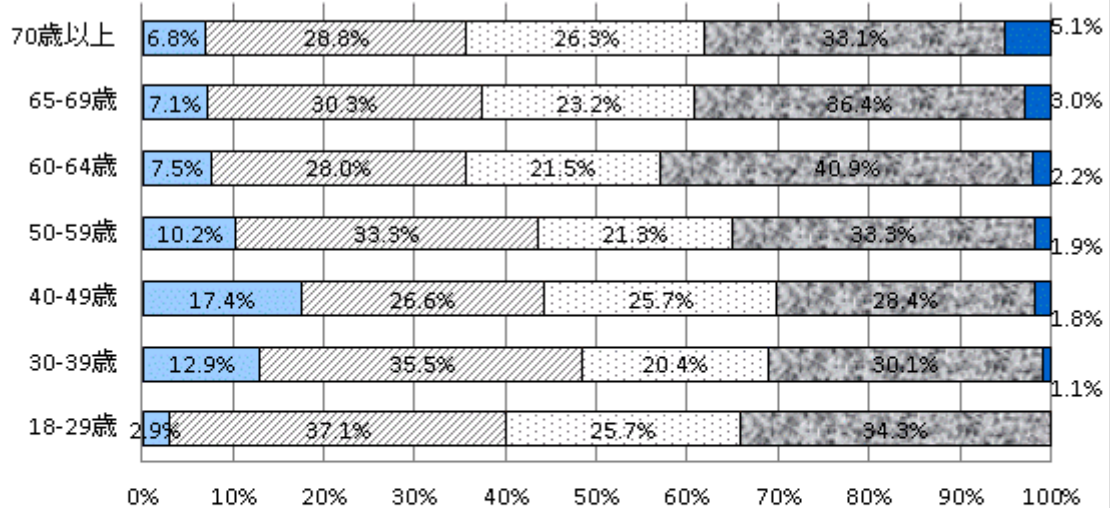
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	45.7%	49.5%	45.0%	34.3%	31.2%	35.4%	21.2%
□ちょうどよい	11.4%	15.1%	23.9%	22.2%	25.8%	22.2%	24.6%
□足りない	11.4%	7.5%	14.7%	10.2%	9.7%	18.2%	15.3%
■わからない	31.4%	26.9%	15.6%	31.5%	31.2%	20.2%	31.4%
■無回答	0.0%	1.1%	0.9%	1.9%	2.2%	4.0%	7.6%

5-3総合交通 関心・関係割合



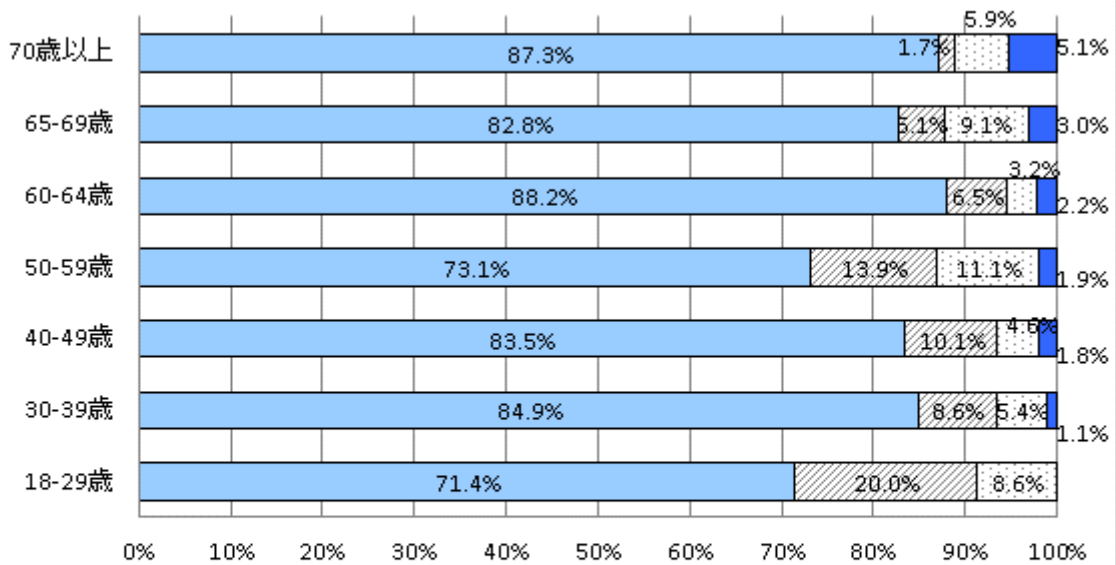
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	71.4%	61.3%	67.0%	62.0%	68.8%	67.7%	72.9%
▨ない	14.3%	20.4%	14.7%	20.4%	11.8%	6.1%	9.3%
□わからない	14.3%	17.2%	16.5%	15.7%	17.2%	23.2%	12.7%
■無回答	0.0%	1.1%	1.8%	1.9%	2.2%	3.0%	5.1%

5-3総合交通 コストに対する納得の割合



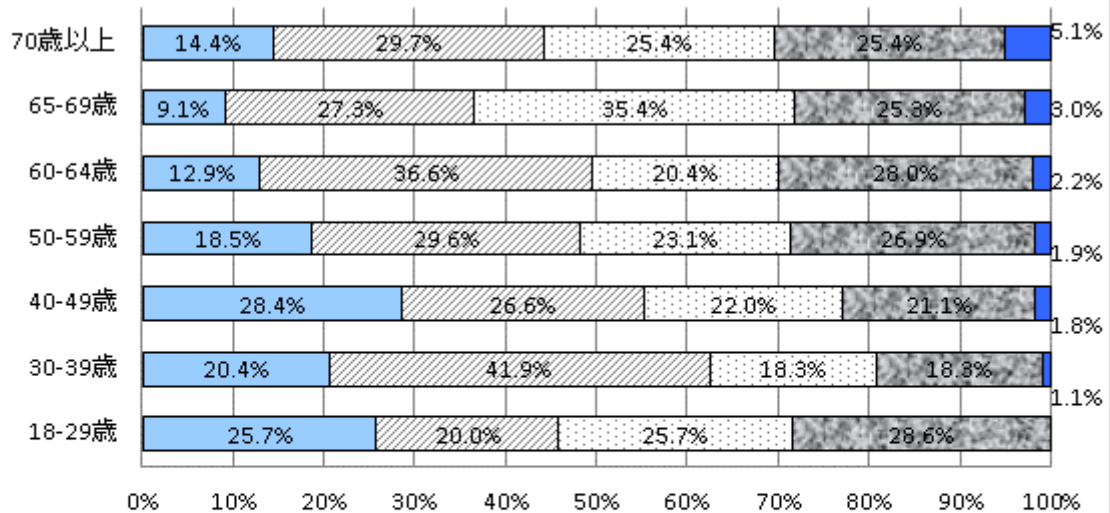
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	2.9%	12.9%	17.4%	10.2%	7.5%	7.1%	6.8%
▨ちょうどよい	37.1%	35.5%	26.6%	33.3%	28.0%	30.3%	28.8%
□足りない	25.7%	20.4%	25.7%	21.3%	21.5%	23.2%	26.3%
■わからない	34.3%	30.1%	28.4%	33.3%	40.9%	36.4%	33.1%
■無回答	0.0%	1.1%	1.8%	1.9%	2.2%	3.0%	5.1%

5-4道路整備 関心・関係の割合



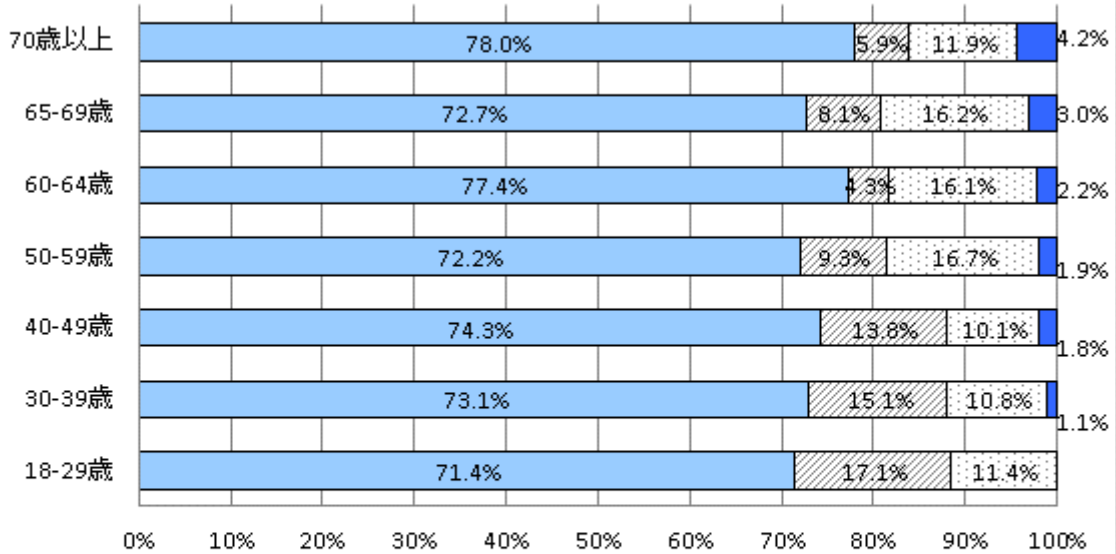
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	71.4%	84.9%	83.5%	73.1%	88.2%	82.8%	87.3%
▨ない	20.0%	8.6%	10.1%	13.9%	6.5%	5.1%	1.7%
□わからない	8.6%	5.4%	4.6%	11.1%	3.2%	9.1%	5.9%
■無回答	0.0%	1.1%	1.8%	1.9%	2.2%	3.0%	5.1%

5-4道路整備 コストに対する納得の割合



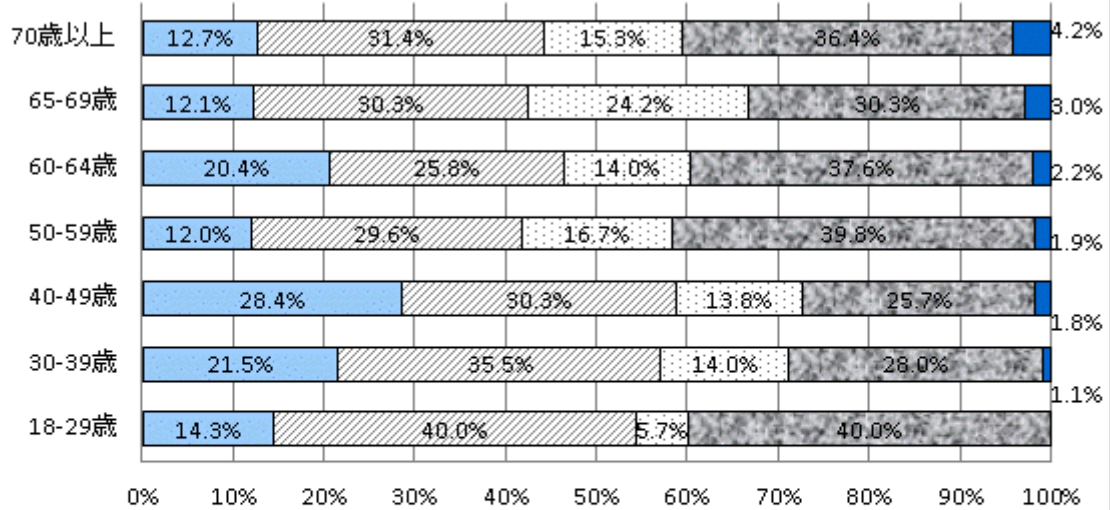
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	25.7%	20.4%	28.4%	18.5%	12.9%	9.1%	14.4%
▨ちょうどよい	20.0%	41.9%	26.6%	29.6%	36.6%	27.3%	29.7%
□足りない	25.7%	18.3%	22.0%	23.1%	20.4%	35.4%	25.4%
■わからない	28.6%	18.3%	21.1%	26.9%	28.0%	25.3%	25.4%
■無回答	0.0%	1.1%	1.8%	1.9%	2.2%	3.0%	5.1%

5-5住宅・住環境 関心・関係の割合



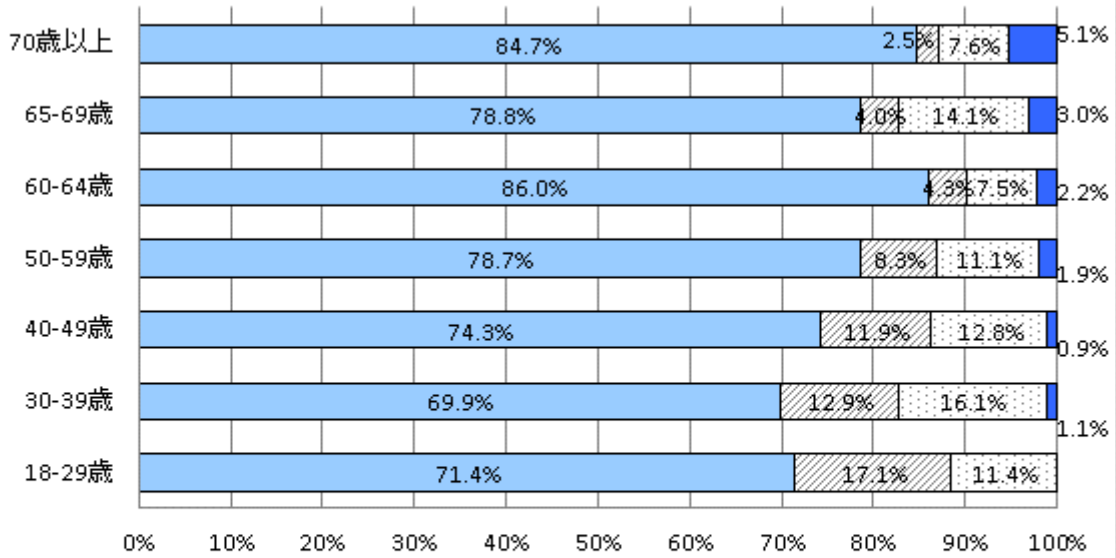
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	71.4%	73.1%	74.3%	72.2%	77.4%	72.7%	78.0%
▨ない	17.1%	15.1%	13.8%	9.3%	4.3%	8.1%	5.9%
□わからない	11.4%	10.8%	10.1%	16.7%	16.1%	16.2%	11.9%
■無回答	0.0%	1.1%	1.8%	1.9%	2.2%	3.0%	4.2%

5-5住宅・住環境 コストに対する納得の割合



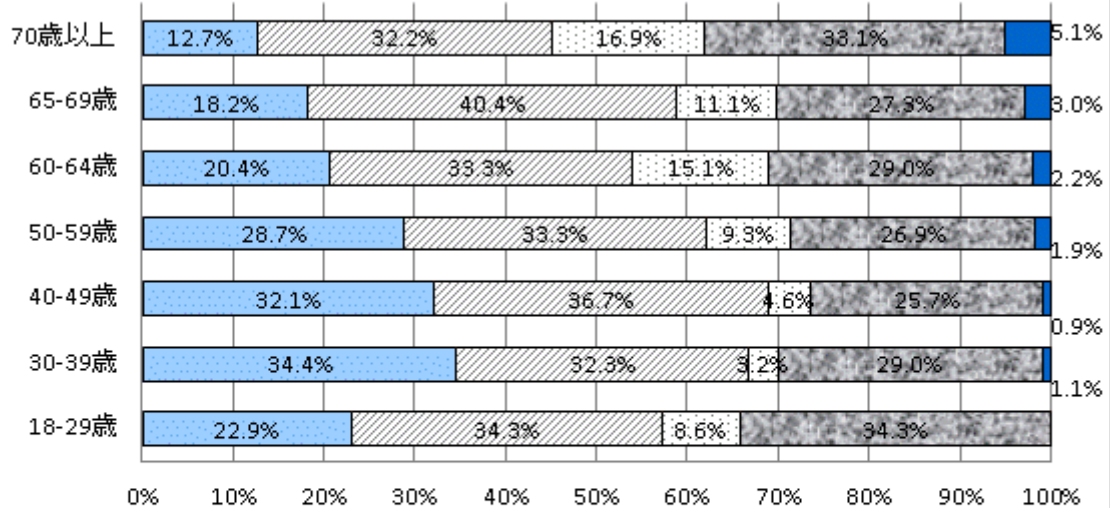
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	14.3%	21.5%	28.4%	12.0%	20.4%	12.1%	12.7%
▨ちょうどよい	40.0%	35.5%	30.3%	29.6%	25.8%	30.3%	31.4%
□足りない	5.7%	14.0%	13.8%	16.7%	14.0%	24.2%	15.3%
■わからない	40.0%	28.0%	25.7%	39.8%	37.6%	30.3%	36.4%
■無回答	0.0%	1.1%	1.8%	1.9%	2.2%	3.0%	4.2%

5-6下水道・河川 関心・関係の割合



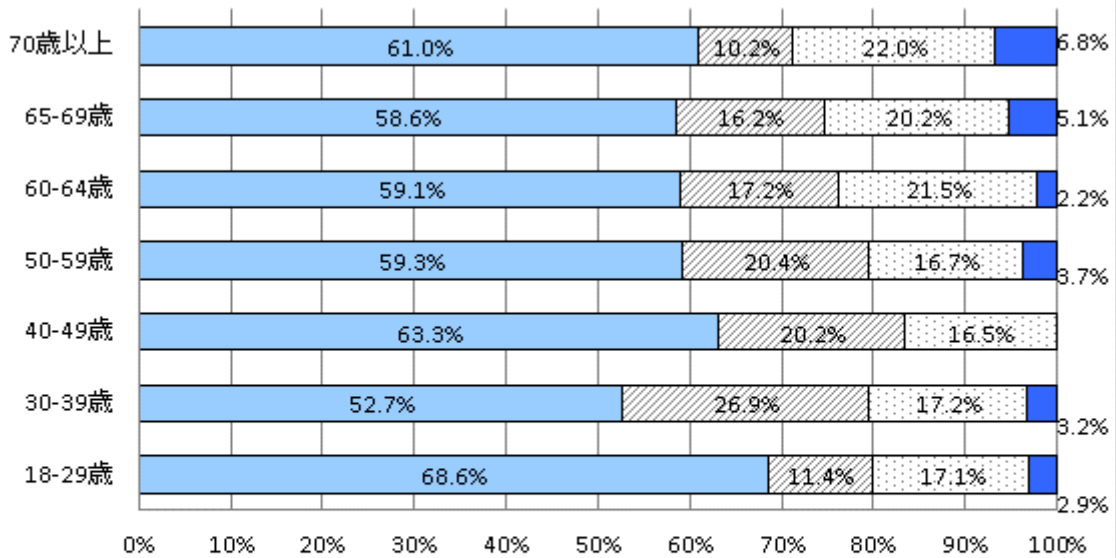
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	71.4%	69.9%	74.3%	78.7%	86.0%	78.8%	84.7%
□ない	17.1%	12.9%	11.9%	8.3%	4.3%	4.0%	2.5%
□わからない	11.4%	16.1%	12.8%	11.1%	7.5%	14.1%	7.6%
■無回答	0.0%	1.1%	0.9%	1.9%	2.2%	3.0%	5.1%

5-6下水道・河川 コストに対する納得の割合



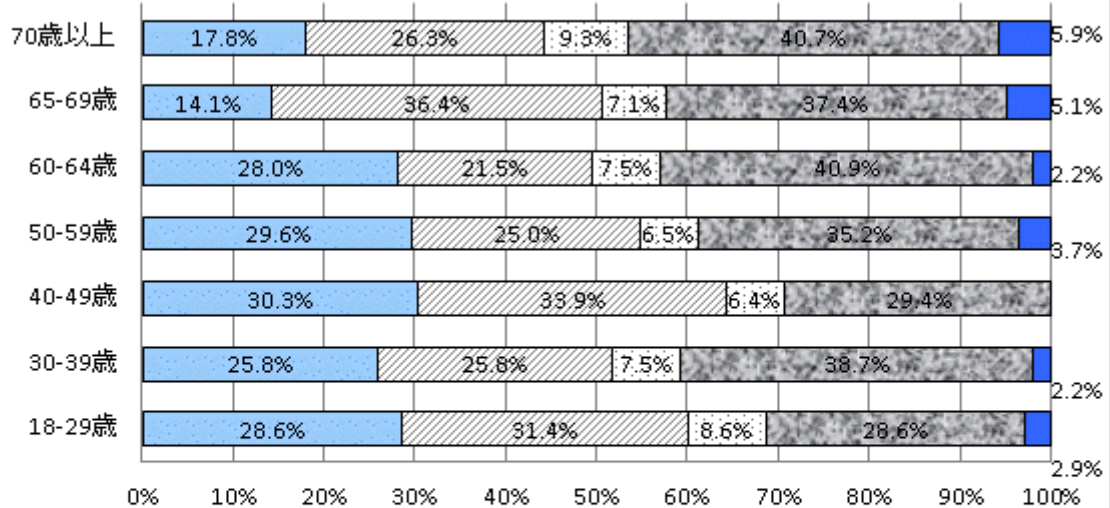
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	22.9%	34.4%	32.1%	28.7%	20.4%	18.2%	12.7%
□ちょうどよい	34.3%	32.3%	36.7%	33.3%	33.3%	40.4%	32.2%
□足りない	8.6%	3.2%	4.6%	9.3%	15.1%	11.1%	16.9%
■わからない	34.3%	29.0%	25.7%	26.9%	29.0%	27.3%	33.1%
■無回答	0.0%	1.1%	0.9%	1.9%	2.2%	3.0%	5.1%

6-1地域情報化 関心・関係の割合



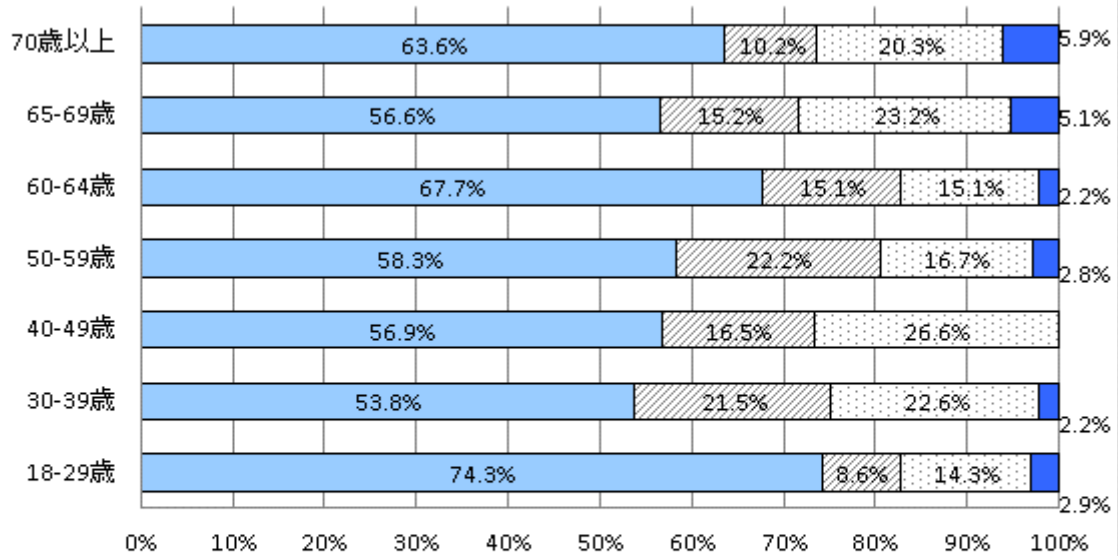
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	68.6%	52.7%	63.3%	59.3%	59.1%	58.6%	61.0%
▨ない	11.4%	26.9%	20.2%	20.4%	17.2%	16.2%	10.2%
□わからない	17.1%	17.2%	16.5%	16.7%	21.5%	20.2%	22.0%
■無回答	2.9%	3.2%	0.0%	3.7%	2.2%	5.1%	6.8%

6-1地域情報化 コストに対する納得の割合



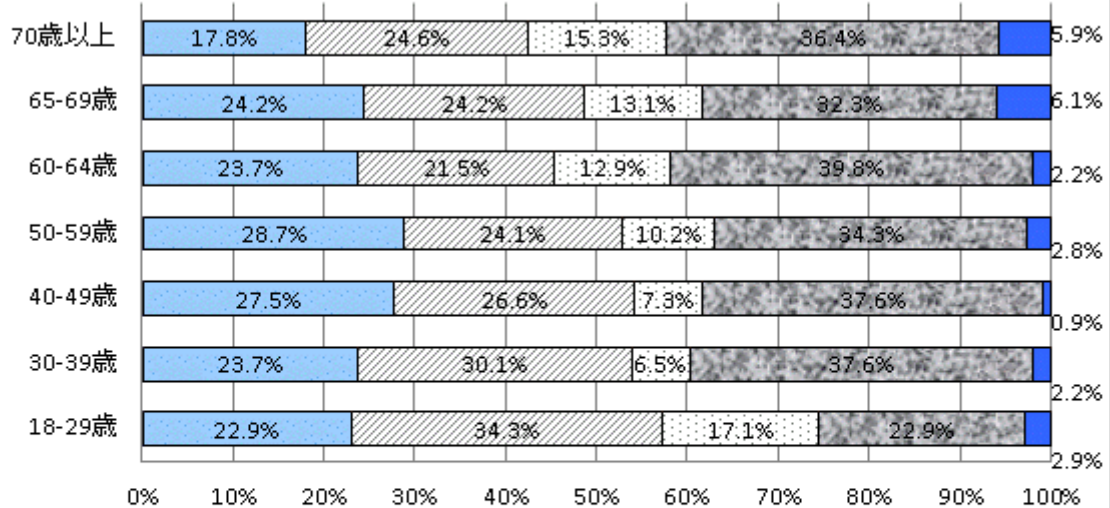
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	28.6%	25.8%	30.3%	29.6%	28.0%	14.1%	17.8%
▨ちょうどよい	31.4%	25.8%	33.9%	25.0%	21.5%	36.4%	26.3%
□足りない	8.6%	7.5%	6.4%	6.5%	7.5%	7.1%	9.3%
■わからない	28.6%	38.7%	29.4%	35.2%	40.9%	37.4%	40.7%
■無回答	2.9%	2.2%	0.0%	3.7%	2.2%	5.1%	5.9%

6-2産業振興 関心・関係の割合



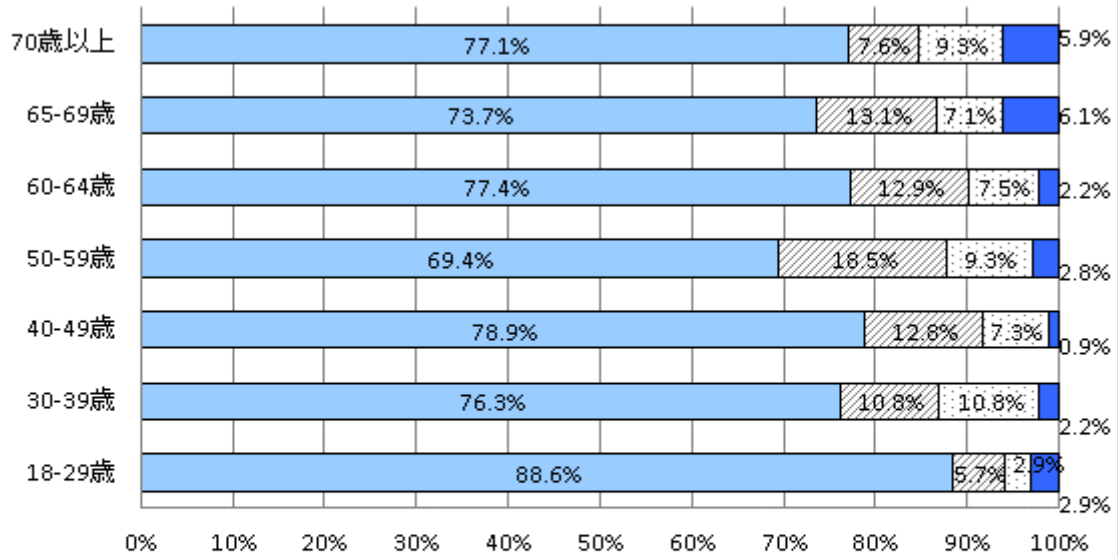
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	74.3%	53.8%	56.9%	58.3%	67.7%	56.6%	63.6%
▨ない	8.6%	21.5%	16.5%	22.2%	15.1%	15.2%	10.2%
□わからない	14.3%	22.6%	26.6%	16.7%	15.1%	23.2%	20.3%
■無回答	2.9%	2.2%	0.0%	2.8%	2.2%	5.1%	5.9%

6-2産業振興 コストに対する納得の割合



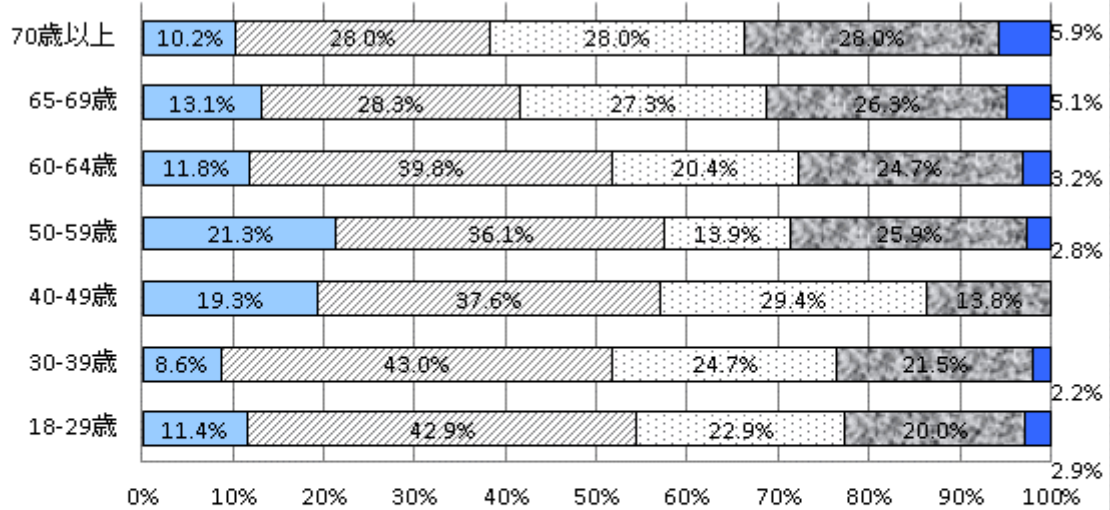
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	22.9%	23.7%	27.5%	28.7%	23.7%	24.2%	17.8%
▨ちょうどよい	34.3%	30.1%	26.6%	24.1%	21.5%	24.2%	24.6%
□足りない	17.1%	6.5%	7.3%	10.2%	12.9%	13.1%	15.3%
■わからない	22.9%	37.6%	37.6%	34.3%	39.8%	32.3%	36.4%
■無回答	2.9%	2.2%	0.9%	2.8%	2.2%	6.1%	5.9%

6-3観光 関心・関係の割合



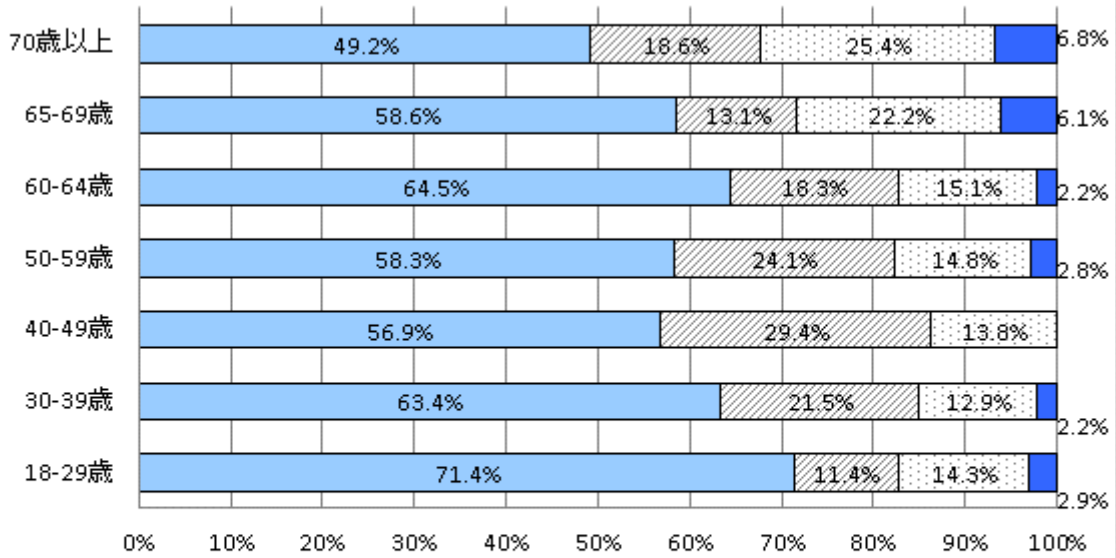
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	88.6%	76.3%	78.9%	69.4%	77.4%	73.7%	77.1%
▨ない	5.7%	10.8%	12.8%	18.5%	12.9%	13.1%	7.6%
□わからない	2.9%	10.8%	7.3%	9.3%	7.5%	7.1%	9.3%
■無回答	2.9%	2.2%	0.9%	2.8%	2.2%	6.1%	5.9%

6-3観光 コストに対する納得の割合



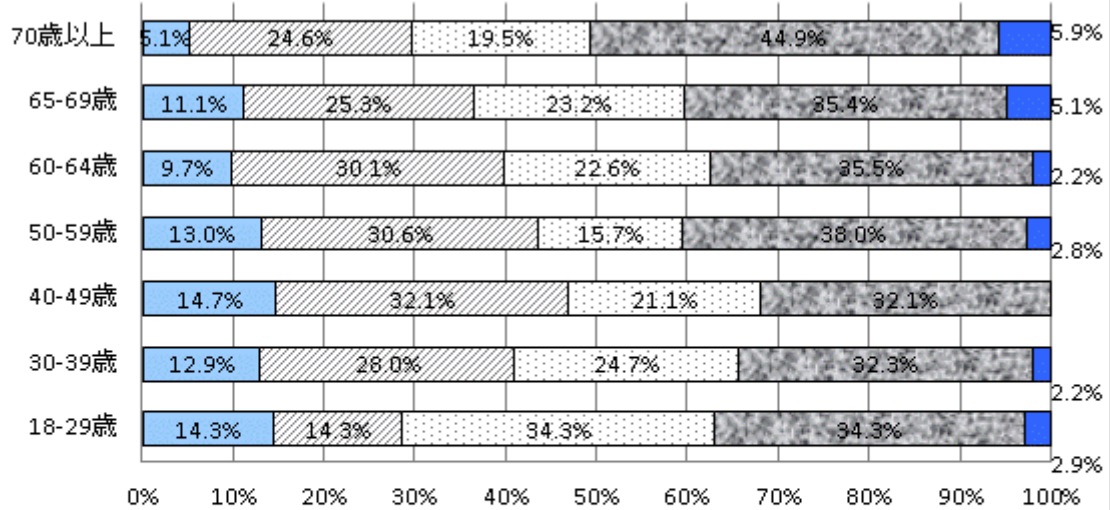
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	11.4%	8.6%	19.3%	21.3%	11.8%	13.1%	10.2%
▨ちょうどよい	42.9%	43.0%	37.6%	36.1%	39.8%	28.3%	28.0%
□足りない	22.9%	24.7%	29.4%	13.9%	20.4%	27.3%	28.0%
■わからない	20.0%	21.5%	13.8%	25.9%	24.7%	26.3%	28.0%
■無回答	2.9%	2.2%	0.0%	2.8%	3.2%	5.1%	5.9%

6-4勤労者福祉 関心・関係の割合



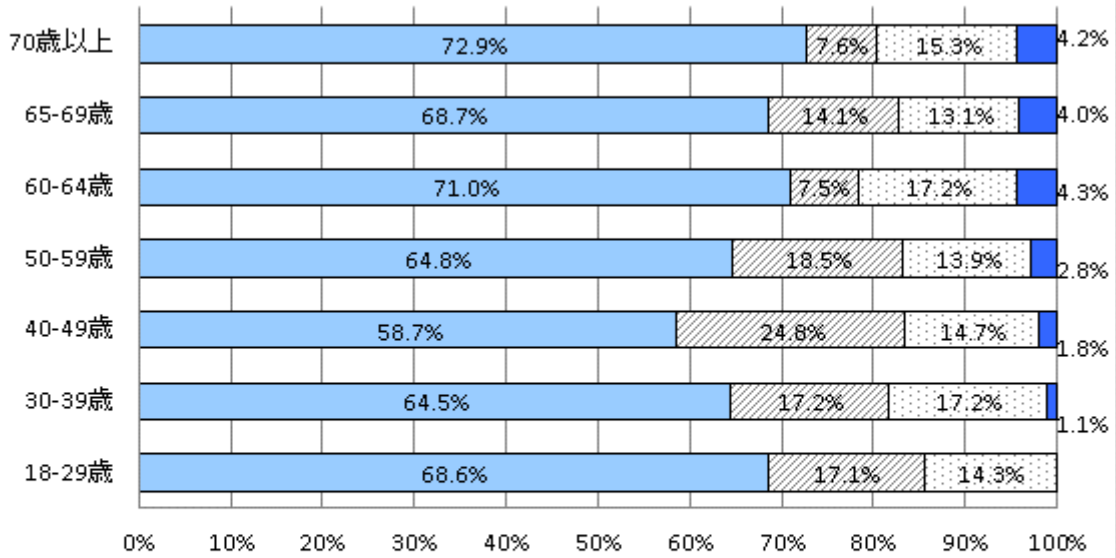
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	71.4%	63.4%	56.9%	58.3%	64.5%	58.6%	49.2%
▨ない	11.4%	21.5%	29.4%	24.1%	18.3%	13.1%	18.6%
□わからない	14.3%	12.9%	13.8%	14.8%	15.1%	22.2%	25.4%
■無回答	2.9%	2.2%	0.0%	2.8%	2.2%	6.1%	6.8%

6-4勤労者福祉 コストに対する納得の割合



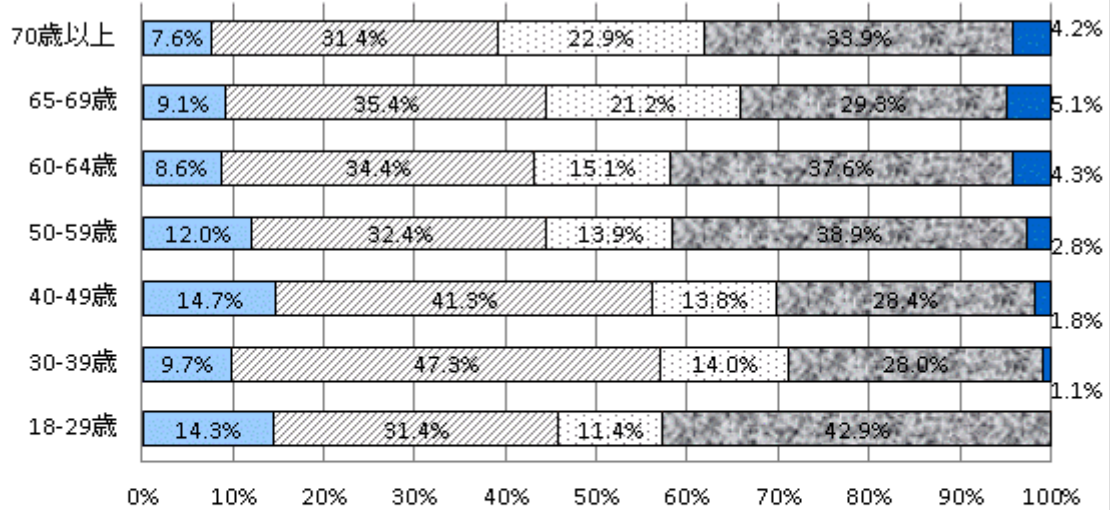
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	14.3%	12.9%	14.7%	13.0%	9.7%	11.1%	5.1%
▨ちょうどよい	14.3%	28.0%	32.1%	30.6%	30.1%	25.3%	24.6%
□足りない	34.3%	24.7%	21.1%	15.7%	22.6%	23.2%	19.5%
■わからない	34.3%	32.3%	32.1%	38.0%	35.5%	35.4%	44.9%
■無回答	2.9%	2.2%	0.0%	2.8%	2.2%	5.1%	5.9%

6-5消費生活 関心・関係の割合



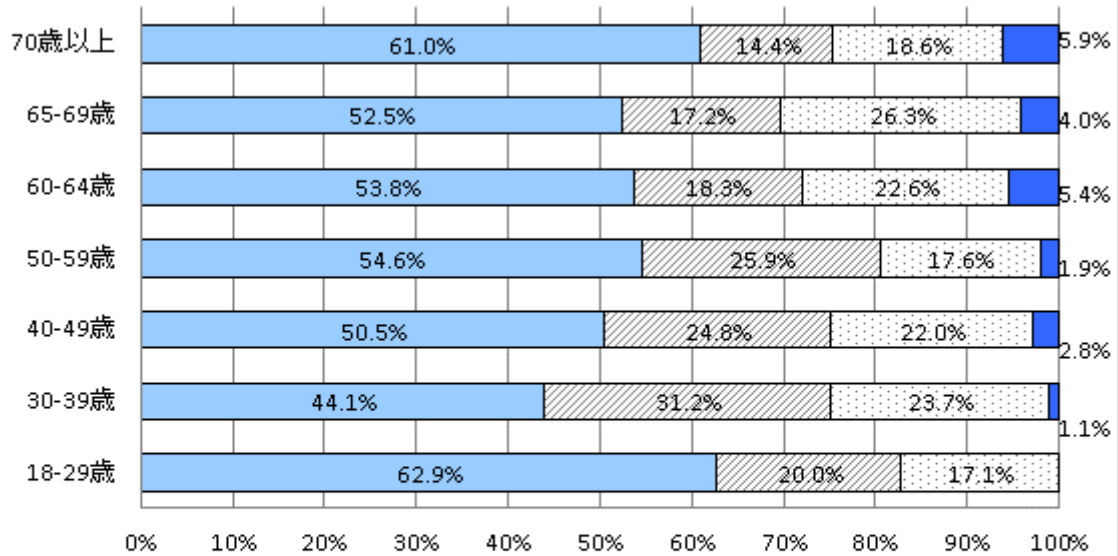
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	68.6%	64.5%	58.7%	64.8%	71.0%	68.7%	72.9%
▨ない	17.1%	17.2%	24.8%	18.5%	7.5%	14.1%	7.6%
□わからない	14.3%	17.2%	14.7%	13.9%	17.2%	13.1%	15.3%
■無回答	0.0%	1.1%	1.8%	2.8%	4.3%	4.0%	4.2%

6-5消費生活 コストに対する納得の割合



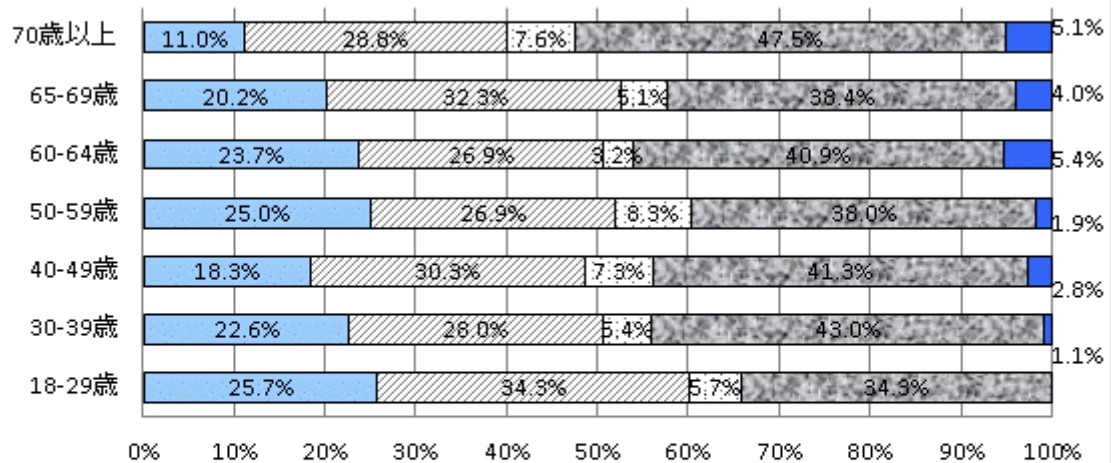
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	14.3%	9.7%	14.7%	12.0%	8.6%	9.1%	7.6%
▨ちょうどよい	31.4%	47.3%	41.3%	32.4%	34.4%	35.4%	31.4%
□足りない	11.4%	14.0%	13.8%	13.9%	15.1%	21.2%	22.9%
■わからない	42.9%	28.0%	28.4%	38.9%	37.6%	29.3%	33.9%
■無回答	0.0%	1.1%	1.8%	2.8%	4.3%	5.1%	4.2%

7-1市民参画・協働の推進 関心・関係の割合



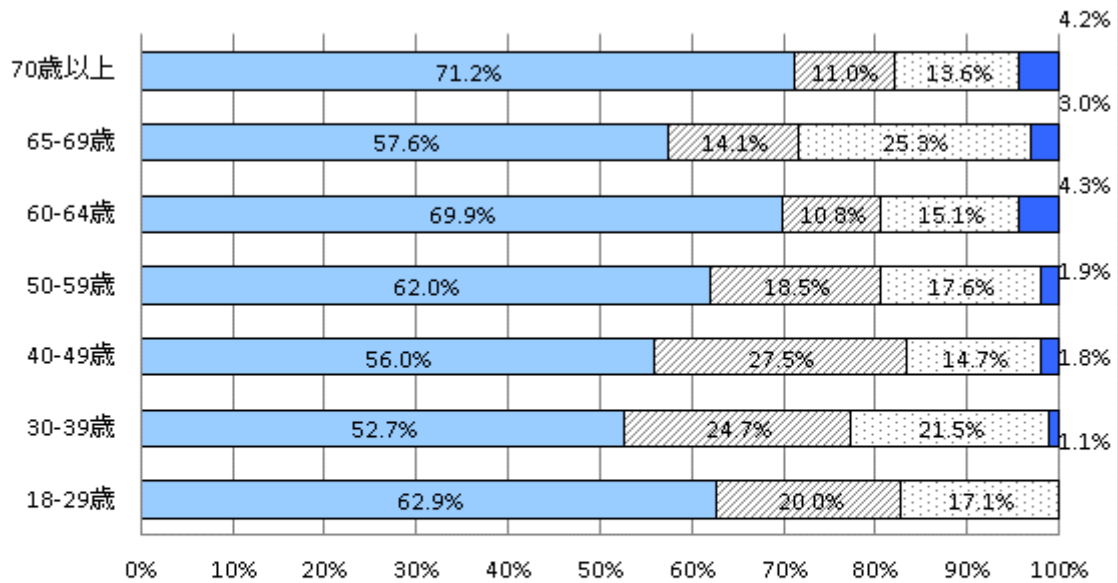
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	62.9%	44.1%	50.5%	54.6%	53.8%	52.5%	61.0%
▨ない	20.0%	31.2%	24.8%	25.9%	18.3%	17.2%	14.4%
□わからない	17.1%	23.7%	22.0%	17.6%	22.6%	26.3%	18.6%
■無回答	0.0%	1.1%	2.8%	1.9%	5.4%	4.0%	5.9%

7-1市民参画・協働の推進 コストに対する納得の割合



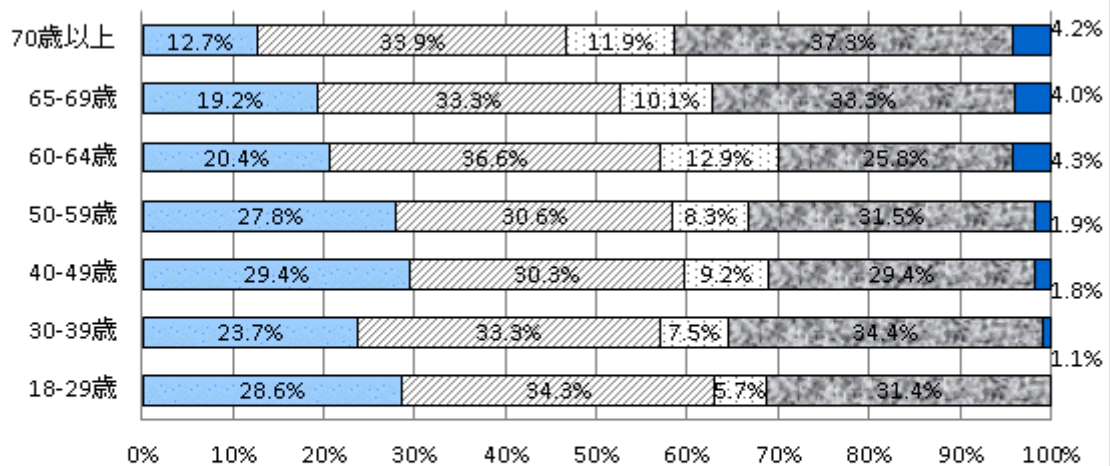
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	25.7%	22.6%	18.3%	25.0%	23.7%	20.2%	11.0%
▨ちょうどよい	34.3%	28.0%	30.3%	26.9%	26.9%	32.3%	28.8%
□足りない	5.7%	5.4%	7.3%	8.3%	3.2%	5.1%	7.6%
■わからない	34.3%	43.0%	41.3%	38.0%	40.9%	38.4%	47.5%
■無回答	0.0%	1.1%	2.8%	1.9%	5.4%	4.0%	5.1%

7-2コミュニティ活動の活性化 関心・関係の割合



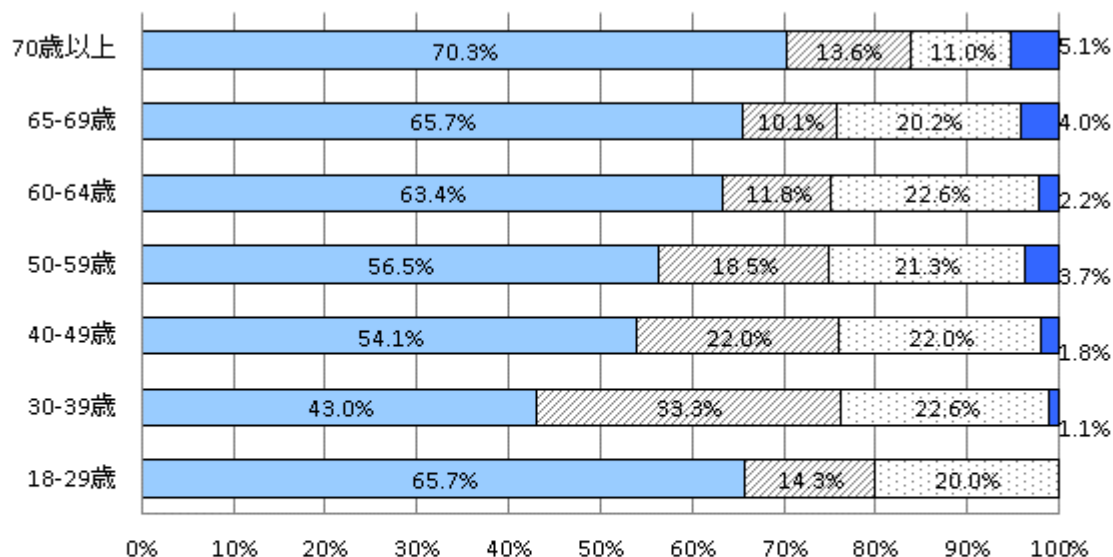
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ある	62.9%	52.7%	56.0%	62.0%	69.9%	57.6%	71.2%
▨ない	20.0%	24.7%	27.5%	18.5%	10.8%	14.1%	11.0%
▤わからない	17.1%	21.5%	14.7%	17.6%	15.1%	25.3%	13.6%
■無回答	0.0%	1.1%	1.8%	1.9%	4.3%	3.0%	4.2%

7-2コミュニティ活動の活性化 コストに対する納得の割合



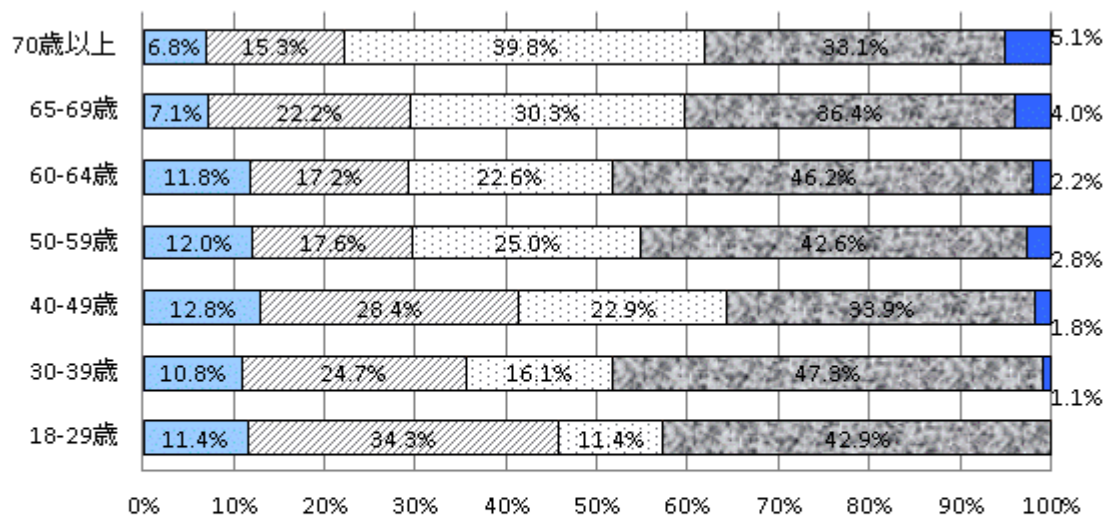
	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■使いすぎ	28.6%	23.7%	29.4%	27.8%	20.4%	19.2%	12.7%
▨ちょうどよい	34.3%	33.3%	30.3%	30.6%	36.6%	33.3%	33.9%
▤足りない	5.7%	7.5%	9.2%	8.3%	12.9%	10.1%	11.9%
■わからない	31.4%	34.4%	29.4%	31.5%	25.8%	33.3%	37.3%
■無回答	0.0%	1.1%	1.8%	1.9%	4.3%	4.0%	4.2%

7-3地域福祉の推進 関心・関係の割合



	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
□ある	65.7%	43.0%	54.1%	56.5%	63.4%	65.7%	70.3%
□ない	14.3%	33.3%	22.0%	18.5%	11.8%	10.1%	13.6%
□わからない	20.0%	22.6%	22.0%	21.3%	22.6%	20.2%	11.0%
■無回答	0.0%	1.1%	1.8%	3.7%	2.2%	4.0%	5.1%

7-3地域福祉の推進 コストに対する納得の割合



	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
□使いすぎ	11.4%	10.8%	12.8%	12.0%	11.8%	7.1%	6.8%
□ちょうどよい	34.3%	24.7%	28.4%	17.6%	17.2%	22.2%	15.3%
□足りない	11.4%	16.1%	22.9%	25.0%	22.6%	30.3%	39.8%
□わからない	42.9%	47.3%	33.9%	42.6%	46.2%	36.4%	33.1%
■無回答	0.0%	1.1%	1.8%	2.8%	2.2%	4.0%	5.1%

第4章 アンケート自由記入

1 人権を尊重し、人との出会いを大切にすまち

1-1 「平和・人権」

1	1-1(平和・人権)印刷物をもっとやさしい文面&文字(外国語を使用しない)を一般の人(高齢婦人)が読みやすく。
---	---

1-2 「男女共同参画社会」

1	項番1-2について「特記事項」の中に「男女共同参画プラン推進事業(女性相談事業等)」とあるが、男女共同といいながらなぜ「女性相談」なのか。男性はどこへ追いやられてしまったのか。行政が男女共同という時には「女は弱いものだから助けてあげなければ」という考え方が見え隠れしているように思われる。これは女性蔑視の別の形の現われだということを銘記されたい。
2	1-2女性相談業務の運営に関しては良いと思う。
3	日本の社会がこれ程、夫運の悪い人間が背負う物が大きいとは思ってもかけなかった。高度成長に力を貸し、働きました。昼夜と。

2 歴史を継承し、文化を創造すまち

2-1 「歴史環境」

1	鎌倉の世界遺産登録を目指して緑豊かな地域作りに一市民として貢献します。
2	どう考えても全体的にムダ使い。発想や考え方が古い。この考えではいつになっても世界遺産登録はムリ。新しい考え、チャレンジスピリットがない。守りの行政。
3	世界遺産登録のために、あまり大金を使うのはやめていただきたいと思います。ここまで景観保全や観光客への対応をおろそかにしてきて、今更という感じがします。そんな事よりも、未来を担う子ども達のための外遊びの場や居場所づくり、防災を考えた街づくり等力を入れて頂きたい事柄がたくさんあります。是非、市民の生活を第一に考えて頂ければと思います。
4	鎌倉市が何故世界遺産なのか理解できない。鎌倉は気候はいいが、住民が住みやすいとはいいいがたい。世界遺産関係に使うお金があるのなら、住民が住みやすくなる事に使っていただきたい。
5	予算の硬直化をさける為、ビジョンと中期方針を明確にして、各部門に過去の平均の60%予算を提示する、その上でまじめな事業計画予算を作らせる。政治が充点施策を定め、事業順序を明らかにすれば、いずれ、どの部門にも事業予算が配分されることが判れば、流動化した遺産配分が可能となるのではないのでしょうか。町造りが立派にできればおのずと世界遺産登録もできると思います。今の状況でははずかしいです。
6	世界遺産登録推進:何の為にやるのかの説明があまりに不足。市民にメリット感がない。(すでに車と人があふれている。)
7	「歴史環境」で世界遺産登録事業を行なっていますが、市民の一致した人的協力態勢を作るべきです。メイン街路一つとって見ても草茫茫です。植栽は踏みつけられて、根もとから折れたまま。小路に至ればさらに荒れ果て、草取る人もいません。草取る人がいないのを嘆く以上に、草だらけの住環境。“観光都市”に鈍感・無関心な市民感覚こそ悲しむべきでしょう。地域自治会を活性化し、全市民が観光都市鎌倉の美化に努めなければ、世界遺産登録など実現できません。意識が一本化し、市民がこぞって鎌倉市を誇る時にこそ、申請できる時です。まず市民意識をしっかりと建て上げるべきです。大勢の観光客の波に、建物も街全体も荒廃してしまいます。
8	世界遺産登録の前にやることあるのでは？ ・トイレ整備 ・歩道整備 ・人材育成
9	メリハリが欲しいです。文化・歴史には力を入れて下さい。
10	鎌倉市の存在の基盤である歴史的環境、景観を本当に重視する行政であれば、三菱地所が進める二階堂のマンション建設を阻止すべきと考えます。 世界遺産登録のコア史跡である荏柄天神の参道に接する地区での許可は、違法とは申しませんが、条理に反すると考えます。2-1の解答欄でコストが足りないと記載しましたが、まずは考え方から改めていただきたいと思ひます。

11	世界遺産キャンペーンが盛んだが、特に大仏周辺の土産店における景観は、あまりにも粗雑乱れ、とても美的センスがない！！街としても世界遺産を発信するには恥ずかしいとは思わないだろうか。その他も同様。観光地全て、辟易している。しかも、道路は渋滞、温暖化防止を進めるためにも、車の進入が、生活道路迄押し寄せる現状を打破しなくて何で世界遺産か？頼朝に恥ずかしい。それと、バス停の周辺の看板等も、雑、読み難い。街に住んで誇りを持てるのは、車の排ガスと、ゴミのほこりのみ、無為無策を痛感する！！鎌倉にとって、正月のみが鎌倉らしいのが実感。目標は生活環境と景観の見直し。業者のみに潤いがある世界遺産など真っ平だ！！
----	--

3 都市景観を保全・創造するまち

3-1 「みどり」

1	古都鎌倉といいつつ、土地開発がどんどん進んでおり、これもこの近年異常にふえている。自然環境破壊が進んでいるといわざるをえない。
2	「みどり」守ると言いつつ、どんどん宅地化もされているはず。

3-2 「都市景観」

1	都市景観で電線類の埋設化を進めてもらいたい。世界遺産に向け効果があると思うが？
2	鎌倉らしい都市づくりのイメージを眺める力点を考慮して予算編成をOKすべきである。

3-3 生活環境（廃棄物の発生抑制・資源循環・廃棄物処理）」

1	ゴミ対策にもっと取り組んで欲しい。もっと簡便にして欲しいです。
2	(ゴミ有料の袋で)今の収集方法で良いから袋代だけ有料(藤沢市みたいに戸別だとコストがかかりすぎ)

3-3 「生活環境（生活環境の保全）」

1	道路の犬のフンの対策をお願いします。
2	地域景観の維持には大変満足しています。木々の手入れなどもこまめに委託業者がやってくれるので大変住みやすい地域だと誇らしく思っています。
3	現在が一番の関心ごとは放射能対策です。「観光都市 鎌倉」の存在に関わる大問題ととらえています。福島第一原発が収束するのが第一ではあるのですが、「安全なまち 鎌倉」というイメージを保っていくには、市民ひとりひとりが自覚しないと難しいと思います。(大船、地上1m 1.2は線量として高い、と思います・・・《twitterのデータより》除染しなければならぬlevelです・・・) 内部被爆の知識をきちんとお持ちの方に講演していただけたら、とも思います。
4	エコカー、電気自動車、ソーラパネルの補助を多くする。(その分燃費の悪い車は税金を上げる。)
5	時折(夜でも)爆音たてて空をとんでる飛行機(米軍?)の騒音なんとかして下さい。

4 健やかで心豊かに暮らせるまち

4-1 「健康福祉（高齢者支援）」

1	近くに高齢者夫妻(80才)が住んでいるが行政サイドの見舞い・声掛け・訪問等、一度も見かけたことがない。包むような温かい見守り環境が考えられてもいいのではないかと。
2	鎌倉市には高齢者の方が多く、福祉に関する取り組みは積極的に行い、良いと思います。
3	生きがいづくり、シルバーボランティアなど今後益々重要になると思う。

4-1 「健康福祉（健康）」

1	国民健康保険について、保険証を給付していなかった期間の保険料を徴収するのはおかしい。
2	・国民健康保険の事で一言。 私は今、社会保険に入っております。国民保険の方は、(年寄)少し接骨院・整骨院にお金をかけすぎていると思います。肩・腰等は皆がいたいのですが、近くだから又保険一割だからと言って通院すぎると思います。本当に痛いだとかだったら整形外科に行くべきだと思います。社会保険の場合はすぐ連絡がきて通院できないと思います。(病院に行く様に)病院(他の内科)印をいただければ、通院出来ると言うのもおかしいと思います。毎週2回3年位通院していて治らないと×。接骨院の場合は病院と違って5割にするべき思っています。皆、心の中で思っています。健康保険(医療ヒ)が足りないと思いますので・・・。又介護の方に回してみたら・・・。

4-1 「健康福祉（子育て支援）」

1	何を大事にするべきかは、この市の子どもを増やし、よい環境、よい教育、子供を増やせる助成。それが何よりかと。
2	安心して子供を産めるところが減っているので力を入れて住みやすくして下さい。
3	藤沢市などと比べ広々とした公園が少ないように思います。もっと子供の遊べる場所を増やしてほしい。
4	子供に関する取り組みをもっと積極的に行なって欲しい。他の市と比べて(横浜市、藤沢市)より、遅れをとっていると感じられます。
5	小さな子供に鎌倉は優しくない。観光地のためか、子連れで行ける場所がかなり限られている。

4-1 「健康福祉」 全般・その他

1	高齢化・少子化社会に向けて、「ちょうどよい」の回答にしましたが、健康福祉の分野に、もう少しコストをかけても良いかなとも思います。
2	病気の検査が主な支出のようだ。普段からの運動などによる予防的な支出は何%あるのだろうか。鎌倉は高齢の人が多く、よりコスト高になるのでしょうか？年齢によるコストのかかり方を知りたいものです。
3	高齢者(障害者)などにターゲットを絞って評価してもらってはどうか？

4-2 「学校教育」

1	子供教育について取組みが不足しているように思う。教員の資質の問題チェック、正しい教育をしているか？朝の挨拶をしない子供が多い、通学路でボランティアしているものがおはようと言っても無視している子供に対し教師が注意するどころか本人たちが挨拶をしない。無茶を言う父母に対し毅然とした態度をとらない＝モンスターパーエレンツを増殖させている校長達に一番責任があると思うが教育委員に対する市政はどう考えているのか？もっと他の市町村の立派な学校など視察して鎌倉にも取り入れたら・・・将来は他の市町村からのモデルに鎌倉はなって欲しい。
2	学校給食の充実を望む(品数、組み合わせ、体格向上に合わせた量)
3	中学校の給食実施は切にお願いしたい。
4	(学校教育)日本古来の伝統など、旧工作などの実施を多くする。

4-3 「生涯学習」

1	藤沢市にある湘南台文化センターでやっているような、子ども向けのワークショップのようなイベントをもっとやってほしいです。事前申し込みが不要だと、参加しやすくて良いです。
2	生涯学習は平日のみとかで、社会人は参加できない様になっている。一部の人しか参加できない。
3	図書館の雰囲気は暗いです。雑誌も少ない。小説も今ひとつな品揃え。(中央図書館)特にファッション関係。「装苑」がないのが不思議です。逗子の図書館に行きましたが、明るく、雑誌も充実していました。古いものはデータ化するなどして、もう少し現代に合わせたラインナップを望みます。配置を変えるなどして、明るい感じに出来ると思います。

4-4 「青少年育成」

1	台に在住しています。子供が小坂小学校に通っており、大船第2子供会館を利用しています。通うのが遠いため、小坂小学校近隣への移転の話が以前よりあるようなのですが、その進捗はいかがでしょうか。同じ悩みをかかえている家庭がたくさんありますのでよろしくをお願いします。
---	---

5 安全で快適な生活が送れるまち

5-1 「地域安全（消防）」

1	防災面に予算を多く使うべきであり、市民の安全を守るためには消防士の数を増やしたらどうか？議員の数も多いと思う。地震とか災害の時に誰れが助けてくれますか？消防士さんではないですか？
---	---

5-1 「地域安全（交通安全）」

1	一方通行違反をきちんと取りしめる。
2	車がわき道に進入しない工夫(道に凸凹を付ける等)、

5-1 「地域安全（安心・安全まちづくり）」

1	地震および津波対策、即ち“減災”計画を推進すべし
2	防犯カメラの設置。施設などの警備員の増加。雇用促進。治安維持。
3	2011.3震災による対応分が予算外で(あるいは予算変更)何%くらい使ったのかを知りたい。
4	防災無線の新設をお願いします。(公園には1つ欲しいです。)
5	津波避難ビルの建設
6	地震対策の強化を願います。
7	極楽寺桜橋周辺が暗く、自治会に言っても暗くないと取り合ってもらえません。
8	みどりに予算をかけるより、住環境(道路、安全)を重視してほしい。
9	防災鎌倉の放送ですが、響きすぎて全く聞こえません。聞こえなければ意味が無いと思います。携帯などのお知らせメール以外で何か良い方法はないか検討して頂きたい。

5-2 「市街地整備」

1	鎌倉市は大船地区と旧鎌倉地区(鎌倉駅周辺)の“Twin Block”を形成して、永続できる行政機能を準備しないと、市が消滅することになるのではないかと。(鎌倉地区の消滅)
2	大船西口の再開発促進を希望
3	各商店街の買物用駐車場の確保(コストを安く)、市民の市立総合病院、市立のメモリアルホール(葬儀場)
4	大船西口の整備は、もう少し戦略的にできなかったものか？今後の反省、ふりかえりをぜひ実施していただきたい。

5-3 「総合交通」

1	玉縄(特に関谷地区)の交通の便が悪すぎる。インター経由の本数も少ないので、駅に出るのも一苦勞。また、県道402号が全然生かされていない。大船～東正院間などに、ほぼ空気輸送である大船39系統を延長すれば良いと思う。
2	湘南鎌倉総合病院正面入口から道路に出てホームセンター入口(院外処方箋店)がある道路に白線の横断歩道を作ってほしい。横切っている人が多いところだ。
3	学童通学歩道が整備されていない。事故を誘発する。(含む自転車)

4	地域住民の交通に支障があるので現在の既存物件の移設が出来ないのはなぜか？
5	交通整備して検討して下さい。
6	交通弱者も増えているので、反対等色々あるかと思いますが、ミニバスの運行をもっと細部に渡るよう努力してください。
7	近年、自転車の流行もあり、景観の良い海岸沿いや鎌倉の観光地を自転車で走る人が多くなったように感じます。駅ではレンタサイクル事業もあり、大変便利だと思うのですが、自動車・自転車・歩行者が入り乱れ、いつ事故が起きてもおかしくないと不安を感じます。それぞれの交通マナーの改善、規制の強化を進めると共に、自転車・歩行者が安心して利用できる道路づくりを進めてほしいと思います。具体的には街路樹や分離帯などを設け、自転車との分離などを図るといいのではないかと思います。
8	駅前(大船駅)の前の新しく出来たロータリーは良いが、タクシーのマナーが悪すぎる。私たち市民はタクシー、バス会社のために、なら、大船を開発する必要はないと思う。スピードは出す、大声をあげて文句を言われる。ぜひ、改善してもらいたい。 私一人だけではなく、周りの住民が思っていると思います。宜しくお願いします。こういうことにお金を使用しないで欲しい。

5-4 「道路整備」

1	道路整備…歩道が無い、歩道があっても狭い、など、もう少し歩道の整備をしてほしい。
3	道路整備に力を入れて欲しい。藤沢市に比べ明らかに道路がデコボコです。道路を部分的に直している所が多いので一車線まとめて修復して欲しい。
4	鎌倉の道路は他の市町村に比べ、ガタガタで自転車に乗っているとそれが良くわかり、歩道もななめのところがあり、歩きにくい。作り方の統一をしてもらいたい。
5	大きな土地持ちの方には、道路拡幅の為に土地を寄付してもらいたい。
6	観光の中心部のみ美化するのではなく、一般で使用する道路等もきれいにしてほしい。北鎌倉から大船方面は雨の日などはとても歩きづらいし、歩道が水路になる為、車道を歩くことになりキケンです！
7	道路整備が悪い。特に商店街、大船東口側の歩行者通路はでこぼこ、足の不自由な高齢の方には歩きにくい。鎌倉市民として観光に来てくださった方々に申し訳なく思ってます。まずは、足元から整備を願いたい。
8	道路、歩道の整備はあまり進んでないように見えるが、予算が足りないからなのか。
9	大船駅西口のデッキの建設など、歩行者に配慮した政策がとられているように窥えます。しかし、高齢者が多い鎌倉市で歩道橋など、昇降の労力を要する施設を整備することには疑問を感じます。むしろ、車両の方に負担がかかるような建設を行い、歩行者の負担を減らす街づくりをしていくべきではないかと思います。
10	下の地図(別紙地図あり、大船駅東口交通広場前付近)で黄色にした道路は歩道がせまく(なく)、子供を歩かせることができません。大船駅へのルートなので、とても不便です。改善をお願いします。
11	鎌倉市の市街地の道路などの整備は他の観光都市に比較して遅れているように思います。神社仏閣間のアクセスとして、未だまだ改善の余地があります。32号線、手広から大仏・長谷に至る道路、特に歩道は狭く世界遺産に申請する都市とは思えない程お粗末な気がします。長谷から鎌倉駅への道路の電柱も景観とはずしたほうがよいと思います。

5-5 「住宅・住環境」

1	安易な宅地開発、建売りが目立ちます。都市の景観・歴史環境・地域安全を目指す市政と実態が合致していない。改善を求めます。
2	分野一覧の3-1～3-3、5-5の施策方針からは逆にほど遠い、絶望に位するところでもあります。地名は湘南深沢駅で、立地条件も、交通も便がいいのですが、住宅環境の面で、JRの社宅(旧国鉄)の住民が出てから約20年近くも廃墟した状態で一向に進まずです。よく、観光に来ている方に問われる事が多々あります。とても虚しく思います。せっかく鎌倉市で施策が出ているにもかかわらず、とても残念です。どうか市の方から、JRさんにお話しして頂くと、どんなに地域が変わるか。未来も何もありません。
3	鎌倉市は観光地ではありますが、実際に住んでいる人も大勢おります。その人たちの住環境を充分に考えたお金の使い方や用途についてももっとも住民の意見を聞き入れ役立てていただきたいと思います。私は今53才ですが、これからどんどん高齢化が進む中、市営住宅の増進を望みます。何度応募しても当たりません。鎌倉に住み続けたいという事に関し役立つ政策に期待しております。

5-6 「下水道・河川」

1	居住地域なので二又川周辺の河川整備改善を希望します。過去2回の腰越支所のしん水などを考え、現在でも市内トップOKでもありますが台風シーズンが毎年来るたびに干潮表と台風ルートをにらみながら常に不安な気持ちになります。個人意見として合流場所を変えることで改良されるのではと思いますが専門家の考えも聞いてみたいです。
---	---

6 活力ある暮らしやすいまち

6-1 「地域情報化」

1	ネット難民を忘れず、市広報誌の充実をお願いします。特に高齢者向けサービスは定期的に分り易く広告して下さい。
---	---

6-2 「産業振興」

1	少子高齢化、経済縮小の中で、財源となるような企業誘致も難しいと思います。
2	歴史景観、商店街等がチェーン店の出店で乱されている。この対策が必要。

6-3 「観光」

1	このウェイトで観光＝鎌倉といえるか？もっと積極的な施策がほしい(世界遺産に向けても…)
2	世界遺産登録にふさわしい鎌倉駅近くの「観光センター」の設置が最優先。(いまのままでは観光客に対するホスピタリティはなし同然)
3	北鎌倉駅にも観光案内所不可欠

6-4 「勤労者福祉」

1	若い人に雇用の場を(正規採用)
---	-----------------

7 計画の推進

7-1 「市民参画・協働の推進」

1	特に、啓発・支援・補助などの事業については、その結果・効果を広報などで公表するように、扶助費の比率が多い事業では、扶助費の使われ方をチェック・公表するように、お願い致します。
2	鎌倉市に住んでいても色々な情報が入ってこない。今、何を取組んでいるのか?どのようなイベント(市)をやっているのか?もっとくわしく誰でもわかるような事を示してほしい。
3	全ての分野に年寄りのボランティアの活用を考えたら良いのにと考えております。

7-2 「コミュニティ活動の活性化」

1	管理費他、地域の振興、コミュニティー等、市民のボランティアを活用出来るのでは？
2	子供や老人(私も)は支えすぎでは甘え体質が増長します。子供は育つ自責を促され(親の責務)、老年のパワーはもっと社会参画に活用されるべきです。コミュニティ活性化の原点でしょう。
3	みどり・生活環境も自治会等を利用して参画出来易い仕組作りを考え、定期的に整備していったらどうか。動ける老人は多い。
4	一般の会社や人々が参加して、収益性を上げる方法もあるのではないかと考えます。
5	地域、コミュニティ(市民参画)の活性化を図る施策が大切だと考えます。市民が自分たちの地域のために何が出来るのか、子育てや防災など地域が中心に取り組むことで市の持っている「力」を市レベルでの取り組みに発揮してほしいと思います。業務委託も少なくない予算を有効に活用するための一手法ではないでしょうか。松尾市長に期待しています。市の職員の方々にも大いに期待しています。市民はみなさんを見ています！

7-2 「コミュニティ活動の活性化」 その他

1	効果的に利用されていないのでは?必要とは思が見直しが必要。
---	-------------------------------

その他意見

1	いつもお世話になっております。今後共市政よろしくお願いいいたします。
2	腰越支所の図書館(3F)へよく行くが、1Fはいつもヒマそうで、職員も多すぎる。(本庁でも人の多さはいつも感じる)全て「税金」である。腰越職員は「半減」で良いといつも痛感する。
3	重複してる事業が多い為、無駄が多い！
4	☆宗教法人これにも税金をかけるべきです。3月11日(昨年)の地震の時も開けてもらえなかった。カトリック教会で、ひと晩野宿しました。パートのわずかの仕事の帰りでした。歴史建物を保存のために全力を上げるより、今生きている人間、弱者に手をさしのべる政策が必要です。
5	今の年金の見なおし(多い人の金額)老人はお金持っている人が多い。
6	松尾市長に期待しています。 住みやすい鎌倉市を作ってください。
7	本人はアルツハイマー認知症のため、入院中です。協力できなくて申し訳ございません。
8	鎌倉市の職員は人数ばかり多く、仕事が遅い。もう少し人数減をし、活気ある市役所になってほしい。
9	市職員の給与大巾削減を望む！
10	政策創造担当、部門があることすら、今まで知らなかったです。
11	推進事業、啓発事業はやめてほしい。
12	職員数が多すぎるし、鎌倉市役所職員の給与が高すぎる。(市議員も)改革はまずそこからです。
13	相互に関連する事業については、細分化した予算の配分とせず、重点項目を見定めて実行すべし。八方美人的な配分をすれば、税金の効果ある使途にならない恐れがある。
14	過日、印鑑登録を行った際、健康保険証を提出した所、運転免許証の様に写真のあるものではないので、認められないとのこと。自宅に申込み書を(税金を使って)郵送するので、それに記入し、再度来る様にとのこと。土日及び早朝、深夜は受け付けないため、結局2日も会社を休むことになった。市役所は車を持っている金持ちだけを優遇し、金のないものには税金から支払われる郵送料を使ったあげく、会社まで休ませ、2度手間を要求してくる。こんな輩が地域の福祉とか高齢者支援とか言っても、とても信用できません。

15	住みやすいと感じる町を望みます。 若い人が、生きているという実感を鎌倉で味わえるようにしてほしい。
16	今年末で深沢の事業計画のため深沢の地を離れることになり鎌倉市から転出予定です。遠く離れた地から鎌倉市政の発展をお祈りいたします。
17	人件費割合でみると、効率が悪いように思える。
18	市役所職員の数が多すぎる。給料が高すぎる。もっとヘラセ。
19	松尾市長はよくやっているといます。今後も頑張って下さい。
20	市がらやなければいけない事業は肅々と行い、不用不急事業はやらなくてよい。
21	鎌倉市は成熟した町と考える。かゆいところに手が届くような事業はもういらぬ。財政キボを小さくし、小さな市役所、必要最小限の人員で最小の事業を行い、最大の効果を期待する。
22	鎌倉市民は他都市と比べて、住民のエゴが強いいため、円滑な行財政の変革が遅れている。市議会議員の定数削減が必要である。
23	市政推進の為に業務委託は必要と思いますが、個々の中身が不明確。委託費用が適正であるか再度よく検証し、予算の有効活用をお願い致します。
24	市役所の人件費がまだまだ高すぎる。国全体の平均位に下げべき。
25	コストの選択で、どの事業に何割の予算を使っているのか必要な項目がある。総額は妥当だが使い方に疑問があるものがある。
26	再生可能エネルギー導入への市の取組みの強化をお願いします。 太陽光発電や小水力発電などの導入促進のための補助金や、公共施設導入などよろしく。 (どの分野に入っているかわかりませんでした。)
27	(市職員の)態度が、人を見下すような人がいました。奉仕の心を持って市民に接してほしい。親切な職員の迷惑でもあるでしょう。
28	色々な物に金をかけるのは良いけれども、市民一人一人が楽しく、ずっと鎌倉に住みたいと思う町作りをしていていただきたい。(むずかしいと思うが)
29	みんないろいろ云いたい事あると思いますが、他の自治体と比較すると鎌倉市はけっこうがんばっていると感じます(妻)
30	・お金をかけず、できる事は一杯あると思う。 —しかもすぐやる！
31	鎌倉市職員及び人件費の削減をお願いしたい。市役所や腰越支所を訪れる機会が多いが、仕事の割りには職員の数が多く目に付く。また、住民票の発行など、簡単な事務作業職はパートタイマーなどに移管できないだろうか。
32	まずは魁より始めよ。市議会議員の人件費と議員定数を削減して欲しい。 1) 鎌倉市の財政規模に比べて、市議会議員が多すぎる。議員定数を削減して欲しい。 2) 鎌倉市議会議員の活動実績は、活動によって得られる効果(貢献)に対する活動による投入費用の面から外部監査委員によるワーキンググループによる検討を行い、検討結果を鎌倉市から公開して欲しい。
33	初めて鎌倉市のアンケートに選ばれ少し困惑しています。質問と答えが似たようになってしまいました。私事ですが、去年の東北地震を見て、聞いて(宮城の石巻に知人がいます)町や村が跡形も無くなり、とても悲惨な光景が今なお覚えています。震災後、至ってもいられず、募金をしました。1年が経ち、少しずつ復興しています。無駄な森林伐採をし、住宅建設をしないで、資源確保をして、将来のために温暖化防止を心がけをお願い致します。
34	町と道路と河川の整備をお願い致します。住み良い町造りと言っても、どこかの財源を削り、無理なく行って下さい。

35	市長の顔が見えてこない。市長はどう考え、何を考え、鎌倉をどういう街にしようとしているのか。
36	市役所へよく行くが、あんなに職員が必要だろうか。民間企業はもっと少人数で効率性を求めて仕事をしている。
37	徹底したムダの削減を望む。 当初の計画から予算を削減し実行する事。ヤレバ、デキル
38	同様な施策を整理し、予算的にも効率化を図る必要があると感じる。施策の効果について、評価を毎年公開する事を希望します。
39	湘南の住みごちはよいので、より大規模な構想が必要。鎌倉市だけの行政では限界あり。藤沢市などと合併し、メリハリのある施策が待たれる。市長の数が減る、議員数の数が減る、市役所の従業員が減るなどの理由で合併しないのは論外。
40	鎌倉大好きです。

アンケートに対する意見

1	実績が示されていない状態でコストがこれだけかかりましたって言われてもどう判断していいのかわからない。アンケートの意味も判らない。
2	大変無駄なアンケートである。それぞれの項目の中味が適切な事業をしているかが問題であり、又、その費用の支払いが一般企業より高いコストを支払っている事が問題である。この調査方法こそ無駄使いである。・こんな無駄な調査に税金を使うな！・質問方法も意味がない。・実行している事業とそのコストを広く公開し、民間とのコストを比較してみる！・こんな仕事よりもっと大切な仕事をして欲しい！
3	この度は一市民の声を届ける機会を頂き誠にありがとうございます。私は、この納得度調査を通し今まで知らなかった行政サービスを知る事ができました。鎌倉市民の多くの方は、鎌倉の歴史と自然を愛していると存じます。行政がそれを守り伝えてくれている事に深く感謝します。しかし私は鎌倉の行政に対し少し疑問を感じます。この納得度調査も回答に苦しむものになっていると存じます。私は全ての回答を「1」「4」としました。関心はあるけど、かけたコストについて他の県や市との比較がないから4. わからないとしか回答できません。せめて全国平均を記していただかないと・・・。またIT化が進むこの時代であるにもかかわらず紙でのやりとり、老人が多い鎌倉だからと思いますが、IT化してコストをさげる部分は他にもたくさんあるのではないのでしょうか？県下1番のボーナスをもらっているのなら、市民に対して県下1の満足度の行政サービスを心より期待します。
4	一応記入しましたが、それぞれの内容や実績、ましてそのコストが適当かどうかほとんどの人が分からないのではないのでしょうか。有効な調査とは思えません。
5	既存の事業内容にあわせて表題があるが、カテゴリーのしかたに無理があります。(例えば吉屋信子記念館は生涯学習に表題があてられていますが、観光・文化にあてられてもおかしくはないと思います。)納得度をもとに「仕わけ」するのでしょうが、単なる「仕わけ」でなく、本人(市長)のビジョンをあきらかにして実行してもらいたいです。とりあえず、信任をえられるわけですから。市民の声に耳を傾けている時間はないよ。
6	コストについての評価基準が理解出来ないのでの的を得た回答か否か自分自身で、良く分からない。
7	鎌倉をどのような街にするのかという基本指針がかかれていないところで個別の予算の多寡を訊かれても答え様に窮するというのが正直なところ。広報活動としては悪くないアンケートだと思いますが...
8	もう少し説明がわかりやすいと(具体的で詳しく)理解しやすいと思う。分からない内容が多かった。
9	P2を補足するグラフが必要。 鎌倉市政のポイント(施策方針)は何か? これに対する現状のコスト配分は妥当かの見解が必要。 分野への関心度は書いてもコスト配分の妥当性についてはわからない場合が多い。
10	取組内容・実績が定性的な項目を並べているだけなので、コストと比べて、どう判断していいかわからない事、感覚(身近な)だけでの評価としました。 鎌倉市政として、日本全国の地域と比べると、何が一番誇れる所なのですか?特徴がよくわからない。

11	アンケートの資料をもう少し増やすとよいかと思います。「現在の予算ではできなかったこと」なども付け足して下さると予算判断の良い材料になると思います。あと、納得度調査一覧の表にグラフを付けて頂けるとより回答しやすいです。
12	分野別のバランスとしての納得度は評価するものの、施策の達成についての納得度(評価)ではない。
13	この調査は何で一人当りを計算しているのか。
14	費用対効果はそれぞれのカテゴリーで見せてもらわないと評価はできない。
15	調査のコストだけがかかって意味が無いと思います。民間ではありえない調査内容だと思います。
16	金額を書かれても、それでコストが適正かどうか判断できない。もっと具体的に何に使ったか書くべきだ。
17	具体的目標と予定コスト、及び目標達成率等の情報が無ければ、取組内容や実績に問題がある物を除き、判断しかねる。
18	分野区分けが判り難く、やっていることに重複があるように見える。重複あるところには必ずムダがあるはずで、効率の悪い運営につながる。 ⇒重複がないことを納得できるような資料形態にし、それに基づいてアンケートを行うべきであろう。
19	訳の分からん項目だらけですな。地域の限られた人が集まったり使ったりする少数派利用費があるのでは?まさかお茶代とかがけっこう出ているのでは?年寄りが金持ってて更に国・町にたかっている話もあるしね。
20	コストをかけている割には効果が実感出来ず、すべてムダに感じる。
21	かぎられた予算の中でどの分野にふり分けたらよりよい市民生活が送れるのかという、難しい選択をせまられることで、どうしてもただバランスだけで使えばよいという結果をとってしまうのはどうかと思う。鎌倉らしい、鎌倉ならではの分野には思いきった予算をつぎこむという考えも一理あると思う。私が「興味はある」と選択して「使いすぎ」と選択した項目は少しでも特化した分野にまわせればと思う。選択であり予算さえあればその分野にも十分に当てればよいとは思ふ。又、分野的に重なっていると思うところもあるので一緒にして予算を多くあてればよいなと思うところもあった。
22	コストについてどう思うかとの質問があるが、鎌倉市の財政規模からしてどうかとの判断で記載したが、本当の意味で記載するならばしっかりと強化すべき事業の順位付けをした上で判断すべきと思うが、その順位をどうしたらいいかわからないのもっとこの事業にはお金を掛けても良いのでは、あるいはあまりにも少ないのではと感ぜられたものは足りないとか、ちょうど良いとかにしたがそれ以外は分からないと記載した。関心のある度合いによってコストの大小がきまってくるのはさけられない。 ※こういう調査を数多く実施することで市民の思いを把握できるので今後とも続けて欲しいし、続けるべきと思う。ご苦労さま。
23	大変難しいアンケート調査です。関心の有無は回答できるが、コスト評価を一般市民に聞いてもムリがある。最初に一覧要事を指示しているからわかるという企画者の思いこみは回答者に失礼である。納得度調査と銘うっているが、こういった課題をこのような質問で一般市民に回答させ、一般市民の声を反映したというのは、市及び市担当者の責任逃れのように思う。集計すれば結果は出ようが、そんな数字に基づいて市政がなされるのは信用を置けなくなる。アンケート調査の限界をよく勉強して欲しい。このような評価はやはり座談会形式(定性調査)でとるべきだ。
24	いきなりこの資料を見せられてもわかりません。
25	人間として、国民として、関心を持たなければいけない事柄と市民のレベルで考えるのとでは、異なる意見となる項目が多分にあると思う。今回の調査は市のものなので、その関連で意見を託した。予算についても市の独自色が出ているのかどうかは正直なところよく判らない。
26	コストが比較したり、判断したりする材料が少なく、使いすぎか、足りないかわかりません。全国平均や他市の状況をのせてほしいです。一般の市民には市の政策全体を把握したり、理解したりするのは難しいです。アンケートの内容はとても難しかったです。アンケートの趣旨はよくわかるので、もっと答えやすい内容や質問だと市民の考えがよくわかるのではないのでしょうか。

27	<p>こんなものわかるわけがないです。 33分野に分かれています、その中の1つ1つの事業のどれが大事なのかも理解できないですし、いらぬもの、力をそそがなくてもいいもの、まず何を先に進めればよいのか。すべていい所どりで。 人が多くなれば犯罪も増える。コストもかかる。 しかも1人1人意見を聞いてのアンケートだと思うのですが、1つ1つの分野に1人1人の感じ方で意見が変わってくると思いますが。ただ紙きれで集計してもこれがどうかされるのか疑問です。間違った方向にいくのではと誤ってしまいます。</p>
28	<p>このようなアンケートは素晴らしいと思います。</p>
29	<p>このアンケート自体は非常に評価されるべき取組。 各施策の取組内容はわかるが、結果として何がどうよくなったかが全くわからない。もう少し方針を具体的に示して、定量的な指標と目標値を定めてその結果で表して欲しい。(取組を羅列されてもわからない。意味がない。) また、このアンケートの結果を公表してほしい。→ホームページで行なわれると書いてありました。失礼しました。</p>
30	<p>答えようがない調査である。市民のニーズ要望と、実行との差異の情報を提供してくれないと、判断できない。この調査にかかる経費が全てムダに見える。全国平均、年齢構成、希望者の数と処理能力などを比較して判断すべきもの。</p>
31	<p>各分野の使途金額バランスが悪いと感じる。</p>
32	<p>(例)4-3生涯学習の主な事業の中には、2-2と重複するようなものもあり、理解出来ない。</p>
33	<p>①総合計画は“絵に書いたモチ”ではないか？市長のマニフェストとの整合性は。(市長がかわったらどうなる。財政的な裏付けは？)</p>
34	<p>②質問の中でコストはどうか答えるが経年変化や必要性などがわからない。1人当たり173千円程度の中で総合計画の中で行う。妥当か否は行政にたずさわった人間でもわかる人は少ないと思う。</p>
35	<p>アンケート調査をする事は良いと思いますが集計結果が市のホームページに公表すると記していますがインターネットを持って居ない人に対してはどの様に対応致しますか？インターネットを設置していない人に対してのフォローはどの様に発表するのでしょうか。もしネットを通じてでなければ結果がわからない人にとってはこの2000人の選ばれた人の中に何人居るのでしょうか？このアンケートの前文にその有無の問いが無いのは残念です。何の為に費用を用いてこのアンケートを行ったのでしょうか。市民全員がインターネットを用意していれば良いのですが…。結果はアンケート送付者に結果を知らせて欲しいと思います。義務的に行っただけ、あとはインターネットでよろしくでは意味が無く担当者の自己満足ではいかげなものか、お考え下さい。 非常に良い経験と勉強になりました。ありがとうございました。</p>
36	<p>モデル都市となる2,3の参考資料が添付されていけば解りやすいと思う。市政の知識の問題に詳しくない者に、いきなりの質問はどうか？</p>
37	<p>調査票に記載されている内容だけの情報では、適切な回答が得られるか疑問に感じます。特に分野別のコストについては、判断できる情報が少ないのではと思います。 ・主な取組内容・実態は示されていますが、項目だけではコストの関連が不明です。 ・コスト統計、職員数には注記が示されていますが、市全体から見た比率などが不明。 ・コストの絶対値も必要と思いますが、比較的規模に近い自治体の事例との比較を示せませんか。(市民一人当たりコスト、コスト総計比率など)</p>
38	<p>本調査は毎年行っているのですか。実績があるとすれば、その結果が市政にどのように反映されているのか(反映できるのか)興味があります。 大変申し訳ないのですが、私はこの「納得度調査」について理解できませんので、白紙のままお返しさせていただきますことをお許しください。 なお、ひといいわせていただければ、この調査は、「市民の直感度調査」と言えそうです。それでも良いのかも知れませんが、費用対効果が課題になると思います。 「鎌倉市の総合計画」や「市政運営の現状」などについて、アンケートを行ってみるというのはどうでしょう？！</p>
39	<p>各質問項目ある／なしで答えましたが、施策の中味・質の問題もあります。普段無関心な市民も多いので、どのように関心を持たせるかが課題であります。</p>
40	<p>考え方の相違があらうかと思いますが記入に際しての時間が少ない。(郵送されてから返信まで)</p>

41	<p>資料不足と考えられる。</p> <p>1.比較対象するものが無い(判断基準の不足) 例えば個人納税(市民税)の額(平均、全国、年齢)、市の総収入(平均、全国、市民一人当たり)、調査項目毎の(平均、全国、収入当たり割合)、職員の員数、給与(平均、全国)</p> <p>2.施策の評価 目標と考え方がわからない!(調査票の中では) ◎よって記入を控えさせていただきました。</p>
42	<p>各事業の詳細が明確ではないので、使用されている予算の適正さが判断できません。なんとなくの感覚で評価しましたが、これをもって何かの判断材料にするとしたら、大まかすぎると思います。</p>
43	<p>本来的にはどの事業についても予算は多めに越したことはありません。使用実態を明確にして、無駄があるかないかの判断のほうが建設的だと思います。このアンケートの結果をもって事業の縮小、廃止に向かうのは間違っていると思いますので、アンケート結果の使用には十分に留意いただくよう、お願いいたします。</p>
44	<p>アンケートネットにしたら?集計する人の日当は?</p>
45	<p>コストについて、費用対効果がわかりにくい。</p>
46	<p>正直、一般市民にこんなに細分化された項目の予算計上の正当化を確認させるのは無理がある。もっと大きなレベル(方針)を問うてはどうか?鎌倉市民なのだから、歴史、観光、自然にどれだけ注力し、そのために何を効率化(低コストする分野)するか、そういう方針を問うて欲しい。あとの細かな予算実行は、役所、行政が第一線で責任を持ってやるべき。</p>
47	<p>こういう調査の対象になっている、各分野のコストをもう少し市民に広く分り易く公開して欲しいものです。</p>
48	<p>分野単位下では評価しづらいが、市役所、清掃センター等で、コストとサービスの釣り合いが取れていないのではと思うことが度々ある。コストパフォーマンスをきちんと見た経費の使い方をお願いしたい。</p>
49	<p>1-1(平和と人権)-2(男女共同参画)-3(多文化共生)7-1(市民参画協働)は、一部のサヨク活動家に利する偽善的なものであってはならない。</p>
50	<p>芸術、文化、スポーツの振興にバランスが欲しいと思います。</p>
51	<p>分野の区分けがわかり難いと思います。例えば2-1~3-2は何を基準に分かれているのかわかりにくいです。また、それぞれの事業の詳しい内容と効果がわかると判断しやすいと思います。正直言って回答するのが難しいです。</p>
52	<p>行政コストや税金の使いみちに漠然と興味はあったが、このアンケートを通じて、より具体的に状況を知る事ができ、良い機会となった。ただ、コストが妥当であるかについては、判断基準(比較するもの)がないのでほとんどは「わからない」とした。</p>
53	<p>判断の基準欄の予算額を足しても総額の10%にもならない。ベスト5くらいは、記載して欲しい定期的にかかっている費用が多いということは、これをどう圧縮していくかが、ポイント。</p>
54	<p>施策の効果、示されていないので、判断できないはずなのに、コスト面だけから回答して、この調査にどれだけの意味があるのか疑問。 例えば、車で巡回による子ども見守りパトロールの是非についてなど具体的にきくべきではないか。もっと質問を具体的に示して、施策の必要性、問題点、効果、費用などを明示すべきではないか。</p>

平成23年度 納得度調査へのご協力をお願い

日ごろより、鎌倉市政にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、このたび鎌倉市では納得度調査として、市民の皆様から納税者の視点で施策を評価していただくための調査を行うことにいたしました。

今回の調査票は、本市に在住の18歳以上の方、2,000人を無作為に選ばせていただき、送付いたしました。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査結果は統計資料としてのみ使用いたします。また、本調査の集計結果は本市ホームページで公表することを申し添えます。

平成24年3月

鎌倉市長 松尾 崇

●ご記入にあたって

- ① あなた自身のことについては当てはまる番号を○印で囲んでください。
以降の調査は回答欄に当てはまる番号をご記入ください。
- ② ご記入いただいた調査は同封の返信用封筒(切手は不要です。無記名で投函してください。)に入れて、平成24年3月27日(火)までに投函してください。
- ③ この調査についてご不明な点やご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

<問い合わせ先>

鎌倉市政策創造担当

電話 : 0467-23-3000(代表) 内線2792、2793

FAX : 0467-23-8700

E-mail : souzo@city.kamakura.kanagawa.jp

●あなた自身のことについて

- ① あなたの性別についてお聞かせください。

1 男	2 女
-----	-----

- ② あなたの年齢についてお聞かせください。

1 18～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳
5 50～59歳	6 60～64歳	7 65～69歳	8 70歳以上

- ③ あなたの家族構成についてお聞かせください。

1 単身(一人暮らし) 2 夫婦のみ(あなたと配偶者のみ) 3 親と子の世帯(子の年齢に当てはまるアルファベットを○印で囲んでください。複数回答可) a 5歳以下 b 6歳以上18歳以下 c 19歳以上 4 三世代世帯 5 その他(具体的に)

- ④ あなたのお住まいの地域についてお聞かせください。

1 鎌倉地域	2 腰越地域	3 深沢地域	4 大船地域	5 玉縄地域
--------	--------	--------	--------	--------

納得度調査 分野一覧

分野 No.	分野名称	平成22年度					前年比
		総額	うち国県補助	コスト 構成比	市民一人当たり	職員数 (※1)	
1-1	平和・人権	3160万円	35万円	0.10%	178円	3.2人	94.47%
1-2	男女共同参画社会	2322万円	0万円	0.08%	131円	2.1人	98.39%
1-3	多文化共生社会	959万円	0万円	0.03%	54円	1.0人	69.76%
2-1	歴史環境	5億7239万円	2億5646万円	1.86%	3,231円	15.2人	85.22%
2-2	文化	5億5011万円	0万円	1.79%	3,105円	5.9人	63.51%
3-1	みどり	21億7625万円	3億9436万円	7.07%	12,284円	21.0人	100.61%
3-2	都市景観	1億4652万円	16万円	0.48%	827円	14.0人	92.00%
3-3	生活環境 廃棄物発生抑制・資源循環・廃棄物処理	13億5136万円	45万円	4.39%	7,628円	16.3人	104.23%
3-3	生活環境 生活環境の保全	2億 349万円	37万円	0.66%	1,149円	13.0人	93.93%
4-1	健康福祉 高齢者支援	5億3577万円	2242万円	1.74%	3,024円	29.0人	95.92%
4-1	健康福祉 障害者支援	4億1312万円	2億1240万円	1.34%	2,332円	11.0人	90.93%
4-1	健康福祉 健康	13億2415万円	8829万円	4.30%	7,474円	30.0人	98.05%
4-1	健康福祉 子育て支援	24億8735万円	3億4077万円	8.09%	14,040円	143.3人	101.65%
4-2	学校教育	34億3478万円	5億2226万円	11.16%	19,388円	41.0人	138.82%
4-3	生涯学習	7億1914万円	51万円	2.34%	4,059円	36.8人	90.16%
4-4	青少年育成	3億3568万円	4246万円	1.09%	1,895円	5.7人	108.24%
4-5	スポーツ・レクリエーション	3億2360万円	925万円	1.05%	1,827円	7.0人	87.55%
5-1	地域安全 消防	25億4177万円	5928万円	8.26%	14,347円	213.0人	106.32%
5-1	地域安全 交通安全	1億1297万円	50万円	0.37%	638円	5.4人	66.24%
5-1	地域安全 安全安心まちづくり	3億5559万円	2316万円	1.16%	2,007円	10.0人	80.28%
5-2	市街地整備	42億5365万円	7791万円	13.83%	24,010円	44.2人	307.10%
5-3	総合交通	8761万円	833万円	0.28%	495円	7.2人	107.30%
5-4	道路整備	11億5467万円	1億7351万円	3.75%	6,518円	29.7人	139.84%
5-5	住宅・住環境	4億9724万円	1551万円	1.62%	2,807円	32.0人	106.27%
5-6	下水道・河川	44億1148万円	10億4709万円	14.34%	24,901円	86.4人	109.20%
6-1	地域情報化	5億1129万円	0万円	1.66%	2,886円	11.0人	97.85%
6-2	産業振興	10億9794万円	1億9855万円	3.57%	6,197円	11.0人	108.66%
6-3	観光	2億5959万円	2686万円	0.84%	1,465円	5.0人	117.18%
6-4	勤労者福祉	1億6540万円	860万円	0.54%	934円	3.0人	49.39%
6-5	消費生活	4205万円	302万円	0.14%	237円	3.3人	98.76%
7-1	市民参画・協働の推進	2億2610万円	0万円	0.73%	1,276円	14.6人	97.63%
7-2	コミュニティ活動の活性化	3億9817万円	0万円	1.29%	2,247円	28.3人	86.38%
7-3	地域福祉の推進	1128万円	0万円	0.04%	64円	0.7人	92.44%
総計		307億6490万円	35億3283万円	100.00%	177,161人		117.03%

(※1)職員数：調査対象分野の事業に従事した職員の人数です。

●調査票の各項目の説明

調査対象

第3次鎌倉市総合計画 第2期基本計画の分野を対象としています。但し、分野に含まれる内容や対象が多岐にわたる場合には、分割して調査対象としています。また、義務的な支出に係る経費や市の裁量の余地が少ないなどの事業については、今回の調査対象から除外しています。(例:国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、繰出金、支払利子、扶助費※など) ※社会保障制度の一環として、国や地方公共団体が行う支援に要する経費の

コスト

◆総額

平成22年度決算値とし、人件費は職員平均給与から算出して合算しています。具体的には、分野に含まれる中事業の総事業費の合計としています。

◆コスト構成比

当該分野コスト総額の本調査対象全分野コスト総額に対する比を示しています。

◆前年比

同分野コストの平成21年度コスト実績に対する比です。

◆市民一人当たり

コスト総額を鎌倉市総人口(177,161人:平成22年4月1日時点住基人口)で割ったものです。

主な事業

この分野に含まれる事業です。

主な取組内容・実績

この分野に含まれる事業の主な取組の内容と実績について記載しています。

特記事項・判断の基準

この分野の取組のうち、主に金額の大きい事業や取組、またコストの考え方などについて特記事項を示し、判断の基準になるような情報を記載しています。

1-1 ～平和を希求し、人権や国籍、性、出身、障害、年齢などによる差別のないまち

平和・人権

コスト

◆総額	3160万円	◆コスト構成比	0.10%
(うち国県補助)	35万円	◆前年比	94.47%
		◆市民一人当たり	178円

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

施策の方針

●平和を希求し、人権を尊重します
一人ひとりの基本的人権を尊重し、人種・国籍・性・出身・障害などによる差別を受けることなく、平和を希求し、だれもが人間として尊重されるまちにします。

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

主な事業

平和推進事業／人権啓発事業／人権施策推進事業

特記事項・判断の基準

平和推進事業(講演会やコンサートなどの企画実施):約1200万円／人権啓発事業(印刷物の発行、講演会の参加等):約1100万円 など

主な取組内容・実績

講演会やコンサートなど平和推進事業の企画・実施／講演会の企画・開催、街頭活動の実施／人権関連団体の支援・協働 など

1-2 ～男性と女性が家庭、職場、社会などで互いに協力しながら、同等に参画できるまち

男女共同参画社会

コスト

◆総額	2322万円	◆コスト構成比	0.08%
(うち国県補助)	0万円	◆前年比	98.39%
		◆市民一人当たり	131円

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

施策の方針

●男女共同参画社会の実現をめざします
男女が互いの人権と個性を尊重し、自立・平等・連帯を重んじて、ともに社会のあらゆる分野に参画し、人間らしく伸びやかに生きていくことができる男女共同参画社会の実現をめざします。

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

主な事業

男女共同参画プラン推進事業

特記事項・判断の基準

男女共同参画プラン推進事業(女性相談事業等):約2100万円 など

主な取組内容・実績

男女共同参画フォーラム等開催、情報誌パスポートの発行/女性相談業務の運営 など

1-3 ～行政レベル、市民レベルともに世界に開かれたまち

多文化共生社会

コスト

◆総額	959万円	◆コスト構成比	0.03%
(うち国県補助)	0万円	◆前年比	69.76%
		◆市民一人当たり	54円

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

施策の方針

●世界に開かれたまちをめざします
世界各都市との交流をとおして地域レベルでの国際理解を深め、市民主体の幅広い国際交流・協力活動を支援するとともに、国籍の違いを越えて、だれもがともに仲良く暮らせるまちをめざします。

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

主な事業

国際交流推進事業/都市提携事業

特記事項・判断の基準

国際交流推進事業(国際交流・協力事業支援等):約470万円/都市提携事業(都市間交流等):約490万円 など

主な取組内容・実績

親善友好バッジなどの交付や情報提供により市民レベルで行われる国際交流・協力事業の支援/姉妹都市などの提携都市を親善訪問する市民に対する奨励金の交付や、教育・文化交流等の促進など都市間交流事業の実施など

2-1 ～豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまち

歴史環境

コスト

◆総額	5億7239万円	◆コスト構成比	1.86%
(うち国県補助)	2億5646万円	◆前年比	85.22%
		◆市民一人当たり	3,231円

施策の方針

●歴史環境を保全します
先人から営々と築かれてきた、世界に誇る貴重な歴史的遺産を保存・活用し、後世に伝えるとともに、日々の生活のなかに息づいている暮らしの文化の保存・継承に努めます。

主な事業

市史編纂事業／調査・整備事業／史跡買収事業／文化財保存・修理助成事業／公開宣伝事業／永福寺跡環境整備事業／国指定史跡環境整備事業／博物館整備事業／世界遺産条約登録事業

主な取組内容・実績

市史編纂さんに向けた歴史的資料の整理・保存及び散逸防止の実施／文化財の指定、指定文化財所有者への奨励金の交付／埋蔵文化財の記録保存、出土品の整理・管理・保管／永福寺跡及び鶴岡八幡宮境内の史跡買収／指定文化財等の保存管理と活用のための費用補助／永福寺跡の環境整備／(仮称)鎌倉博物館の検討／世界遺産登録に向けた国際専門家会議の開催・推薦書作成等の取組の推進 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

調査整備事業(発掘調査等):約1億2000万円／史跡買収事業(史跡永福寺跡及び史跡鶴岡八幡宮境内等):約2億5000万円／世界遺産条約登録事業(神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会負担金等):約9300万円など

2-2 ～文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信を行っているまち

文化

コスト

◆総額	5億5011万円	◆コスト構成比	1.79%
(うち国県補助)	0万円	◆前年比	63.51%
		◆市民一人当たり	3,105円

施策の方針

●新たな文化を創造・発信します
鎌倉のもつ歴史や文化、さらには、豊かな人材を生かしながら、人の心を豊かにし、まちにゆとりとうるおいを与える文化を創造し、発信するまちをめざします。

主な事業

文化行政推進事業／川喜多映画記念館管理運営事業／旧和辻邸管理運営事業／鎌倉芸術館管理運営事業／鎌倉清方記念美術館管理運営事業／文学館管理運営事業／文化・教養施設管理事業

主な取組内容・実績

市民文化祭、Jazz in鎌倉の開催／川喜多映画記念館指定管理料／鎌倉芸術館指定管理料、舞台装置等修繕料、用地賃借料／鎌倉清方記念美術館指定管理料／文学館指定管理料 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

鎌倉芸術館管理運営事業(指定管理料等):約3億4000万円 など

3-1 ～豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

みどり

コスト

◆総額	21億7625万円	◆コスト構成比	7.07%
(うち国県補助)	3億9436万円	◆前年比	100.61%
		◆市民一人当たり	12,284円

施策の方針

●みどりの保全・創造・活用を図ります
市民・滞在者・事業者などの参加・協力のもと、自然環境を基本にしたみどりのネットワークを広げ、地域の特性を生かしながらうるおいとやすらぎのあるまちをめざします。

主な事業

緑政運営事業／緑化啓発事業／緑地保全事業／風致保存会助成事業／緑地維持管理事業／街路樹維持管理事業／樹林維持管理事業／海浜保全事業／公園運営事業／公園維持管理事業／公園整備事業

主な取組内容・実績

緑の基本計画の見直し、進行管理／鎌倉近郊緑地特別保全地区の指定／常盤山特別緑地保全地区の指定拡大／特別緑地保全地区等の行為制限／確保緑地の適正整備事業、樹林管理事業の実施／保存樹林、樹木、生け垣の指定に伴う奨励金の交付／緑地保全契約の締結に伴う奨励金の交付／市民緑地契約の締結／緑化地域(候補地約1,430ha)の指定に向けた基礎調査／梶原六本松公園の供用開始／鎌倉広町緑地、鎌倉中央公園拡大区域(台峯)、山ノ内西瓜ヶ谷緑地、岩瀬下関防災公園の整備／緑地寄附の受入れ／公園、緑地の維持管理／開発事業区域内の緑化指導／まち並みのみどりの奨励事業／緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業／「鎌倉市緑化まつり」の開催／ポスターコンクールの実施／風致保存会の運営に対する助成／緑地保全基金への募金、寄附の受納 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

緑政運営事業(緑の基本計画改訂等): 約3900万円／緑地保全事業(保存樹林奨励金等): 約7100万円／公園維持管理事業(指定管理料等): 約3億2000万円／公園整備事業(緑地用地取得等): 約14億円 など

3-2 ～歴史・文化・みどりにより風格ある都市景観が醸成されたまち

都市景観

コスト

◆総額	1億4652万円	◆コスト構成比	0.48%
(うち国県補助)	16万円	◆前年比	92.00%
		◆市民一人当たり	827円

施策の方針

●鎌倉らしい都市景観をつくりだします
地域の個性を尊重した都市景観を守り、育て、つくることにより、快適で、魅力的、鎌倉らしい都市空間の創造を進めます。

主な事業

旧華頂宮邸管理運営事業／都市景観形成事業／風致地区事務

主な取組内容・実績

旧華頂宮邸庭園公開、土地賃借料／古都としての都市景観調査及び助成／風致地区内行為許可事務 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

都市景観形成事業(都市景観形成推進のための調査・助成): 約7200万円 など

生活環境 廃棄物発生抑制・資源循環・廃棄物処理

コスト

◆総額	13億5136万円	◆コスト構成比	4.39%
(うち国県補助)	45万円	◆前年比	104.23%
		◆市民一人当たり	7,628円

施策の方針

●省資源・循環型社会をめざします
 良好な生活環境の確保、美しい海岸、古都の風情の保全のため、市民・滞在者・事業者・行政が一体となって省資源・リサイクルを進め、循環型社会をめざします。

主な事業

清掃一般運営事業／分別収集運営事業／植木剪定材堆肥化事業／減量化資源化運営事業／し尿収集事業／最終処分事業／処理施設整備事業／バイオマスエネルギー回収施設整備事業／名越グリーンセンター処理事業

主な取組内容・実績

一般廃棄物処理基本計画基礎調査／収集処理事業(紙類等資源物処理委託、容器包装プラスチック中間処理委託、不燃ごみ資源化処理委託、カン・ビン収集委託等)／植木剪定材堆肥化業務委託／生ごみ処理機購入費補助金の交付／し尿収集運搬業務委託／焼却残渣溶融固化処理業務委託／名越・今泉両グリーンセンター周辺環境調査業務委託／山崎バイオマスエネルギー回収施設建設に伴う生活環境影響調査業務委託／名越グリーンセンター長寿命化調査・計画策定業務委託 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

分別収集運営事業(資源物処理、収集運搬、資源化処理、中間処理等):約7億3000万円／最終処分事業(焼却残渣資源化):約2億7000万円 など

生活環境 生活環境の保全

コスト

◆総額	2億 349万円	◆コスト構成比	0.66%
(うち国県補助)	37万円	◆前年比	93.93%
		◆市民一人当たり	1,149円

施策の方針

●省資源・循環型社会をめざします
 良好な生活環境の確保、美しい海岸、古都の風情の保全のため、市民・滞在者・事業者・行政が一体となって省資源・リサイクルを進め、循環型社会をめざします。

主な事業

環境美化事業／公衆トイレ清掃事業／美化運動事業／衛生・害虫駆除事業／犬の登録等事業／環境保全事業

主な取組内容・実績

(財)かながわ海岸美化財団清掃事業費負担／公衆トイレ清掃業務委託／路上喫煙防止対策、まち美化キャンペーン実施／河川・排水路等の消毒、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除／犬の登録・注射促進協力等業務委託／猫の不妊去勢手術補助金／自動車排出ガス等環境調査業務委託、深夜花火巡回整備業務委託 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

環境美化事業(海岸美化、観光ごみ回収等):約3,700万円／公衆トイレ清掃事業(業務委託料等):約5300万円／環境保全事業(分析委託事業、深夜花火の巡回警備等):約3300万円 など

4-1 ~すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

健康福祉 高齢者支援

コスト

◆総額	5億3577万円	◆コスト構成比	1.74%
(うち国県補助)	2242万円	◆前年比	95.92%
		◆市民一人当たり	3,024円

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

施策の方針

●健康で生きがいにみちた福祉のまちをめざします
 すべての市民は社会の一員として尊重され、生涯にわたり、健やかで安心して生活が送れるよう望んでいます。このため、健康福祉の環境づくりを進め、誰もが生きがいを持ち、ともに支えあい、心ふれあう豊かな地域社会をつくりだしていきます。

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

主な事業

高齢者施設福祉事業／高齢者在宅福祉事業／高齢者生活支援事業／高齢者活動運営事業／社会参加・生きがい対策事業／シルバー人材センター支援事業／在宅福祉サービスセンター管理運営事業／老人センター等管理運営事業／高齢者施設整備事業

特記事項・判断の基準

事業費のうち扶助費は、市の裁量の余地の少ない経費であることからコスト総額に計上していません。(参考:扶助費を含めた総額は、約5億8000万円です。)

主な取組内容・実績

介護老人ホーム等への施設入所措置／緊急通報装置の貸出し／配食サービス／紙おむつの支給／入浴助成券の交付／生きがいづくり支援のためのデイ銭湯やいきいきサークル事業等／高齢者割引乗車証等購入費助成／特別介護老人ホームの整備費用の助成／グループホームへのスプリンクラーの整備費用助成／シルバー人材センター運営費に対する補助金／老人センター等指定管理料 など

※コスト総額は、健康福祉分野のうち高齢者いきいき課所管の一般会計中事業の平成22年度総事業費合計額（扶助費を除く）です。

4-1 ~すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

健康福祉 障害者支援

コスト

◆総額	4億1312万円	◆コスト構成比	1.34%
(うち国県補助)	2億1240万円	◆前年比	90.93%
		◆市民一人当たり	2,332円

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

施策の方針

●健康で生きがいにみちた福祉のまちをめざします
 すべての市民は社会の一員として尊重され、生涯にわたり、健やかで安心して生活が送れるよう望んでいます。このため、健康福祉の環境づくりを進め、誰もが生きがいを持ち、ともに支えあい、心ふれあう豊かな地域社会をつくりだしていきます。

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

主な事業

障害者福祉運営事業／障害者施設福祉事業／障害者在宅福祉事業／障害者社会参加促進事業／障害者就労支援事業／はまなみ運営事業

特記事項・判断の基準

事業費のうち扶助費は、市の裁量の余地の少ない経費であることからコスト総額に計上していません。(参考:扶助費を含めた総額は、約21億9000万円です。)

主な取組内容・実績

施設等通所交通費助成費、特別障害者手当等、福祉手当等の支給／施設入所・通所している障害者への介護給付費の支給／補装具・日常生活用具の給付／在宅の重度障害者に対する福祉タクシー券・福祉自動車燃料費助成券等の交付／在宅の障害者を雇用する事業主への雇用奨励金／就労支援のための訓練等給付費 など

※コスト総額は、健康福祉分野のうち障害者福祉課所管の平成22年度中事業総事業費の合計額（扶助費を除く）です。

4-1 ～すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

健康福祉 健康

コスト

◆総額	13億2415万円	◆コスト構成比	4.30%
(うち国県補助)	8829万円	◆前年比	98.05%
		◆市民一人当たり	7,474円

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

施策の方針

●健康で生きがいにみちた福祉のまちをめざします
 すべての市民は社会の一員として尊重され、生涯にわたり、健やかで安心して生活が送れるよう望んでいます。このため、健康福祉の環境づくりを進め、誰もが生きがいをもち、ともに支えあい、心ふれあう豊かな地域社会をつくりだしていきます。

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

主な事業

保健衛生運営事業／救急医療対策事業／予防接種事業／感染症対策事業／成人保健事業／母子保健事業／老人保健事業／結核検診事業／成人健康診査事業／がん検診事業／健康情報システム構築・運用事業／地域健康づくり事業／食育事業／保健医療福祉センター事業

特記事項・判断の基準

予防接種事業：約2億9000万円／母子保健事業(妊産婦検診等)：約2億1000万円など

主な取組内容・実績

産科診療所運営補助金／休日夜間急患診療所・二次救急医療確保対策・休日急患歯科診療所業務委託／予防接種ワクチン等医薬材料費／予防接種等委託／妊産婦・乳児・幼児検診委託／後期高齢者検診委託、生活機能評価委託／結核検診委託／キット・肝炎・歯周疾患検診委託／がん検診委託／健康情報システム構築・運用による市民の健康診査のデータ管理／食育健康づくり意識調査委託 など

※コスト総額は、健康福祉分野のうち市民健康課所管の平成22年度中事業総事業費の合計額です。

4-1 ～すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

健康福祉 子育て支援

コスト

◆総額	24億8735万円	◆コスト構成比	8.09%
(うち国県補助)	3億4077万円	◆前年比	101.65%
		◆市民一人当たり	14,040円

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

施策の方針

●健康で生きがいにみちた福祉のまちをめざします
 すべての市民は社会の一員として尊重され、生涯にわたり、健やかで安心して生活が送れるよう望んでいます。このため、健康福祉の環境づくりを進め、誰もが生きがいをもち、ともに支えあい、心ふれあう豊かな地域社会をつくりだしていきます。

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

主な事業

児童福祉運営事業／子育て支援事業／次世代育成支援対策推進事業／就園支援事業／あおぞら園管理運営事業／私立保育所助成事業／私立保育所等入所事業／分園運営事業／認可外保育施設助成事業／育児支援事業／育児家庭支援事業／入院助産等事業／母子生活支援事業／子ども手当支給事業／発達支援事業／障害者施設管理運営事業／障害者在宅福祉事業／公立保育所管理運営事業／児童手当支給事業

特記事項・判断の基準

事業費のうち扶助費は、市の裁量の余地の少ない経費であることからコスト総額に計上していません。(参考:扶助費を含めた総額は、約68億2000万円です。)

主な取組内容・実績

こどもと家庭の相談室を運営／子育て支援コンシェルジュの配置、一日冒険遊び場講座・イベント開催、つどいの広場事業／次世代育成支援対策協議会運営／私立幼稚園等就園奨励、私立幼稚園教材教具購入費等及び健康診断費補助金／知的障害児に基本的な生活習慣・社会性の発達を援助、通園バス運行委託／私立保育所の整備費に対し安心こども交付金、運営費に対し民間保育所運営費補助金を交付／私立保育園運営扶助費執行／私立保育所分園運営／認定保育施設乳幼児保育助成・運営改善費補助／子育て支援センター運営、アドバイザーによる子育て情報提供・育児相談対応／ファミリーサポートセンター運営委託／ひとり親家庭の生活支援／児童扶養手当法に基づく手当支給／子ども手当システム開発業務委託／障害児放課後・余暇支援事業委託・補助金交付／特別な支援を必要とする児者の相談・支援／日常生活用具給付、居宅介護支援給付など

※コスト総額は、健康福祉分野のうちこどもみらい部所管の平成22年度中事業総事業費の合計額(扶助費を除く)です。

4-2 ～子どもたちの豊かな人間性や生きる力をはぐくめる教育が実現しているまち

学校教育

コスト

◆総額	34億3478万円	◆コスト構成比	11.16%
(うち国県補助)	5億2226万円	◆前年比	138.82%
		◆市民一人当たり	19,388円

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

施策の方針

●豊かな心をもった人間を育てます
 児童・生徒一人ひとりの個性を生かし、自ら学ぶ意欲や社会の変化に主体的に対応するために必要な基礎的・基本的な能力を育み、健康で豊かな心をもった人間の育成をめざすとともに、地域に開かれた学校づくりを進めます。

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

主な事業

小・中学校施設管理運営事業／小・中学校特別支援教育事業／学校施設管理事業／小・中学校施設整備事業／小・中学校防災対策事業／教職員運営事業／保健事務／就学事務／保険事務／給食事務／小・中学校教育振興助成事業／教育指導事業／情報教育事業／教育支援事業／小・中学校教育課題対応事業／相談室事業／調査研究研修事業／教育情報事業／教育委員会運営事業／事務局運営事業／小・中学校運営事業
 (※小・中学校とある事業は、それぞれ小学校または中学校を対象とした、独立した事業です。)

特記事項・判断の基準

中学校施設整備事業(第二中学校改築事業等):約13億円／小・中学校防災対策事業(校舎耐震補強工事等):約3億7000万円 など

主な取組内容・実績

小・中学校の施設・設備の維持・修繕／小学校の警備業務委託・施設管理業務委託／学校施設アラーム等警備業務委託／小学校体育館耐震改修工事／第二中学校改築／中学校校舎耐震改修工事／一日健康診断、教職員福利厚生事業委託／学校医による各種検診・保健指導／高等学校等に学ぶ生徒に対する就学援助金の給付／児童生徒の各種保険金や掛金等の支出／給食調理業務委託／要保護及び準要保護児童に対する扶助／肢体不自由学級送迎用バス運行業務委託／学校評議員・外国人英語講師・学級介助員等の配置／特色ある教育活動の実施／電話・面接・訪問による相談業務の実施／小・中学校郷土学習用副読本の作成 など

4-3 ～学ぶ意欲を持つ市民が学習することのできる機会や場が得られているまち

生涯学習

コスト

◆総額	7億1914万円	◆コスト構成比	2.34%
(うち国県補助)	51万円	◆前年比	90.16%
		◆市民一人当たり	4,059円

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

施策の方針

●豊かな生涯学習社会の創造をめざします
 とともに学び、ともに語り、ともに楽しむことをとおして、より豊かな人間性を培い、鎌倉市民としての自覚、生きていることの充実感を市民一人ひとりがもてる生涯学習社会の創造をめざします。

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

主な事業

社会教育運営事業／生涯学習センター管理運営事業／図書館管理運営事業／国宝館管理運営事業／吉屋信子記念館管理運営事業／明月荘管理運営事業

特記事項・判断の基準

生涯学習センター管理運営事業(業務委託料等):約2億1000万円／図書館管理運営事業(業務委託料等):約3億4000万円／ など

主な取組内容・実績

(生涯学習センター)運営・管理、各種講座・イベントの開催等／(国宝館)所蔵資料の保存修理、特別展・平常展の開催／(図書館)資料収集と、利用者のニーズに則した貸出業務、インターネット予約の受付 など

4-4 ～青少年が健全に成長・発達しているまち

青少年育成

コスト

◆総額	3億3568万円	◆コスト構成比	1.09%
(うち国県補助)	4246万円	◆前年比	108.24%
		◆市民一人当たり	1,895円

施策の方針

●青少年が健やかに成長できる環境づくりを進めます
次代を担う青少年が人とのふれあいや、地域社会への参加をとおして、心身ともに健やかに成長し、個性豊かな人間形成を図り、自立できるよう、家庭・学校・地域を基盤とする良好な環境づくりを進めます。

主な事業

育成事業／青少年会館管理運営事業／子ども会館・子どもの家管理運営事業

主な取組内容・実績

鎌倉青少年会館及び玉縄青少年会館の維持管理／各小学校区に設置した子どもの家と、子どもの家に併設又は単独で設置する子ども会館による遊び場の提供／深沢小学校区の子どもの家の整備(深沢小学校余裕教室改修工事)など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

青少年会館管理運営事業(設備維持修繕料等):約4500万円／子ども会館・子どもの家管理運営事業(改修工事等):約2億7000万円 など

4-5 ～市民が自らの健康状態に応じてスポーツやレクリエーションを楽しむことができるまち

スポーツ・レクリエーション

コスト

◆総額	3億2360万円	◆コスト構成比	1.05%
(うち国県補助)	925万円	◆前年比	87.55%
		◆市民一人当たり	1,827円

施策の方針

●気軽にスポーツを楽しめるまちにします
いつでも、どこでも、だれでも、それぞれの生活や環境、健康状態にあったスポーツやレクリエーションを楽しむことができる生涯スポーツを推進します。

主な事業

保健体育運営事業／各種スポーツ行事事業／学校体育施設開放事業／体育施設管理運営事業／体育施設整備事業

主な取組内容・実績

団体への指導・援助及び組織化・連携強化／市民向けスポーツ行事開催、指導者の育成／学校プール監視業務委託／スポーツ施設指定管理 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

体育施設管理運営事業(指定管理料、監視等業務委託料等):約1億8000万円／体育施設整備事業(温水プール賃借料等):約8700万円 など

5-1 ～災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

地域安全 消防

コスト

◆総額	25億4177万円	◆コスト構成比	8.26%
(うち国県補助)	5928万円	◆前年比	106.32%
		◆市民一人当たり	14,347円

施策の方針

●災害に強い、安心して暮らせるまちをめざします
市民の生命と財産を地震などの各種災害から守るため、災害に強い、安心して暮らせるまちをめざします。また、交通安全対策を進めるとともに、犯罪のない明るい社会を築きます。

主な事業

行事開催事業／消防施設管理事業／消防団運営事業／消防団活動事業／消防施設整備事業／警防活動事業／救急活動事業／消火栓管理事業／車両購入事業／指令活動事業／予防活動事業／消防運営事業／鎌倉・大船消防署警防活動事業

主な取組内容・実績

消防出初式への参加による防火防災意識の向上／庁舎清掃管理業務委託、維持修繕／分団器具置場・車両の維持修繕／本団・分団維持交付金／(仮称)七里ガ浜出張所建設／備品整備・機器保守点検、消防学校へ職員派遣／救急救命士及び救急隊員の養成、自動対外式除細動器(AED)配置／消火栓維持管理／高規格救急自動車購入／消防救急デジタル無線設備等整備／ファイアヘルパー登録者へ住宅用火災警報器の設置 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

消防施設整備事業(七里ガ浜消防出張所開設に係る経費):約1億9000万円/車両購入事業(消防ポンプ自動車・高規格救急自動車・小型動力ポンプ付積載車):約1億3000万円 など

※コスト総額は、地域安全分野のうち消防本部所管の平成22年度中事業総事業費の合計額です。

5-1 ～災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

地域安全 交通安全

コスト

◆総額	1億1297万円	◆コスト構成比	0.37%
(うち国県補助)	50万円	◆前年比	66.24%
		◆市民一人当たり	638円

施策の方針

●災害に強い、安心して暮らせるまちをめざします
市民の生命と財産を地震などの各種災害から守るため、災害に強い、安心して暮らせるまちをめざします。また、交通安全対策を進めるとともに、犯罪のない明るい社会を築きます。

主な事業

交通安全対策事業／放置自転車防止事業

主な取組内容・実績

スクールゾーン対策業務委託／放置自転車等警告・移動、放置しづらい環境づくり業務委託 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

交通安全対策事業(交通安全教育、スクールゾーン対策等):約4900万円/放置自転車防止事業(業務委託料等):約6400万円 など

※コスト総額は、地域安全分野のうち交通安全に係る平成22年度中事業総事業費の合計額です。

5-1 ～災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

地域安全 安全安心まちづくり

コスト

◆総額	3億5559万円	◆コスト構成比	1.16%
(うち国県補助)	2316万円	◆前年比	80.28%
		◆市民一人当たり	2,007円

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

施策の方針

●災害に強い、安心して暮らせるまちをめざします
市民の生命と財産を地震などの各種災害から守るため、災害に強い、安心して暮らせるまちをめざします。また、交通安全対策を進めるとともに、犯罪のない明るい社会を築きます。

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

主な事業

総合防災事業／がけ地対策事業／安全・安心まちづくり推進事業

特記事項・判断の基準

総合防災事業(非常食購入、防災行政用無線設置等):約1億円／がけ地対策事業(急傾斜地防災工事負担金等):約1億5000万円／安全・安心まちづくり推進事業(防犯灯維持費補助金、防犯灯設置・改造費補助金等):約1億円 など

主な取組内容・実績

防災行政用無線設置業務委託、全国瞬時警報システム改修業務委託／急傾斜地防災工事一部負担／自治・町内会等が設置・維持管理している防犯灯に対する支援 など

※コスト総額は、地域安全分野のうち防災安全部所管の平成22年度中事業総事業費の合計額です。

5-2 ～まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

市街地整備

コスト

◆総額	42億5365万円	◆コスト構成比	13.83%
(うち国県補助)	7791万円	◆前年比	307.10%
		◆市民一人当たり	24,010円

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

施策の方針

●市街地の整備を進めます
魅力ある市街地整備を推進し、市民・事業者のまちづくりを支援していきます。

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

主な事業

住居表示事業／都市政策事業／建築等紛争調整事業／公共用地先行取得事業特別会計／都市計画運営事務／土木管理運営事務／古都中心市街地整備事業／市街地整備運営事業／周辺整備事業／西口整備事業／運営事業(大船駅東口市街地再開発事業)／推進事業(大船駅東口市街地再開発事業)／深沢地域整備事業

特記事項・判断の基準

公共用地先行取得事業(旧鈴木邸・今井邸の用地取得費):約31億円／西口整備事業(大船駅西口ペDESTリアンデッキ等整備工事請負費等):約6億3000万円 など

主な取組内容・実績

街区表示板更新業務委託、住居表示台帳更新委託／まちづくり交付金事後評価支援・交通量調査業務委託／建築紛争相談業務／旧鈴木邸・旧今井邸の用地取得費／都市計画図の印刷、都市マスタープラン評価・検討等業務委託／西口ペDESTリアンデッキ等整備工事 など

総合交通

コスト

◆総額	8761万円	◆コスト構成比	0.28%
(うち国県補助)	833万円	◆前年比	107.30%
		◆市民一人当たり	495円

施策の方針

- 総合的な交通体系をつくりだします
安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだします。

主な事業

国県道対策運営事務／国県道対策事業／交通環境整備事業／交通体系整備事業

主な取組内容・実績

国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整／不動産鑑定評価委託／パークアンドライド等実施PR委託、交通量・渋滞状況調査／西鎌倉駅駅舎バリアフリー化に対する補助 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

交通環境整備事業(パークアンドライドPR、バスベイ整備工事、交通量調査等):約3000万円／交通体系整備事業(西鎌倉駅駅舎エレベーター設置補助等):約3900万円 など

道路整備

コスト

◆総額	11億5467万円	◆コスト構成比	3.75%
(うち国県補助)	1億7351万円	◆前年比	139.84%
		◆市民一人当たり	6,518円

施策の方針

- 安全な道路の整備を進めます
歩行者の立場に立った、安心して歩ける道路空間づくりを進めます。

主な事業

道(水)路調査事業／道路台帳整備事業／道路施設管理事業／街路照明灯事業／道路橋りょう管理運営事業／交通安全施設整備事業／道路維持補修事業／道路新設改良事業／橋りょう維持補修事業／道路整備計画等運営事務／受託設計・工事監理事業

主な取組内容・実績

境界査定立会等業務委託／境界杭復元等業務委託／大船駅東口・西口エスカレーター監視・清掃、道路維持業務委託／街路照明灯改修(省エネ対策)委託／歩道段差切下げ等交通安全対策施設工事／道路維持修繕工事／電線共同溝工事委託／橋りょう点検調査 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

道(水)路調査事業(業務委託料等):約1億4000万円／道路台帳整備事業(業務委託料等):約1億1000万円／道路施設管理事業(業務委託料等):約1億円／道路維持補修事業(補修工事等):約1億4000万円／道路新設改良事業(工事委託料等):約4億9000万円 など

5-5 ～いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

住宅・住環境

コスト

◆総額	4億9724万	◆コスト構成比	1.62%
(うち国県補助)	1551万円	◆前年比	106.27%
		◆市民一人当たり	2,807円

施策の方針

●快適な住環境をつくりだします
バランスある人口構成の回復をめざしながら、人や環境にやさしい住環境の保全と創造に努めます。

主な事業

都市調整運営事務／開発指導事務／建築指導事務／建築相談事業／市営住宅管理運営事業／住宅政策推進事業

主な取組内容・実績

鎌倉市開発事業等における手続及び基準等に関する条例にかかる業務／都市計画法に基づく開発許可等に関する業務／建築基準法に基づく許認可等に関する業務／木造住宅耐震改修工事・危険ブロック塀等の撤去費用の助成／市営住宅設備等の点検・修繕・建物の改修工事／市営住宅耐震診断業務委託 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

建築指導事務(業務委託料等):約1億1000万円／市営住宅管理事業(維持修繕料等):約2億3000万円 など

5-6 ～公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

下水道・河川

コスト

◆総額	44億1148万円	◆コスト構成比	14.34%
(うち国県補助)	10億4709万円	◆前年比	109.20%
		◆市民一人当たり	24,901円

施策の方針

●下水道の整備とともに、親しまれる河川づくりを進めます
都市基盤施設としての下水道整備を進めるとともに、資源の有効活用をはじめ、浸水対策の推進、水辺環境の整備などを進め、人と自然にやさしいまちにします。

主な事業

河川管理運営事業／河川維持補修事業／雨水施設維持管理事業／運営事業(下水道特会)／下水道使用料等賦課徴収事業／管渠維持管理費／維持管理費(雨水)／施設整備事業(雨水)／水洗化普及促進事業／施設整備事業(汚水)／調整区域施設整備事業費／施設整備事業(終末)／作業センター事業／維持管理費(七里ガ浜)／維持管理費(山崎)

主な取組内容・実績

準用河川の護岸の補強・修繕工事／雨水調整池及び雨水排水施設維持管理／下水道事業の進行管理及び連絡調整／下水道使用料徴収事務委託／汚水管渠しゅんせつ委託、汚水中継ポンプ場維持管理／雨水排水施設維持修繕／公共下水道の雨水管渠築造工事、雨水台帳調製委託／水洗化改造家屋に対する助成／汚水中継ポンプ場改築工事委託、下水道台帳調製委託／市街化調整区域の汚水管渠築造工事／七里ガ浜下水道終末処理場改築工事委託／河川・下水道施設等の修繕／公共下水道終末処理施設の運転管理業務委託 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

施設整備事業(汚水)(工事委託料等):約12億円／施設整備事業(終末)(工事委託料等):約10億円／山崎浄化センター維持管理費(業務委託料等):約5億7000万円 など

6-1 ～行政情報を得やすい環境が整っているまち

地域情報化

コスト

◆総額	5億1129万円	◆コスト構成比	1.66%
(うち国県補助)	0万円	◆前年比	97.85%
		◆市民一人当たり	2,886円

施策の方針

●情報基盤の整備
情報化の進展に対応できる行政情報システムの整備・拡充を実施し、市民が容易に情報入手でき、行政サービスを受けられるようにします。また、地域コミュニティ形成の基盤となる情報システムの構築についても支援していきます。

主な事業

情報化推進事業／情報処理事業／住基ネットワーク事務

主な取組内容・実績

庁内ネットワーク・総合行政ネットワーク・インターネット等情報ネットワークを整備・運用／ホストコンピュータによる住民記録・市県民税・国民健康保険・財務会計システムのオンライン業務にて処理／住民基本台帳ネットワークシステムの運用 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

情報化推進事業(総合行政ネットワーク、庁内ネットワーク等の整備・運用等):約1億6000万円／情報処理事業(ホストコンピュータの適正管理・運用保守・周辺装置賃借等):約3億3000万円 など

6-2 ～農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

産業振興

コスト

◆総額	10億9794万円	◆コスト構成比	3.57%
(うち国県補助)	1億9855万円	◆前年比	108.66%
		◆市民一人当たり	6,197円

施策の方針

●産業の振興により活力あるまちをめざします
農業・漁業従事者の生活安定と後継者の育成を図るため、都市農業・沿岸漁業の振興をめざします。また、鎌倉の特色を生かした商工業の振興を図ります。

主な事業

農業振興運営事業／市民農園事業／水産業振興運営事業／漁港施設管理運営事業／商工運営事業／中小企業支援事業／商工業振興運営事業／商店街振興事業／商工業振興事業／公衆浴場助成事業／伝統鎌倉彫振興事業／農業委員会事務

主な取組内容・実績

農業振興に係る補助、鎌倉ブランド堆肥の作成・販売などによる農産物のブランド化推進／大船地区市民農園の維持管理及び運営／漁業協同組合への事業費助成、水産関連団体の事業への参加／腰越漁港の管理、腰越漁港改修整備工事／姉妹都市物産展開催／市の制度融資を実行するための原資資金を金融機関に預託、制度融資利用の際に支払う信用保証料一部助成、経営安定資金融資の利用者が支払う利子相当額一部助成／商工会議所の運営費及び事業費一部助成、商工業元気up事業経費一部助成、環境共生事業等経費一部助成／商店街に対するアドバイザー派遣、商店街街路灯等維持管理費及び商店街活性化事業費一部助成／商業振興共同施設の設置費一部助成／一定の要件を満たす公衆浴場の用水費等一部助成／伝統鎌倉彫事業協同組合の事業経費一部助成／遊休農地解消対策事業の実施 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

漁港施設管理運営事業(腰越漁港改修整備工事等):約3億円／中小企業支援事業(融資制度預託金等):約5億7000万円 など

6-3 ～観光に高い魅力と独自性があるまち

観光

コスト

◆総額	2億5959万円	◆コスト構成比	0.84%
(うち国県補助)	2686万円	◆前年比	117.18%
		◆市民一人当たり	1,465円

施策の方針

●快適で魅力ある観光をめざします
市民と観光客がともに快適に過ごせる観光地として、魅力ある観光資源の創出と観光を通じての地域の活性化を図ります。

主な事業

観光運営事業／観光振興事業／観光施設整備事業／海水浴場運営事業

主な取組内容・実績

関係団体・協議会と連携し、広報宣伝・情報交換を実施／鎌倉観光三大行事・俳句&ハイク・鎌倉ビーチフェスタ等に負担金・補助金を交付／公衆トイレ改築工事／海水浴場監視業務等委託 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

観光振興事業(業務委託料等):約9700万円／観光施設整備事業(改築工事等):約9100万円 など

6-4 ～市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

勤労者福祉

コスト

◆総額	1億6540万円	◆コスト構成比	0.54%
(うち国県補助)	860万円	◆前年比	49.39%
		◆市民一人当たり	934円

施策の方針

●勤労者の福祉を充実します
勤労者の生活と福利厚生向上を図るため、勤労者福祉の充実に努めます。

主な事業

労働環境対策事業／技能振興事業／勤労者福利厚生事業／勤労者福祉支援事業／勤労福祉会館管理運営事業

主な取組内容・実績

雇用対策セミナー・求職カウンセリング等実施／技能功労者等の表彰、技能祭の共催及び技能職団体連絡協議会の活動支援／勤労者生活資金融資を実施する金融機関へ資金預託、中小企業退職金共済掛金補助金交付／勤労者福祉サービスセンターへ補助金交付／レイ・ウェル鎌倉の維持修繕 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

勤労者福利厚生事業(融資預託、中小企業退職金共済掛金補助などの支援等):約4200万円／勤労者福祉支援事業(勤労者福祉サービスセンターの活動支援):約3600万円／勤労者福祉会館管理運営事業(レイ・ウェル鎌倉):約6600万円 など

消費生活

コスト

◆総額	4205万円	◆コスト構成比	0.14%
(うち国県補助)	302万円	◆前年比	98.76%
		◆市民一人当たり	237円

施策の方針

●安全で豊かで環境に配慮した消費生活を築いていきます
 消費者被害救済の仕組みを整え、また被害発生を防止するために必要な情報と支援を提供していきます。

主な事業

消費者被害対策事業／消費生活運営事業

主な取組内容・実績

消費者被害を未然防止するため、講座・啓発を実施、消費生活苦情相談を受け、あっせん・助言を実施 など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

消費者被害対策事業(消費者被害防止のための啓発、不用品登録事業、消費生活相談等):約3900万円 など

7-1

市民参画・協働の推進

コスト

◆総額	2億2610万円	◆コスト構成比	0.73%
(うち国県補助)	0万円	◆前年比	97.63%
		◆市民一人当たり	1,276円

施策の方針

まちづくりには、まちの主人公である市民の自主的で主体的な参画・協働が不可欠です。市民の市政への参画や市との協働を積極的に進めるための仕組みをつくりまします。そのため、市の行財政の資料や情報を積極的に公開し、提供することを原則とします。情報の公開に際しては、個人情報の保護に努めます。

主な事業

相談事業／広聴事業／広報事業／よくある質問システム運営事業／情報公開事業／個人情報保護事業／市民活動支援事業

主な取組内容・実績

専門家による法律・税務・登記の相談窓口設置／市政モニターを選任し、市長との懇談会・課題別研究会活動実施／市政番組放映・放送の委託、広報かまぐら発行／インターネットにより公開するFAQシステムの運営管理／市の保有する行政文書を請求に応じて公開／個人情報に関する開示の請求に対応／市民活動センターの管理運営／市民活動団体と市の相互提案協働事業など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

相談事業(法律相談等相談員報酬費等):約3600万円／広報事業(市政番組放映・放送委託料など):約1億3000万円など

7-2

コミュニティ活動の活性化

コスト

◆総額	3億9817万円	◆コスト構成比	1.29%
(うち国県補助)	0万円	◆前年比	86.38%
		◆市民一人当たり	2,247円

施策の方針

全市及び地域・地区別の情報の整備を図るとともに、市民参画・協働により、地域・地区の個性を尊重し、地域のコミュニティの形成を進めます。その実現にあたっては、市民の連帯意識とそれぞれにふさわしい役割分担など、自らのまちは、自らの手でつくるという方向で考え、これを市が積極的に支えます。

主な事業

自治会・町内会等支援事業／腰越支所管理運営事務／深沢支所管理運営事務／大船支所管理運営事務／玉縄支所管理運営事務

主な取組内容・実績

公会堂等の建築改良工事費補助金交付／(4支所)施設総合管理業務委託など

あなたは、この分野に関心・関係がある。	1 ある	回答欄
	2 ない	
	3 わからない	

この分野に掛けたコストは、	1 使いすぎ	回答欄
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

自治会・町内会支援事業(工事補助金等):約3500万円／4支所管理運営事務(業務委託料等):約3億6000万円 など

地域福祉の推進

コスト

◆総額	1128万円	◆コスト構成比	0.04%
(うち国県補助)	0万円	◆前年比	92.44%
		◆市民一人当たり	64円

あなたは、 この分野に 関心・関係 がある。	1 ある	回答欄 <input type="text"/>
	2 ない	
	3 わからない	

施策の方針

だれもが住みなれた地域での支え合いにより、安心して豊かな生活を送るためのまちづくりをめざします。

主な事業

啓発事業

この分野 に掛けた コストは、	1 使いすぎ	回答欄 <input type="text"/>
	2 ちょうどよい	
	3 足りない	
	4 わからない	

特記事項・判断の基準

本分野は、啓発事業1事業のみ位置づけ

主な取組内容・実績

市社会福祉協議会との協働による地域福祉支援室による、地域福祉活動に関する情報の収集・提供や懇談の場づくり、地域における福祉人材の発掘と養成についての支援 など

ご意見等ございましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

鎌倉市納得度調査結果
平成 24 年 6 月発行
鎌倉市政策創造担当
〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号
TEL 0467-23-3000 (代表)
FAX 0467-23-8700